

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|        |  |
|--------|--|
| 【音 楽】  | <input checked="" type="checkbox"/> 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】  | <input type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル             |
| 【舞 踊】  | <input type="checkbox"/> バレエ, 現代舞踊                   |
| 【伝統芸能】 | <input type="checkbox"/> 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸   |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり  なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |  |              |
|-----------------------|--|--|--------------|
| ふりがな                  | こうえきざいだんほうじん とうきょうにきかい                                       |  |              |
| 制作団体名                 | 公益財団法人東京二期会  |  |              |
| 代表者職・氏名               | 理事長 荻澤 弘志  |  |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目 25 番 12 号(JR中央・総武緩行線千駄ヶ谷駅下車徒歩3分)     |  |              |
| 電話番号                  | 03-3796-1818   | F A X 番号   | 03-3796-4710 |
| ふりがな                  | にきかいがっしょうだん  |  |              |
| 公演団体名                 | 二期会合唱団   |  |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 福井 敬   |  |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目 25 番 12 号<br>(JR中央・総武緩行線千駄ヶ谷駅下車徒歩3分) |  |              |
| 制作団体<br>設立年月          | 1977年 6月   |  |              |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員  | 団体構成員及び加入条件等   |              |
|                       | 理事長 荻澤弘志<br>常務理事 黒田博、山口毅<br>理事 15名、評議員 16名<br>監事 高嶋誠、山下眞一郎   | 二期会会員 2,294名、準会員 463名<br>・オペラ歌手を養成する機関(オペラ研修所)を優秀な<br>成績で修了された方、入会オーディションまたは推薦<br>により幹事会が認めた者。 |              |
| 事務体制の担当               | 専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任             | 本事業担当者名  | 光田 綾         |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無                    | 経理責任者名   | 竹下 ゆかり       |

|                           |   |   |       |
|---------------------------|---|---|-------|
| 制作団体沿革                    | 昭和 27 年に声楽全般にわたる演奏と研究、相互扶助の精神に基づく連帯感の強化を目的として、声楽家団体「二期会」が発足。現在、会員・準会員を合わせて約 2,652 名を擁する日本最大の声楽家団体となった。昭和 52 年にオペラ公演の財政的基盤の確立を目指して、財団法人二期会オペラ振興会を設立、平成 17 年に「二期会」を包含し、さらに財団法人東京二期会に改称。平成 22 年 12 月 1 日付けで公益財団法人東京二期会としてスタートした。積極的な創作活動により我が国オペラ界の代表的存在として認められている   |   |       |
| 学校等における公演実績               | 2015 年 5 月 8 日 小金井市内中学校音楽鑑賞教室 武蔵野市民文化会館<br>2015 年 5 月 27 日 南山高等・中学校男子部・東京二期会公演 愛知県芸術劇場コンサートホール<br>2015 年 6 月 12 日 潤徳女子高等学校合唱祭 西新井文化ホール<br>2016 年 5 月 13 日 小金井市内中学校音楽鑑賞教室 たましん RISURU ホール大ホール(立川市)<br>2016 年 5 月 10 日 小金井市内中学校音楽鑑賞教室 武蔵野市民文化会館<br>2017 年 5 月 13 日 小金井市内中学校音楽鑑賞教室 武蔵野市民文化会館<br>2018 年 5 月 11 日 小金井市内中学校音楽鑑賞教室 武蔵野市民文化会館 |   |       |
| 特別支援学校における公演実績            | 2002 年 10 月 24 日 本物の舞台芸術体験事業 東京都立北養護学校 1 公演<br>2002 年 10 月 25 日 本物の舞台芸術体験事業 東京都立葛飾養護学校 1 公演<br>2006 年 10 月 5 日 本物の舞台芸術体験事業 佐賀県立大和養護学校 1 公演<br>2013 年 10 月 15 日 次代を担う子どもの文化芸術体験事業 三重県立特別支援学校北勢きらら学園 1 公演   |   |       |
| 参考資料の有無                   | A   | 申請する演目のチラシパンフレット等   | 有 ・ 無 |
| 申請する演目の DVD または WEB 公開資料  |   | 有 ・ 無   |       |
| ※公開資料有の場合 URL             |   | <a href="http://www.nikikai21.net/planning/pdf/kikaku_18.pdf">http://www.nikikai21.net/planning/pdf/kikaku_18.pdf</a> |       |
| ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード |   | ID:<br>PW:  |       |
| A の提出が困難な場合               |   | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料   | 有 ・ 無 |
|                           |   | ※公開資料有の場合 URL   |       |
|                           | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード   | ID:<br>PW:  |       |

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名

二期会合唱団

】

|                               |  |   |   |
|-------------------------------|--|---|---|
| 対象                            | 小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生   |   |   |
| 企画名                           | 二期会合唱団 公演  |   |   |
| 本公演演目<br>原作/作曲<br>脚本<br>演出/振付 | <p>【小学校】「五つのこどものうた」「いつも何度でも」「バビロン」「流浪の民」「おお!スザンナ」「フニクリ・フニクラ」<br/>オペラ『魔笛』ハイライト モーツァルト作曲 / 松本幸二 構成・演出</p> <p>【中学校】「箱根八里」「待ちぼうけ」「夏の思い出」「花の街」「○と△の歌」「恋のかくれんぼ」「花」「アリアン」「バビロン」「ブンガワン・ソロ」「最上川舟歌」「深い川」「ボルガの舟唄」<br/>オペラ『カルメン』ハイライト ビゼー作曲 / 松本幸二 構成・演出</p> <p>公演時間(小学校 100分、中学校 120分)</p>  |   |   |
| 著作権                           | 制作団体が所有  | ○ | 制作団体以外が所有する事項が含まれる<br>(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有 無 |
| 演目概要                          | <p>【小学校】第一部では大中恩さんが作曲した「五つの子供の歌」と言う楽しい子供の歌に始まり、女声合唱、男声四重唱、一人で歌うソロで4パートの声の違いや、合唱の名曲を歌います。世界の歌旅を楽しんで頂きます。第二部のオペラ『魔笛』は、闇を支配する“夜の女王”、賢者で人々に尊敬されている高僧“ザラストロ”、夜の女王の娘“パミーナ”、王子“タミーノ”、“パパゲーノ”、その他色々な性格の登場人物が織りなすオペラです。</p> <p>【中学校】第一部では滝廉太郎、山田耕筰、中田喜直、團伊玖磨、武満徹の曲を時代にそって紹介。また、アンサンブルの違いを二重唱、女声三重唱、男声四重唱と進め、混声合唱で編成の違いと曲想表現の違いを体感して頂きます。第二部のオペラ「カルメン」は、自由奔放に生きるタバコ女工カルメンを主人公にした、音楽と演劇的な要素が一体化した、世界中で上演されているオペラです。</p> |   |   |
| 演目選択理由                        | 構成として、第一部に合唱曲、第二部にオペラのハイライトを用意しております。第一部は、プログラムには故意に載せておりませんが、校歌の演奏から始まります。斉唱ではなく合唱に編曲して歌います。児童・生徒さんが良く知っている校歌が合唱になると、どんな感じになるかを体験して頂き、色々な合唱曲(女声合唱、男声合唱、混声合唱、無伴奏曲等の編成の違い)や、声種の違いを体感して頂けます。第二部では、オペラを衣裳小道具付で有名な部分を抜き出し再構成してお聞かせします。小学校プログラムでは、低学年児童にも集中して鑑賞して頂けるモーツァルト作曲『魔笛』、中学校プログラムでは、人間の尊厳をテーマにしたビゼー作曲『カルメン』をお聞き頂きます。  |   |   |
| 児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態           | 第一部と第二部の間に、児童生徒との共演コーナーを設けます。誰にでも参加して頂ける“歌う”事を通じて、歌遊び、全校合唱、合同演奏等の可能性があります。合唱部やブラスバンド活動のある学校では共演する事も考えられます。各学校の実情に合わせてですが、指揮及び伴奏を児童生徒や教員で演奏して頂き、児童生徒の自信や達成感が、今後の学校運営や新しい伝統につなげて頂ければと思います。   |   |   |
| 出演者                           | <p>指揮：大井剛史、松本幸二      ピアノ：水戸見弥子<br/>ソリスト：盛田麻央、喜田美紀、岡本泰寛、近藤圭<br/>合唱：二期会合唱団<br/>(ソプラノ) 大網かおり、江口順子、北原瑠美、松井美路子、渡邊恵津子、梅園絵美子、津金久子、山口清子<br/>(アルト) 小林紗季子、下園理恵、成田伊美、実川裕紀、塩崎めぐみ、井谷萌子、池端 歩<br/>(テノール) 望月光貴、高柳圭、木下進、園山正孝、松永国和、小城龍生</p>  |   |   |

|                      |  |             |                             |
|----------------------|--|-------------|-----------------------------|
|                      | (バス) 浅井隆仁、大井哲也、小田川哲也、押見春喜、栗原剛、高田智士、吉原裕作<br>上記出演者は、都合により変更になる場合があります。 |             |                             |
| 公演出演予定者数<br>(1公演あたり) | 出演者: 35名<br><u>スタッフ: 4名</u><br>合計: 39名                               | 機材等<br>運搬方法 | 積載量 2 t<br>車長 5 m<br>台数 1 台 |



|                                     |   |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
|-------------------------------------|---|------------------|--------------------|-----------------|-------------|--------------------------------------|--------|--------------------------------------|
| 公演に当たっての<br>会場条件                    | 実施条件等確認書①をご確認ください。  |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
| 会場設営の所要<br>時間(タイムスケ<br>ジュール)の目<br>安 | 前日仕込み(有 <b>無</b> ) (但しやむをえない事情で午前公演となった場合は必要)<br>会場設営の所要時間(2 時間程度 )   |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
|                                     | 到着  | 仕込み              | リハーサ<br>ル          | 本公演             | 内<br>休<br>憩 | 終演                                   | 撤去     | 退出                                   |
|                                     | 8 時 30<br>分   | 8 時 30 分<br>～10時 | 10 時～12 時          | 13 時 30 分<br>開演 | 15 分        | 小学校<br>15 時 10 分<br>中学校<br>15 時 30 分 | 約 1 時間 | 小学校<br>16 時 10 分<br>中学校<br>16 時 30 分 |
|                                     | ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。  |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
| 児 童 ・ 生 徒<br>の参加可能人数                | ワークショップ   |                  | 全校が望ましい(必須ではありません) |                 |             |                                      |        |                                      |
|                                     | 本公演   |                  | 全校が望ましい(必須ではありません) |                 |             |                                      |        |                                      |
| ワークショップ<br>実 施 形 態<br>及 び 内 容       | 演奏者が歌って手本を示し、基礎的な発声指導をおこないます。公演に参加する児童生徒を公演会場(学校体育館等)に集めて頂き、実施致します。合唱の一番小さい編成(ソプラノ、アルト、テノール、バス各 1 名)とピアニストで指導演奏致します。  |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
| ワークショップ<br>実施形態の意図                  | 演奏者と児童生徒が交互に歌うことにより、聞くだけの一方通行の演奏会でなく、一緒に作り上げ、参加する演奏会への積極的な動機付けをおこないます。<br>児童・生徒にとって、初めは近寄りたがい別世界の人々が来たと感じるかもしれませんが、自分たちも努力すれば楽しく素敵な歌が歌えるようになって感じられるよう実施致します。生演奏体験の効果により、今後の学校に変化(新しい伝統)が生まれる事を期待して実施致します。 |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
| 特別支援学校で<br>の実施における<br>工夫点           | 学校の実情に合わせて、別途プログラムを作成致します。児童・生徒とのふれあいを大切に公演致します。  |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |
| 実 施 可 能 時 期<br>◇はB 区分申請<br>団体のみ     | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。  |                  |                    |                 |             |                                      |        |                                      |

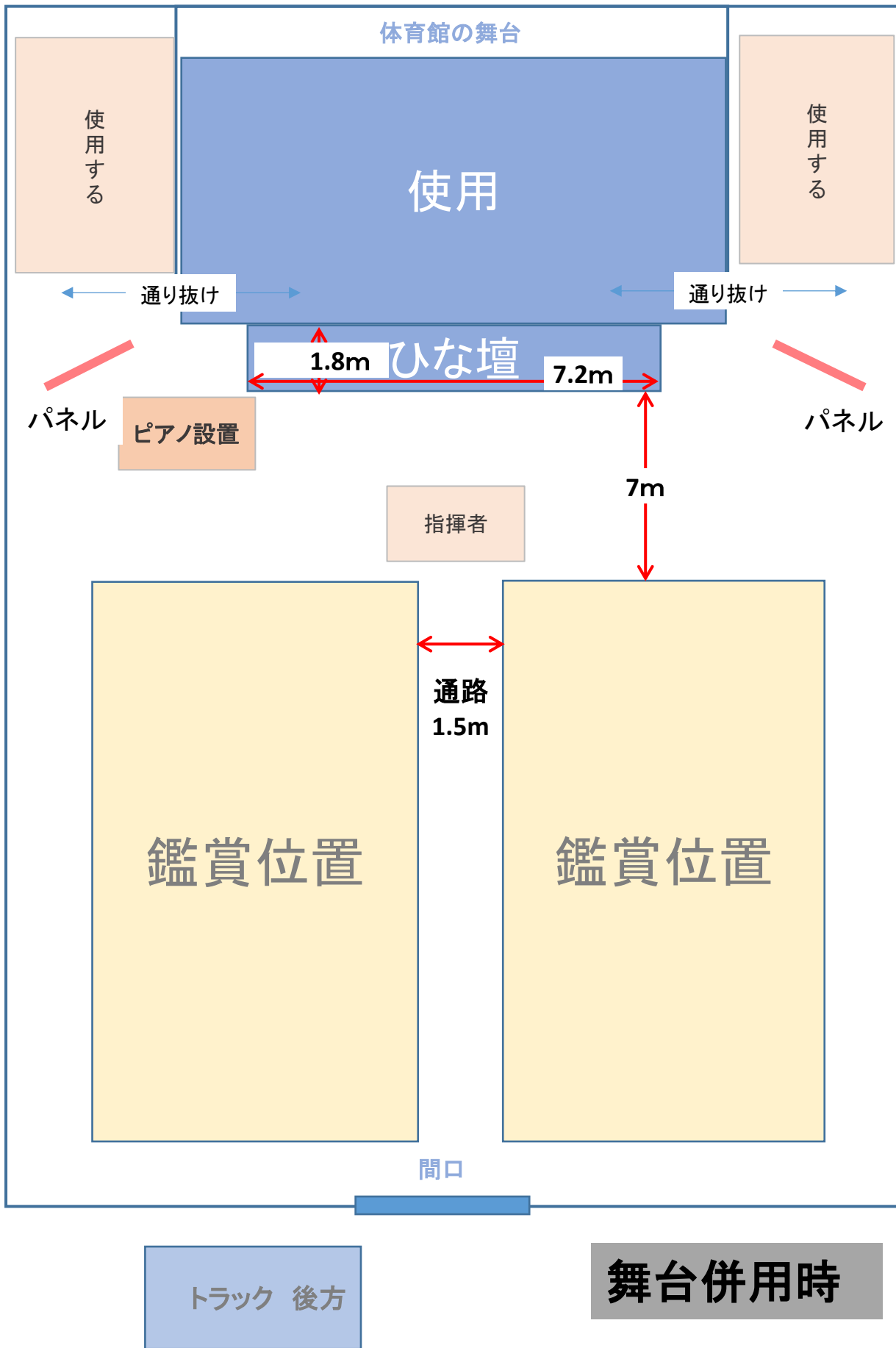
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |        |    |    |       |             |      |   |    |     |
|-------|--------|----|----|-------|-------------|------|---|----|-----|
| ID    | B15    | 分野 | 音楽 | 種目    | 合唱          | ブロック | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 二期会合唱団 |    |    | 制作団体名 | 公益財団法人東京二期会 |      |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談  | 必要条件等                  |                                |   |   |   |       |    |      |
|---------|--|------------------------|--------------------------------|---|---|---|-------|----|------|
| 控室について  | 可  | 必要数 *                  | 3室                             | 条件  | 指揮者・ソリストで1室、男声・女声の着替え用にカーテン等目隠しが出来る部屋が希望です。 |   |       |    |      |
| 搬入について  | 不可   | 来校する車両の大きさと台数 *        |                                | 2tトラック 1台                                   |   | 大型バス 1台                                   |       |    |      |
|         | 不可   | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ |                                | 2tトラック                                      |   |   |       |    |      |
|         | 可  | 搬入車両の横づけの要否 *          |                                | 要   |   |   |       |    |      |
|         | 可  | 横づけができない場合の搬入可能距離 *    |                                | 10m以内                                       |   |   |       |    |      |
|         | 可  | 搬入経路の最低条件              |                                | 屋根の有る経路が望ましい。                               |   |   |       |    |      |
|         | /  | 理由                     |                                | ひな壇・衣裳等の搬入の為。                               |   |   |       |    |      |
|         | —  | 設置階の制限 *               |                                | 問わない  |   |   |       |    |      |
| 可       | 搬入間口について<br>単位:メートル  |                        | 幅                              | 1.8m  | 高さ  | 1.8m                                      |       |    |      |
| WSについて  | 参加可能人数   |                        | 本公演に参加する児童生徒が、WSにも参加することが望ましい。 |   |   |   |       |    |      |
|         | 学年の指定の有無 *   |                        | なし                             | 指定学年 *                                      |   | なし  |       |    |      |
|         | 所要時間の目安<br>単位:分  |                        | 授業1時限分(小学校45分・中学校50分)          |   |   |   |       |    |      |
| 本公演について | /  | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 |                                | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 |   |   |       |    |      |
|         | 鑑賞可能人数   |                        | 指定なし。                          |   |   |   |       |    |      |
|         | 不可   | 舞台設置場所 *               |                                | ステージ上・フロアの両方                                |   |   |       |    |      |
|         | 可  | 舞台設置に必要な広さ単位:<br>メートル  |                                | 幅   | 8m  | 奥行  | 3m    | 高さ | 指定なし |
|         | 体育館のステージの広さが上記必要(高さは不問)<br>(舞台前に設置する張り出しひな壇の実寸は、幅7.2m 奥行1.8mです。)             |                        |                                |   |   |   |       |    |      |
|         | 不可   | 体育館の舞台を使用する場合の条件       |                                | 舞台袖スペースの確保 *                                |   | 要   |       |    |      |
|         | 不可   |                        |                                | 舞台袖スペースの条件 *                                |   | 袖に荷物が無い状態                                 |       |    |      |
|         | —  |                        |                                | 緞帳 *  | 不要  |   | バトン * | 不要 |      |
|         | —  | 遮光(暗幕等)の要否 *           |                                | 不要  | 理由  | (通常使用しません。強い西陽等、鑑賞の妨げとなる場合のみ使用することがあります。) |       |    |      |
|         | 不可   | ピアノの調律・移動の要否           |                                | 指定位置へのピアノの移動 *                              | 要   | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。                    |       |    |      |
|         | 不可   |                        |                                | ピアノの事前調律 *                                  | 要   |   |       |    |      |
|         | 可  | フロアを使用する場合の条件          |                                | バスケットゴールの設置状況 *                             | 格納されていれば可                                   |   |       |    |      |
|         | 可  | 公演に必要な電源容量             |                                | 20A×2つ                                      |   | ※主幹電源の必要容量                                |       |    |      |
| その他特記事項 |  |                        |                                |   |   |   |       |    |      |
| 可       | フロア部分は、舞台から最低9mのスペースが必要です。   |                        |                                |   |   |   |       |    |      |
| 可       | 鑑賞席は演出の都合上、センターに出演者の通路の確保が、必要です。   |                        |                                |   |   |   |       |    |      |
| 可       | 開演時間は13時半予定です。若干の変更は可能ですが、午前開催をご希望の場合は、特別支援学校など、特例に限ります。また午前公演の場合は前日仕込が必要です。 |                        |                                |   |   |   |       |    |      |
| 不可      | 本公演時は、ピアノは必ず舞台面ではなくフロアへ置いてください。(WS時は、舞台上でも可)                                 |                        |                                |   |   |   |       |    |      |
| 可       | 2トントラック搬入駐車スペースと取付け道路及び校門を通行可能な事。<br>到着/退出時間が通学路等車両進入禁止の場合、警察署への申請が必要。       |                        |                                |   |   |   |       |    |      |

会場図面(表記単位:メートル)



|                   |       |      |    |      |
|-------------------|-------|------|----|------|
| 搬入間口について          | 幅     | 1.8m | 高さ | 1.8m |
| 搬入車両の横づけの要否       | 要     |      |    |      |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 10m以内 |      |    |      |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# 文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—

## 二期会合唱団 合唱公演



### <小学校プログラム>

第一部では大中恩さんが作曲した「五つの子供の歌」と言う楽しい子供の歌に始まり、女声合唱、男声四重唱、一人で歌うソロで4パートの声の違いを聴き比べ、合唱の名曲を通して世界の歌の旅を楽しんで頂きます。第二部のオペラ『魔笛』は、闇を支配する“夜の女王”、賢者で人々に尊敬されている高僧“ザラストロ”、夜の女王の娘“パミーナ”、王子“タミーノ”、“パパゲーノ”、その他色々な性格の登場人物が織りなすモーツァルトの名作です。

### <中学校プログラム>

第一部では滝廉太郎、山田耕筰、中田喜直、團伊玖磨、武満徹の曲を時代にそって紹介。また、アンサンブルの違いを二重唱、女声三重唱、男声四重唱と進め、混声合唱で編成の違いと曲想表現の違いを体感して頂きます。第二部のオペラ「カルメン」は、自由奔放に生きるタバコ女工カルメンを主人公にした、音楽と演劇的な要素が一体化した、世界中で公演されている人気オペラです。

### <二期会合唱団の歴史>

二期会は、1952年に声楽全般の研究・演奏を目的に、声楽家団体「二期会」として発足した。1953年第二回オペラ公演『マルタ』の際、「二期会合唱団」が発足した。現在、会員・準会員を合わせて約2,652名を擁する日本最大の声楽家団体となった。1977年にオペラ公演の財政的基盤の確立を目指して、財団法人二期会オペラ振興会を設立、2005年に「二期会」を包含し、財団法人東京二期会に改称。2010年12月1日付けで公益財団法人東京二期会としてスタートした。二期会合唱団は2018年『ローエングリン』（ワーグナー）、『アルチーナ』（ヘンデル）、『アイダ』（ヴェルディ）、『三部作』（プッチーニ）ほか多くのオペラに出演するほか、「NHK ニューイヤー・オペラコンサート」などにも出演。2019年2月『金閣寺』（黛敏郎作曲/演出:宮本亜門)に出演予定。

制作団体：公益財団法人東京二期会

演奏団体：二期会合唱団

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|        |   |
|--------|---|
| 【音 楽】  | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇                                    |
| 【演 劇】  | <input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊   |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸                           |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・  なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |                      |              |
|-----------------------|--|----------------------|--------------|
| ふりがな                  | ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこほっかいどう                          |                      |              |
| 制作団体名                 | 有限会社 劇団風の子北海道                                    |                      |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 植村直己                                       |                      |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒〒001-0027<br>札幌市北区北 27 条西 11 丁目5-7              |                      |              |
| 電話番号                  | 011-726-3619                                     | F A X 番号             | 011-726-0303 |
| ふりがな                  | ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこほっかいどう                          |                      |              |
| 公演団体名                 | 有限会社 劇団風の子北海道                                    |                      |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 植村直己                                       |                      |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒〒001-0027<br>札幌市北区北 27 条西 11 丁目5-7              |                      |              |
| 制作団体<br>設立年月          | 平成5年4月27日  |                      |              |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員  | 団体構成員及び加入条件等         |              |
|                       | 代表取締役 植村直己<br>取締役 池田道泰                           | 15 名<br>18 歳以上(高校卒業) |              |
| 事務体制の担当               | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名              | 信清敬子         |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無        | 経理責任者名               | 植村敬子         |

|                |  |  |  |
|----------------|--|--|--|
| 制作団体沿革         | <p>東京都世田谷区下北沢で 1950 年創設した児童劇専門劇団「劇団風の子」の地方班第 1 号として、札幌を拠点に北海道のすみずみの子ども達に児童劇を届けること、北海道という土地で作品を生み出し日本中の子ども達に地方独自の特色ある児童劇を届けることを目的に設立。</p> <p>1982 年に「劇団風の子北海道班」として活動開始。小学校、養護学校、保育園、幼稚園、教育委員会、子ども劇場、その他年間 600 ステージ以上巡演。</p> <p>1990 年 ロシア、サハリン州立人形劇場との国際文化交流開始。</p> <p>1993 年 4 月 27 日に法人格取得。</p> <p>2016 年 幼児向け作品「うしろの正面なあんた」が厚生労働省 児童福祉文化賞授賞。</p> <p>2017 年 中・高生向け作品「ボクラのばにしんぐぼいんと」製作。</p> <p>2018 年現在に至るまで、「森の笛が聞こえる」「どんぐりと山猫」「十二の月の物語」「マーレンと雨姫」などの演劇教室作品や「めっきらもつきらどおんどん」、参加劇「うそんこほんこ」など幼児・乳幼児向け作品を数多く制作、巡演している。海外公演も継続している。</p> |  |  |
| 学校等における公演実績    | <p><b>演目「マーレンと雨姫」</b></p> <p>1997年 公演実績 91 回</p> <p>1998年 公演実績 161 回</p> <p>1999年 // 150 回</p> <p>2000年 // 151回</p> <p>2001年 // 176 回</p> <p>2002年 // 161 回</p> <p>2003年 // 40 回</p><br><p>2014 年 公演実績 41 回</p> <p>2015 年 // 102 回</p> <p>2016 年 // 109回</p> <p>2017 年 // 109 回</p> <p>(マーレンと雨姫以外の作品も含めると年間410ステージ)</p>  |  |  |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>「マーレンと雨姫」では</p> <p>1997 年～2003 年で 5 回</p> <p>2014 年～2015 年で 2 回</p> <p>2016年 文化芸術による子どもの育成事業 で1回</p> <p>2017 年 文化芸術による子どもの育成事業 で3回</p>  |  |  |
| 参考資料の有無        | A  | <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> | <p>有</p> <p>有</p> <p>ID:<br/>PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID:<br/>PW:</p> |
| A の提出が困難な場合    |  | <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>       | <p>ID:<br/>PW:</p>   |

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社劇団風の子北海道】

|                      |   |             |   |
|----------------------|---|-------------|---|
| 対象                   | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生  |             |   |
| 企画名                  | 子どもたちが主役！一緒につくろう『マーレンと雨姫』   |             |   |
| 本公演演目                | 「マーレンと雨姫」   |             |   |
| 原作／作曲<br>脚本<br>演出／振付 | 原作 テオドール・シュトルム「たるの中から生まれた話」<br>脚色 多田徹、中島茜<br>演出 鳴海輝雅<br>美術 有賀二郎<br>音楽 岸 功、菊池大成  |             |   |
|                      | 上演時間( 70 分)   |             |   |
| 著作権                  | <input type="radio"/>   | 制作団体が<br>所有 | 制作団体以外が所有する事<br>項が含まれる<br><br>(制作団体以外が所有す<br>る事項が含まれる場合)<br>許諾の有無 |
| 演目概要                 | <p>● あらすじ</p> <p>みなさんの学校に旅の一座がやってきます。旅をしながら聞いてきたいろんな話を子ども達の前で演じるのです。今日のお話は『マーレンと雨姫』。</p> <p>今から 100 年以上前のドイツのお話。少女マーレンの住む村では百年ぶりの日照りが続いています。草木は枯れ、牛やヒツジや人間も水がほしくてたまりません。</p> <p>マーレンの父さんのヤーコブは、今まで水はけの悪い沼地の畑を持っていて苦勞していましたが、この日照りでちょうどよく干上がって作物や牧草が青々と茂り、大金持ち。昔なじみのカスパーが頼みに来ても干草を分けてあげないのを見て、マーレンの心は痛みます。村の人達のためにも、早く雨が降ってほしいと願っていました。</p> <p>「雨が降らないのは、雨姫様が眠っているからだって！」と教えてくれたのは羊飼いの少年アンドレース。アンドレースのおばあちゃんに話を聞いて、二人は雨姫様を探しに出かけます。雨姫様が守る深い井戸までの道すじは、おばあちゃんが教えてくれました。でも、雨姫様を起こす呪文と井戸のカギのありかは分かりません。</p> <p>雨姫様が眠っている間に「火の玉おやじ」は大あばれ。雨なんか降らされてはたまらないと行く手を阻もうとしますが、二人は知恵と勇気で呪文を聞きだしカギのありかもつきとめます。</p> <p>森をぬけ、洞穴から続く階段を下りて進んでいくと、谷底の突き当たりに井戸があり、雨姫様が眠っていました。でもそこへ行くには火のように熱いところを通っていかなければなりません。雨を降らせまいと、ヤーコブも火の玉おやじも追いかけてきます。マーレンとアンドレースは雨姫様を起こし、雨を降らせることができるでしょうか。</p> <p>● 演目解説</p> <p>「マーレンと雨姫様」は 1958 年、劇団風の子がはじめて全国公演をするために創立者の多田徹によって書かれました。長い間上演され、子どもたちに親しまれ</p> |             |   |



ています。劇団風の子北海道では「マーレンと雨姫」の題名で、北海道独自の視点「子どもと自然」をテーマに中島茜の脚色を加え鳴海輝雅の演出で1997年から2003年まで巡演し、2014年から再演しています。原作はドイツの作家テオドル・シュトルム(1817～1888)の「たるの中で聞いた話:」の中の「雨姫」で、当時の社会状況が反映された物語です。

昔、マーレンの村では雨姫様や火の玉おやじなどの自然の精霊たちと共に暮らしていました。自然の精霊である雨姫様は、地下の水脈の源の井戸を守っていて、昔々から人間の暮らしを見つめ、程よく雨を降らせたり川の水を流してきました。「火の玉おやじ」もこの物語の中では人々を困らせますが、もともとは村の辻にひょっこり座っていたり、畑や草地を飛び跳ねる自然の精霊で、雨姫と対をなして恵みを与えてくれる存在でした。

社会の変化によって、人間中心の生き方が当たり前になり、人間の暮らしに物があふれ便利さやお金が大切にされるようになると、人々は自然の存在を忘れてしまいます。私達の暮らす日本でも、大雨で川が氾濫したり山が崩れたり、日照りや地震は自然の災害ですが、だからこそ人間は、精霊に語りかけ祈り祭りをしてきました。

この物語の中では、自然との付き合い方を忘れないようにしてきたアンドレースのおばあちゃんが雨姫のことを子どもたちに伝え、子ども達は信じて進んでいきます。

劇を見ている子どもたちは、「私にできるかしら・・・」と思いながらも一步一步進んでいくマーレンや、ちょっと頼りないところもあるけれど、いざとなったら勇気をもって進んでいくアンドレースと一体となり、心を躍らせてみせてくれているようです。物語の中でマーレンは「お父さんも村の人も大事」と雨を降らせるようお願いします。そして雨が降り、再び水害で困る父親に、「明日からは私も畑の水はけのことを考える」と成長した姿を見せます。

舞台装置は体育館のフロアーに作り、子ども達には身近に見てもらえるように工夫しています。自然光を取り入れた空間で、子ども達が本来持っている想像力を引き出していきます。効果音や音楽もその場で生で演奏します。子どもたちにとって珍しい楽器も目の前で演奏され、子ども達は五感を全部使って物語の世界に入っていきます。

#### 演目選択理由

劇団風の子北海道は、「子どものいるとどここへでも」を合言葉に、小学校の授業の中での演劇教室にふさわしい作品を作ってきました。

子ども達の生活の場、学びの場である学校で、友だちや先生と一緒に生の演劇を鑑賞し、共感することは子どもの成長にとって非常に大切です。

だからこそ、『マーレンと雨姫』は、子どもの成長、自立、互いを信じること、自然と共存することなど、次代を担う子ども達へ願いをこめた作品になっています。

「子どもが本来持っている力を信じる」ことが物語の芯になっているため、子ども達と共演する本事業には特にふさわしいと考え演目を選択しました。

また、私達は小学校の体育館で演劇を上演する方法を専門に確立してきました。低学年から高学年、障がいのある子ども達も安心して劇の中に入り込み楽しめるような舞台表現を選んでいきます。

『マーレンと雨姫』に共演してもらおう方法も、本来子どもが持っている表現をベースにできるので、ワークショップでは子ども達の自主性を引き出し、一体感を持てる内容を構成しています。

子ども達の発想力やコミュニケーション能力を育て、未来の文化の担い手として将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげようとする本事業の目的と合致すると思い選択しました。



|                              |  |                     |   |
|------------------------------|--|---------------------|---|
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>    | <p><b>子ども達の共演部分が劇の山場です！</b></p> <p>子ども達には、劇の流れの中で、お話のクライマックスの場面で共演してもらいます。場面はマーレンが井戸のふたを開き泉の水が流れ出すところです。</p> <p>雨を降らせまいとする火の玉おやじと共に熱い炎を燃やしたり、雨姫様と共に水の流れや生き返っていく魚たち、美しく咲きそろう花を表現します。表現の詳細は子ども達とのワークショップで作っていきます。</p> <p><b>クラスみんなで表現しよう！楽しもう！</b></p> <p>各学校の人数にもよりますが、子ども達30人から80人くらいに共演参加してもらいます。学年・クラス単位で、少人数の学校では全学年で参加してもらうことも可能です。(事前に先生と相談して決めます。)</p> <p>はじめは客席で観劇し、場面になったらその場から参加。またラストシーンを観劇できるように流れを作りました。衣装や小道具を使った目立つ役割もありますが、基本的に全員で一体感をもって表現できる内容です。</p> <p><b>真剣！本物の舞台で俳優たちとリハーサル</b></p> <p>公演当日、本物の舞台の上で俳優たちとリハーサルします。俳優達は児童劇を専門にしているので、日ごろから子ども達の表現を引き出し、受け取ることを訓練しています。音楽も俳優たちが生で演奏するので、子ども達のその日のリズム、表現に合わせて音を出したり流れを作っていきます。子ども達と俳優たちの遊び心と真剣さで新しい表現が生まれます。</p> |                     |   |
| <p>出演者</p>                   | <p>篠生 明 、 坂本光司 、 木村智子<br/>         菊地真央 、 盛わかな 、 杉村香凜</p>  |                     |   |
| <p>公演出演予定者数<br/>(1公演あたり)</p> | <p>出演者: 6名<br/> <u>スタッフ: 1名</u><br/>         合計: 7名</p>  | <p>機材等<br/>運搬方法</p> | <p>積載量 2トン<br/>         車長 7 m未満<br/>         台数ワゴン車含め 2台</p> |

## 【公演団体名 有限会社 劇団風の子北海道】

| 公演に当たっての<br>会 場 条 件                 | 実施条件等確認書①をご確認ください。  |                                    |     |                |       |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
|-------------------------------------|---|------------------------------------|-----|----------------|-------|----|-----|-----|-----|----|----|----|---------|--------------------|----|----------------|-------|----|-----|-----|-----|----|----|----|--------------------|-------------------|----|----------------|---|
| 会場設営の所要<br>時間(タイムスケ<br>ジュール)の目<br>安 | <p>前日仕込み(有・無) 基本的には当日準備します。<br/>開演時間や会場条件によってお願いすることもあります。</p> <p>会場設営の所要時間( 4 時間程度 )<br/>準備は3時間半弱だが児童とリハーサルを行うため</p> <p>午前公演の場合(例)</p> <table border="1" data-bbox="392 685 1433 837"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7時</td> <td>7時～11 時</td> <td>11 時～<br/>12 時 10 分</td> <td>0分</td> <td>13 時～<br/>15 時半</td> <td>15 時半</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開演時間は、各学校の授業時間に合わせて考えます。<br/>※会場条件によって準備、撤去の時間が変わり、これよりも長くなることもあります。</p> <p>午後公演の場合(例)</p> <table border="1" data-bbox="392 994 1433 1111"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時</td> <td>8時～13時<br/>(昼食時間込み)</td> <td>13時～<br/>14 時 10 分</td> <td>0分</td> <td>14 時半～<br/>17時半</td> <td>時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記、同じです。</p> |                                    |     |                |       | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 7時 | 7時～11 時 | 11 時～<br>12 時 10 分 | 0分 | 13 時～<br>15 時半 | 15 時半 | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 8時 | 8時～13時<br>(昼食時間込み) | 13時～<br>14 時 10 分 | 0分 | 14 時半～<br>17時半 | 時 |
| 到着                                  | 仕込み   | 本公演                                | 内休憩 | 撤去             | 退出    |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
| 7時                                  | 7時～11 時   | 11 時～<br>12 時 10 分                 | 0分  | 13 時～<br>15 時半 | 15 時半 |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
| 到着                                  | 仕込み   | 本公演                                | 内休憩 | 撤去             | 退出    |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
| 8時                                  | 8時～13時<br>(昼食時間込み)  | 13時～<br>14 時 10 分                  | 0分  | 14 時半～<br>17時半 | 時     |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
| 児 童 ・ 生 徒<br>の参加可能人数                | ワークショップ   | ～70 人くらい(学年単位で。全校の場合も有り。)          |     |                |       |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
| ワークショップ<br>実 施 形 態<br>及 び 内 容       | 本公演   | 全校児童で観賞。共演はワークショップ体験学年。～520人くらいまで。 |     |                |       |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |
|                                     | <p><b>事前に</b><br/>練習や役決めは必要ありません。先生方に台本とDVDを送りますので大きいイメージを持っていただきたいと思います。子ども達は当日お芝居を見る楽しみもあるので、ワークショップの際にあらすじを伝えます。</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「マーレンと雨姫」について、あらすじ。(10 分くらい)</li> <li>② からだや声の準備運動。イメージ遊び体験。発声練習(15分くらい)</li> <li>③ 舞台装置や演出のイメージをもってもらおう。(5分くらい)</li> <li>④ 「火の玉おやじと大あばれ」シーン作り。(15分くらい)<br/>休憩(5分)</li> <li>⑤ 「雨姫様と雨ふらせ」シーン作り。(15分くらい)</li> <li>⑥ 劇の流れに入って通し練習。(30分くらい)</li> </ol> <p><b>参加人数</b><br/>劇に参加する児童を対象に行います。学校の人数にもよりますが、だいたい20人から70人くらい。できれば高学年の子ども達を中心にしたので、4、5、6年生のうちの1～2 学年に参加してもらうことが多いです。学校の希望により、その限りではありません。小規模の学校では全員参加も可能です。</p>   |                                    |     |                |       |    |     |     |     |    |    |    |         |                    |    |                |       |    |     |     |     |    |    |    |                    |                   |    |                |   |

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <p>ワークショップ<br/>実施形態の意図</p>         | <p>① 「マーレンと雨姫」について、あらすじ。<br/>「マーレンと雨姫」のあらすじを聞いて、物語をイメージしてもらいます。</p> <p>② からだや声の準備運動、発声練習<br/>のびのびと表現するために、遊びを取り入れた体操で子ども達の心とからだをやわらかくします。からだがほぐれてきたら、声も出してみます。また、表現する前に必要な集中力を高めます。子ども達が自分から表現する身体にするため工夫しています。</p> <p>③ 舞台装置や演出のイメージをもってもらおう。<br/>舞台の大きさや目的、演出方法を分かりやすく説明し、子ども達にイメージしてもらいます。子ども達の表現を引き出す工夫です。</p> <p>④ 「火の玉おやじと大あばれ」シーン作り。<br/>全員でからだを大きく使い大きな声でセリフを言って生き生きとした火の表現をします。衣装を着て舞台に出てきてもらう人、その他の役割もその場でやりながら決めていきます。劇作りのスピード感や即興性も体験してもらいます。</p> <p>⑤ 「雨姫様と雨ふらせ」シーン作り。<br/>全員で綺麗に咲きそろう花を表現してもらいます。効果音の鈴をならしたり水、魚、など小道具を使った表現にも挑戦してもらいます。</p> <p>⑥ 流れの中で通し練習<br/>いよいよ台本の流れの中で表現していきます。当日をイメージしながら流れを繰り返し体験していきます。本番でしっかり演技できるように大筋をつかんでもらいます。</p> |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p>           | <p>それぞれの学校によって子ども達の障がい異なるので、それぞれに難しいことがあると思います。上記の内容をもとに、各学校の先生方と相談した上で易しい表現にかえたり、個々に対応いたします。生徒の皆さんが過度な緊張をせず、楽しんで劇を鑑賞、体験してくれることを基本におきたいと思います。</p> <p>これまでの特別支援学校での公演では、子ども達の体調に応じてワークショップの時間を考えました。今までの公演ではこちらが用意していないものですばらしい表現を生み出してくれた子ども達がたくさんいました。できるだけ子ども達の表現を生かし、一緒に舞台を作りたいと思います。</p>  |
| <p>実施可能時期<br/>◇はB区分申請<br/>団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>   |

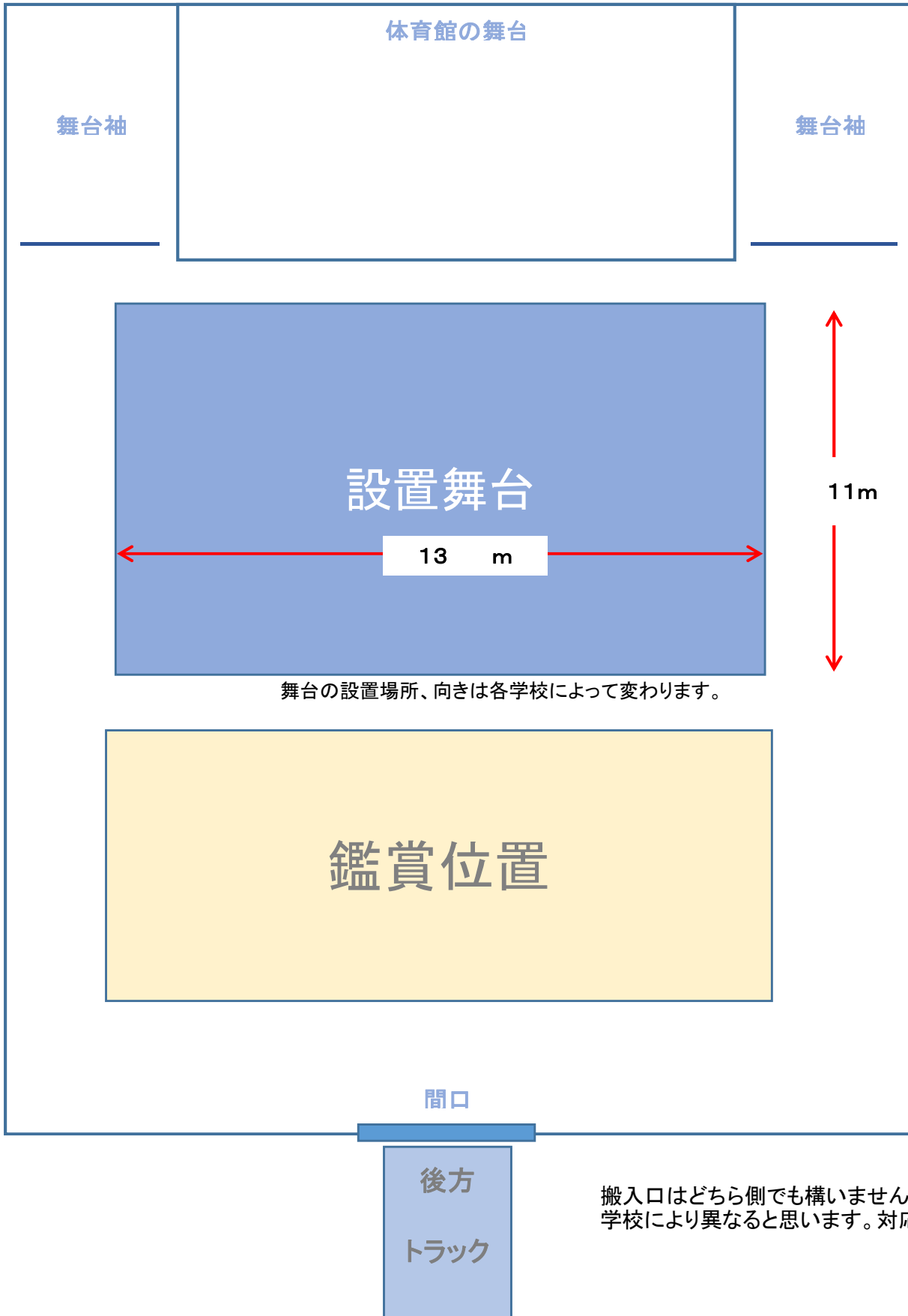
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |               |    |    |    |       |               |   |    |     |
|-------|---------------|----|----|----|-------|---------------|---|----|-----|
| ID    | B20           | 分野 | 演劇 | 種目 | 児童劇   | ブロック          | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 有限会社 劇団風の子北海道 |    |    |    | 制作団体名 | 有限会社 劇団風の子北海道 |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談                  | 必要条件等                  |    |                 |   |                        |                   |       |    |
|---------|----------------------|------------------------|----|-----------------|---|------------------------|-------------------|-------|----|
| 控室について  | 可                    | 必要数 *                  | 1室 | 条件              | 会場内でできる場合もあります。                                   |                        |                   |       |    |
| 搬入について  | 不可                   | 来校する車両の大きさと台数 *        |    |                 | 2tトラック  | 1台                     | バン                | 1台    |    |
|         | 不可                   | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ |    |                 | 2tトラック<br>長さ643cm、幅222cm、高さ307cm                  |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 搬入車両の横づけの要否 *          |    |                 | 要   |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 横づけができない場合の搬入可能距離 *    |    |                 | 10m以内   |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 搬入経路の最低条件              |    |                 | できれば横付けできればありがたいが、相談してください。横付けできない場合は準備時間が長くなります。 |                        |                   |       |    |
|         |                      | 理由                     |    |                 | 大型の舞台装置を搬入するため。                                   |                        |                   |       |    |
|         | 不可                   | 設置階の制限 *               |    |                 | 2階以上不可  |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 搬入間口について<br>単位:メートル    |    | 幅               | 180cm   | 高さ                     | 180cm             |       |    |
| WSIについて | 可                    | 参加可能人数                 |    |                 | 70名くらいまで(学年単位、全校児童も可)                             |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 学年の指定の有無 *             |    |                 | あり  | 指定学年 *                 | 高学年がよいが全校でも可      |       |    |
|         | 可                    | 所要時間の目安<br>単位:分        |    |                 | 90分(養護学校の場合は応相談)                                  |                        |                   |       |    |
| 本公演について |                      | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 |    |                 | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。      |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 鑑賞可能人数                 |    |                 | 全校児童で観賞。共演はワークショップ体験学年。～520人くらいまで。                |                        |                   |       |    |
|         | 不可                   | 舞台設置場所 *               |    |                 | フロア   |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル  |    | 幅               | 13m   | 奥行                     | 11m               | 高さ    | 7m |
|         | —                    |                        |    |                 | 舞台袖スペースの確保 *                                      |                        | 不要                |       |    |
|         | —                    | 体育館の舞台を使用する場合の条件       |    |                 | 舞台袖スペースの条件 *                                      |                        | —                 |       |    |
|         | —                    |                        |    |                 | 緞帳 *  | 不要                     |                   | バトン * | 不要 |
|         | 可                    | 遮光(暗幕等)の要否 *           |    |                 | 要   | 理由                     | 真っ暗にする必要なし。対応します。 |       |    |
|         | —                    | ピアノの調律・移動の要否           |    | 指定位置へのピアノの移動 *  | 不要  | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 |                   |       |    |
|         | —                    |                        |    | ピアノの事前調律 *      | 不要  |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | フロアを使用する場合の条件          |    | バスケットゴールの設置状況 * | 格納されていれば可   |                        |                   |       |    |
|         | 可                    | 公演に必要な電源容量             |    |                 | 50A   | ※主幹電源の必要容量             |                   |       |    |
|         | その他特記事項              |                        |    |                 |   |                        |                   |       |    |
| 可       | 会場条件によっては前日仕込みが必要です。 |                        |    |                 |   |                        |                   |       |    |

会場図面(表記単位:メートル)



|                   |                       |       |    |       |
|-------------------|-----------------------|-------|----|-------|
| 搬入間口について          | 幅                     | 180cm | 高さ | 180cm |
| 搬入車両の横づけの可否       | 横付けできるとありがたい          |       |    |       |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 10m以内だとありがたいが相談してください |       |    |       |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



劇団風の子北海道作品



# マールと 雨姫

テオドール・シュトルーム原作  
「たるの中から生まれた話」より  
脚色 多田 徹 / 演出 鳴海テルマサ



ふしぎな劇じゃあるけれど子ども衆にはわかるはず!



# 「マールンと雨姫」

聞いてください  
見てください!

テオドール・シュトルム作「たるの中から生まれた話」より



## スタッフ

原作 テオドール・シュトルム  
脚色 多田 徹  
演出 鳴海テルマサ  
美術 有賀 二郎  
音楽 岸 功  
衣裳 菊池 大成  
協力 小峯 三奈  
住吉アキヨ  
小道具 小坂橋 恵  
照明 相馬 寛之  
制作 植村 直己

劇団風の子は一九五〇年東京世田谷に誕生し「子ども」のいるとことこへでも」を合言葉に、児童演劇専門劇団として全国を旅しています。  
風の子北海道は一九八二年札幌に拠点をおき「森の笛がきこえる」「どんぐりと山猫」「十二の月の物語」など、自然と人間のかわりを見つめる作品を作ってきました。  
一年を通して道内外をとりまわっています。

## おはなし

こんなにも暑い夏は百年ぶりです。雨が降らないので畑に作物もできず、羊も牛も人間も水がほしくて死にそつです。  
マールンのお父さんの畑は、もとは水たまりだったので今はちようどよくなり、青々と育った作物を売って急にお金持になりました。  
雨姫様がねむっているから雨が降らないと知ったマールンは、羊飼いのアンドリースといっしょに、雨姫様を探しに出かけます。  
でも、雨が降られては困る火の玉おやじがまちかまえています。



## 上演にあたって

この物語は、人間のまわりにまだ自然の精霊や神さまがいた頃のお話です。  
大風や大雨、日どりなどが人間におそいかかってくる人々はお祈りしたり祭をしたりしていました。でもだんだん人間たちが自然を征服できると思うようになると、忘れられた雨姫様は眠ってしまいました。マールンとアンドリースは「それなら起こしにゆこう」と冒険の旅に出かけます。体育館のまん中に舞台をつくり、日どりが広がる大きな炎の幕が舞台をおおいます。火の玉おやじが元気になる音も反対に雨姫様がめざめて井戸から水があふれる音も生の楽器で表現します。真近かな空間で六人の旅の一座が役を演じた音を出したり歌ったり。見ている子どもたちに身体全体で感じとってほしいと思っています。





## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 【音 楽】  | 合唱, オークストラ等, 音楽劇          |
| 【演 劇】  | 児童劇, <u>演劇</u> , ミュージカル   |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊                 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |          |  |
|-----------------------|--|----------|--|
| ふりがな<br>制作団体名         | いっばんざいだんほうじんにほんきょうげきしんこうきょうかい<br>-----<br>一般財団法人 日本京劇振興協会        |          |  |
| 代表者職・氏名               | 代表理事 潮新  |          |  |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒157-0071<br>東京都世田谷区千歳台 5-22-7 ヴィラ千歳台 103<br>京王線「千歳烏山」徒歩 20 分    |          |  |
| 電話番号                  | 03-6411-4168   | F A X 番号 | 03-6411-4168   |
| ふりがな<br>公演団体名         | しんちょうげきいん<br>-----<br>新潮劇院                                       |          |  |
| 代表者職・氏名               | 団長 張春祥   |          |  |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒157-0071<br>東京都世田谷区千歳台 5-22-7 ヴィラ千歳台 103<br>京王線「千歳烏山」徒歩 20 分    |          |  |
| 制作団体<br>設立年月          | 2016年 1月<br>(任意団体としては1996年 1月)                                   |          |  |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員  |          | 団体構成員及び加入条件等   |
|                       | 代表理事 潮新(張春祥)<br>常務理事 梅木俊治/理事 加藤徹<br>評議院: 佐藤信、劉穎、平林宣和<br>監査: 山下輝彦 |          | 団員 張桂琴、侯偉、程孫耘、加藤光一郎(張小山)、<br>樋口理世、田崎摩耶子(張飛鳳)、竹口美鈴、貴船恵子<br><br>加入条件は団員の推薦により、総会の承認を得ること |
| 事務体制の担当               | 専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>  | 本事業担当者名  | 梅木俊治   |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <u>有</u> ・ 無   | 経理責任者名   | 梅木俊治   |



|                           |  |   |       |
|---------------------------|--|---|-------|
| 制作団体沿革                    | 中国伝統芸能「京劇」を祖父の代から三代に渡って受け継ぐ京劇一家に生まれた張春祥が日本での京劇普及を目的に 1996 年に設立。1999 年から伝統京劇と平行して、他ジャンルの芸術家を客演に招く、セリフに日本語を導入する、古い台本をもとに新しい演出をするなど先駆的試みも始める。また創立当初から養成している日本人の俳優も実力をつけ重要な脇役陣となっている。2002 年からは長期的に京劇教室を開催し、生徒による発表会を定期的で開催。また、2009 年からは日本で初となる本格的な京劇俳優養成のための研修制度を設立。さらなる日本での京劇普及・俳優の養成に務めている。2014 年には京劇教室に参加している小学 4 年生の生徒が中国 CCTV「少兒戯曲歡樂季(子供の伝統劇大会)」で演目『林冲夜奔』を演じ、見事、最高点となる五つ星を獲得。さらに中国全土から予選を勝ち抜いて行われる本格的な中国伝統芸能コンテスト「小梅花」にも出場し、97.43 点で金賞を受賞。2016 年に法人化。   |   |       |
| 学校等における公演実績               | <p>2009/6/13 日暮里サニーホール 楽しい京劇の時間(小学生向け京劇ワークショップあり)</p> <p>2011/12/22 群馬県高崎小学校での京劇公演</p> <p>2014/3/1 三鷹市南部図書館「子どものための京劇体験講座」</p> <p>2014/8/2～9 成城ホール・清瀬けやきホール・柏アミュゼ「子どものための京劇体験教室」</p> <p>2015 年度 「文化芸術による子供の育成事業」採択</p> <p>2015 年度 月1回 子供を対象にした無料京劇ワークショップ「京劇であそぼ」開催</p> <p>2015 年8月 久留米シティプラザ プレ事業 子どものための京劇ワークショップ<br/>「夏休みだ！ 京劇 やってみる観る?！」</p> <p>2016 年度 月1回 子供を対象にした無料京劇ワークショップ「京劇であそぼ」開催</p> <p>2016 年度 「文化芸術による子供の育成事業」採択</p> <p>2016 年度 「ヨコハマアートサイト 2016」にて子供向け京劇公演事業採択<br/>森村学園幼稚園・初等部、横浜山手中華学校にて京劇公演、WS</p> <p>2016/8/3 成城ホール「こども京劇」</p> <p>2017 年度 「文化芸術による子供の育成事業」採択</p> <p>2017 年度 「ヨコハマアートサイト 2017」にて子供向け京劇公演事業採択</p> <p>2017 年度 月1回 子供を対象にした無料京劇ワークショップ「京劇であそぼ」開催</p> <p>2017/6/20 立教小学校での京劇公演、WS</p> <p>2017 年 8 月 福岡・大阪・東京にて日中子供伝統芸能交流公演</p> <p>2017 年 9 月 千歳台にじろ保育園にて京劇上演</p> <p>2018 年度 横浜山手中華学校で開始した「京劇部」の指導担当</p> <p>2018 年度 「ヨコハマアートサイト 2017」にて子供向け京劇公演事業採択</p> |   |       |
| 特別支援学校における公演実績            | <p>2017 年 12 月 「ヨコハマアートサイト 2017」にて横浜市立ろう特別支援学校での京劇上演</p> <p>2018 年 7 月 千歳台福祉園での京劇上演</p>  |   |       |
| 参考資料の有無                   | A  | 申請する演目のチラシパンフレット等   | 有 ・ 無 |
| 申請する演目の DVD または WEB 公開資料  |  | 有 ・ 無   |       |
| ※公開資料有の場合 URL             |  | <a href="https://youtu.be/pwEhoosOk3s">https://youtu.be/pwEhoosOk3s</a> |       |
| ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード |  | Youtube「限定公開」設定です   |       |
| A の提出が困難な場合               | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料  | 有 ・ 無   |       |
|                           | ※公開資料有の場合 URL  |   |       |
|                           | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード  | ID:<br>PW:  |       |

## 公演・ワークショップの内容

## 【公演団体名

|                                    |   |   |                                     |
|------------------------------------|---|---|-------------------------------------|
| 対象                                 | 小学生( <u>低学年</u> ・ 中学年 ・ 高学年 ) ・ <u>中学生</u>  |   |                                     |
| 企画名                                | 新潮劇院 京劇公演「孫悟空 天界で大暴れ」   |   |                                     |
| 本公演演目<br>原作 / 作曲<br>脚 本<br>演出 / 振付 | 孫悟空 天界で大暴れ ～西遊記より～<br>(古典演目 / 演出 張春祥)<br>公演時間(レクチャー20分 本編60分 合計80分 : 応相談)   |   |                                     |
| 著作権                                | <input type="radio"/> 制作団体が<br>所有   | <input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事<br>項が含まれる | (制作団体以外が所有す<br>る事項が含まれる場合)<br>許諾の有無 |
| 演 目 概 要                            | <p>日本の「歌舞伎」のように中国を代表する伝統芸能である「京劇」の中で日本人にも人気のある「孫悟空」の演目を上演します。</p> <p><b>【あらすじ】</b><br/>『孫悟空』が三蔵法師と出会う前、暴れん坊の頃のお話です。『孫悟空』のいたずらにすっかり手を焼いた神々は、天界での役職を与え、おとなしくさせようと考えたのですが『孫悟空』は神々の宴を荒らして大暴れ、ついには神々との戦いになるのです。</p> <p><b>【みどころ】</b><br/>派手なメイクと豪華な衣装の中国伝統芸能「京劇」は日本の伝統芸能とは全く趣の違った強い印象を持っています。そして京劇の中でも特殊な存在であり、多くの俳優が演じたいと夢見るキャラクタが『孫悟空』です。彼がまだヤンチャな時代の自由闊達な様子や、サルとも人間ともつかない不思議で豊かな表情、そして得意の棒術による立ち回りの激しさは古今にわたって観客の心をつかんで離しません。また、天界の神々は、それぞれ独特な隈取を施しているのも特徴的です。クライマックスの大立ち回りは必見。</p> <p><b>【その他特徴】</b><br/>公演前には日本人俳優による京劇レクチャーがあり、京劇の歴史や鑑賞方法をわかりやすく解説します。演劇鑑賞は「静かに見る」というのが一般的な印象ですが、京劇は元々茶館で気軽に観劇していた芸能で、観客も一緒に歓声を上げて盛り上がるすることができます。舞台両側には日本語字幕がつき、上演中には日本語のセリフを話す俳優もいます。</p> <p>主演の石山雄太は日本人でありながら子供の頃より京劇の孫悟空に憧れ、単身、本場中国に渡って中国人でも難関である最高峰の劇団「中国国家京劇院」に所属するまでに至った、まさに『夢を叶えた』人物です。そんな彼の行動力と、芸術へと取り組む姿勢は子供たちに感銘を与えます。</p> |   |                                     |
| 演 目 選 択 理 由                        | <p>文化庁巡回公演採択より5年目となり、学校向け上演演目としてお届けするに安定したものとなりました。日本人にもなじみがあり、コミカルなキャラクタの「孫悟空」は、すぐに児童・生徒たちに受け入れられやすい存在で、スムーズに京劇の世界に入り込むことができます。また、セリフ回しよりも表情やしぐさによる表現が多いため、中国語であることをあまり意識せずに鑑賞することができます。そして、立ち回りや派手なアクション・アクロバットも多く、若い世代がより興味を強く惹く演目です。上演を鑑賞した後に、他の中国文学や諸外国について興味を高めるのも海外伝統芸ならではの特色といえます。</p> <p>神々から「暴れん坊」のレッテルを貼られる孫悟空ですが、筋が通らないことに怒っているだけ・・・というのも、高学年の児童・生徒には共感を得られたり、考えさせられたりする部分があるかと思います。</p>  |   |                                     |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態                 | <p>事前のワークショップに参加した生徒代表が、本場のメイク・衣装で登場して本編に参加します。</p> <p>また、京劇は観客が舞台に声援を送る習慣があります。公演前のレクチャーで拍手や「好(ハオ)！」の掛け声を事前に練習することで、観客側にいるこどもたちも役者と一体になって演劇のライブ感を共有することができます。</p> <p>ご希望があればワークショップ終了後に交流給食もご対応致します。</p>   |   |                                     |

|                      |   |             |  |
|----------------------|---|-------------|--|
| 出 演 者                | 主演:石山雄太(元中国国家京劇院所属)<br>張桂琴(元中国戯曲学院講師)／衛藤俊和／田村義明(荒馬の旅)<br>侯偉(上海京劇院出身)／劉東風(北京京劇院出身)／張飛鳳／竹口美鈴／茶谷力輝 |             |  |
| 公演出演予定者数<br>(1公演あたり) | 出演者: 9名<br><u>スタッフ: 6名</u><br>合計: 15名   | 機材等<br>運搬方法 | メンバーはマイクロバス<br>積載量 1.25t<br>車長 6.9m<br>台数 1台<br><br>機材搬入・搬出時は<br>業者 2t 車乗入 |

## 【公演団体名

新潮劇院】

|                                     |   |  |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
|-------------------------------------|---|--|-------------|-------|--|----|-----|----|--|--|--|------|-----------|------|--|--|--|----|---------------------|-----|----|----|--|------|------------------------------------|-------------|-------------|-------|--|
| 公演に当たっての<br>会 場 条 件                 | 実施条件等確認書①をご確認ください。  |  |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 会場設営の所要<br>時間(タイムスケ<br>ジュール)の目<br>安 | <p>前日仕込み(有)・無) ※絶対条件ではありません<br/>会場設営の所要時間( 2 時間程度 )</p> <p>■前日仕込</p> <table border="1"> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>退出</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>18 時</td> <td>18 時～20 時</td> <td>20 時</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>■本公演</p> <table border="1"> <tr> <td>到着</td> <td>俳優メイク/児童リハ/児童メイク・着付</td> <td>本公演</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>9:00-11:00/11:00-11:40/12:10-13:00</td> <td>13:00-14:20</td> <td>14:30-17:30</td> <td>17:30</td> <td></td> </tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> |  |             |       |  | 到着 | 仕込み | 退出 |  |  |  | 18 時 | 18 時～20 時 | 20 時 |  |  |  | 到着 | 俳優メイク/児童リハ/児童メイク・着付 | 本公演 | 撤去 | 退出 |  | 9:00 | 9:00-11:00/11:00-11:40/12:10-13:00 | 13:00-14:20 | 14:30-17:30 | 17:30 |  |
| 到着                                  | 仕込み   | 退出   |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 18 時                                | 18 時～20 時   | 20 時   |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 到着                                  | 俳優メイク/児童リハ/児童メイク・着付   | 本公演  | 撤去          | 退出    |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 9:00                                | 9:00-11:00/11:00-11:40/12:10-13:00  | 13:00-14:20  | 14:30-17:30 | 17:30 |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 児 童 ・ 生 徒<br>の参加可能人数                | ワークショップ   | 本公演共演者指導 6～24名(16名が基本)<br>上記以外の児童への体験型ワークショップ 60名程度<br>※上記を越える場合は聴講がメインのワークショップになります |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
|                                     | 本公演   | 共演者 6～24名(16名が基本)<br>観覧 600名   |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| ワークショップ<br>実 施 形 態<br>及 び 内 容       | <p>天兵、小猿、仙童役として公演で出演していただける児童・生徒の参加希望者を事前に募っていただき、公演の段取りを指導致します。事前に映像と段取りの資料をお送りいたしますので、大枠のイメージだけでも掴んでおいていただきますと、よりワークショップをスムーズに行うことができます。</p> <p>代表児童・生徒だけでのワークショップ開催が難しい学校様については、学年単位・クラス単位などの形態で開催致します。出演予定の子供たちに公演の段取りを指導する間、他の子供たちには京劇様式や立ち回りの指導を行います。最後には出演者たちの練習成果を発表します。</p>  |  |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| ワークショップ<br>実施形態の意図                  | <p>「京劇」の技術は本場中国でも専門の学校でしか習得できず、子供たちにはとても貴重な体験となります。こういった技術は毎日の基礎練習を繰り返すことで習得されるもので、1日のワークショップではその触りを知ることができるだけですが、実際には中国の戯曲学校で、自身と同年代の子供たちが連日訓練を行っていますので、彼らが、俳優として舞台に立つまでに日々どのような訓練をしているのか、芸術を極めることの困難さを知ることができます。</p> <p>上記とは逆になりますが、比較的簡単に習得できる大技もありますので、これを学ぶことで子供たちが達成感を得ることもできます。京劇の派手な衣装・メイクによって普段引込み思案な子ども自信をもって舞台に登場することができ、芸術の楽しさを体感できるとともに、出演した子供たちの積極性を著しく成長させると毎回好評をいただいております。</p>  |  |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 特別支援学校での<br>実施における<br>工夫点           | <p>派手な衣装・メイク、おおげさな様式による感情表現などノンバーバルな演劇としても成立していますので、特別支援学校においても特に改変なく上演は可能です。児童との共演に関しては障害の重さ・内容によってどのような対応ができるかは変わって来ますので、事前に学校担当者の方と綿密に連絡を取り内容を都度調整させていただいて、スムーズに実践ができるように尽力致します。</p>   |  |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |
| 実 施 可 能 時 期<br>◇はB区分申請<br>団体のみ      | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。  |  |             |       |  |    |     |    |  |  |  |      |           |      |  |  |  |    |                     |     |    |    |  |      |                                    |             |             |       |  |

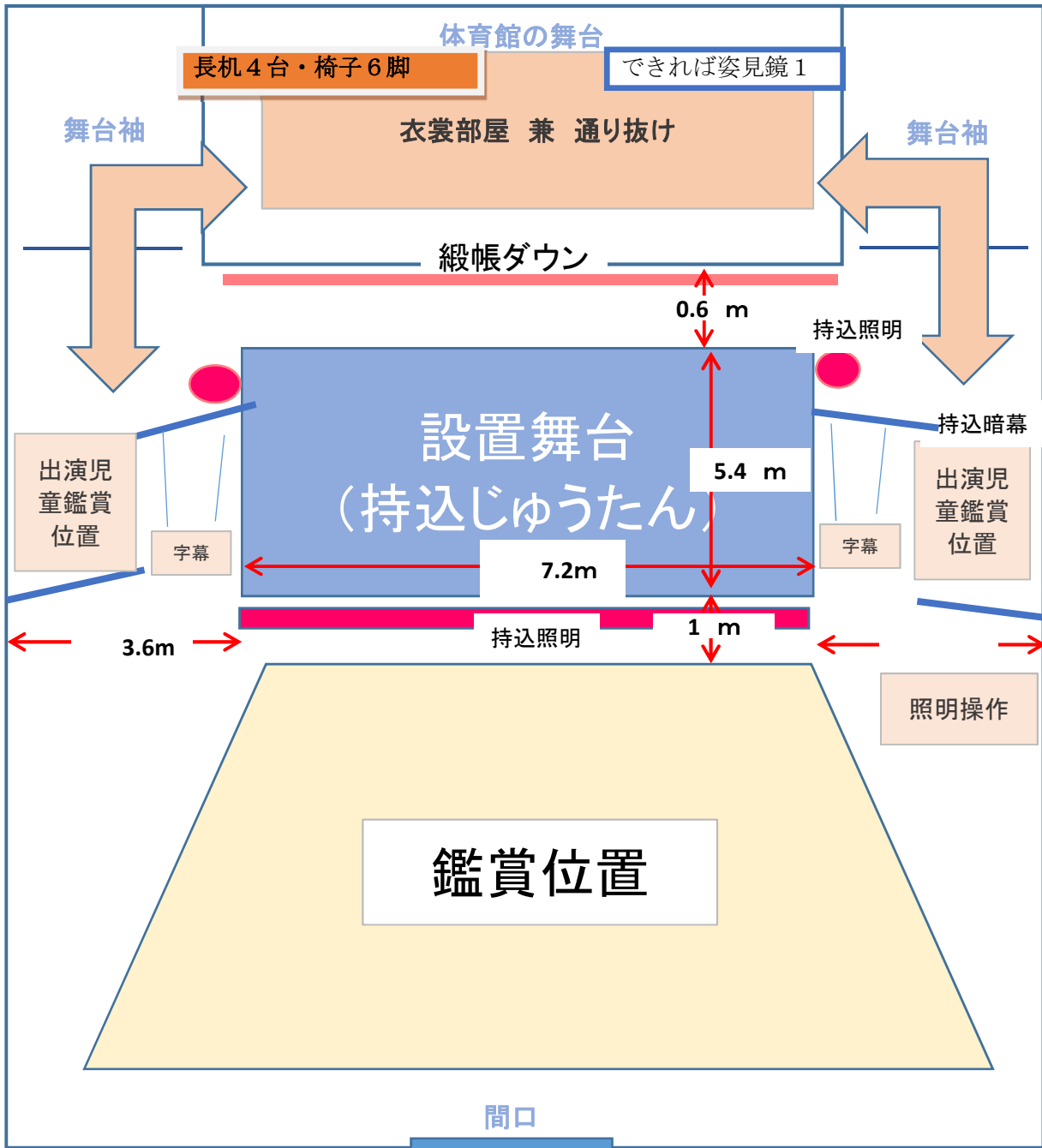
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |      |    |    |    |       |                 |   |    |     |
|-------|------|----|----|----|-------|-----------------|---|----|-----|
| ID    | B21  | 分野 | 演劇 | 種目 | 演劇    | ブロック            | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 新潮劇院 |    |    |    | 制作団体名 | 一般財団法人 日本京劇振興協会 |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談                 | 必要条件等                                      |    |                 |   |                |                |                                |    |  |
|---------|---------------------|--|----|-----------------|---|----------------|----------------|--------------------------------|----|--|
| 控室について  | 可                   | 必要数 *                                      | 1室 | 条件              | ある程度広く(20名ほど収容可)、水道が使いやすく、会場に近い。(理科室・家庭科室など)  |                |                |                                |    |  |
| 搬入について  | 不可                  | 来校する車両の大きさと台数 *                            |    |                 | 中型バス 1台   | 2トラック 1台       |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ                     |    |                 | 2トラック(搬入出時のみ来る。留め置きなし)  |                |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 搬入車両の横づけの要否 *                              |    |                 | 横付けできるのが望ましいが、できなくても可   |                |                |                                |    |  |
|         | —                   | 横づけができない場合の搬入可能距離 *                        |    |                 | 問わない  |                |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 搬入経路の最低条件                                  |    |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り階段のない経路が望ましい。</li> <li>・屋根のある経路が望ましい。</li> </ul> |                |                |                                |    |  |
|         | /                   | 理由   |    |                 | 機材が多く、貴重な衣装などがあるため。   |                |                |                                |    |  |
|         | —                   | 設置階の制限 *                                   |    |                 | 問わない  |                |                |                                |    |  |
| 不可      | 搬入間口について<br>単位:メートル |  | 幅  | 1m              | 高さ  | 1m             |                |                                |    |  |
| WSについて  | —                   | 参加可能人数                                     |    |                 | 共演者指導 6~24名(16名が基本)。上記以外の児童への体験WS 60名程度。それ以上は聴講形式WS。  |                |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 学年の指定の有無 *                                 |    |                 | なし  | 指定学年 *         | できれば高学年        |                                |    |  |
|         | 可                   | 所要時間の目安<br>単位:分                            |    |                 | 90~120分   |                |                |                                |    |  |
| 本公演について | /                   | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間                     |    |                 | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。  |                |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 鑑賞可能人数                                     |    |                 | 通常の体育館で600名程度。ホールなどであれば何名でも。  |                |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 舞台設置場所 *                                   |    |                 | フロア   |                |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル                      |    | 幅               | 14.4m   | 奥行             | 6m             | 高さ                             | 3m |  |
|         | 可                   | 体育館の舞台を使用する場合の条件                           |    |                 | 舞台袖スペースの確保 *  |                | 要              |                                |    |  |
|         | 可                   |  |    |                 | 舞台袖スペースの条件 *  |                | 通り抜けられる導線がある状態 |                                |    |  |
|         | 可                   | 遮光(暗幕等)の要否 *                               |    |                 | 緞帳 *  | 要              | バトン *          | 不要                             |    |  |
|         | 可                   |  |    |                 | 指定位置へのピアノの移動 *  |                | 要              | 理由 自然光が強いと字幕が読みにくくなるため、あった方がよい |    |  |
|         | —                   | ピアノの調律・移動の要否                               |    |                 | ピアノの事前調律 *  |                | 不要             |                                |    |  |
|         | —                   | フロアを使用する場合の条件                              |    | バスケットゴールの設置状況 * |   | 舞台が遮られなければ問題なし |                |                                |    |  |
|         | 可                   | 公演に必要な電源容量                                 |    |                 | 20A   |                | ※主幹電源の必要容量     |                                |    |  |
|         | その他特記事項             |  |    |                 |   |                |                |                                |    |  |
|         | —                   | 京劇は舞台装置がシンプルで柔軟な対応が可能、屋内であれば、ほぼあらゆる環境で上演可。 |    |                 |   |                |                |                                |    |  |
|         |                     |  |    |                 |   |                |                |                                |    |  |
|         |                     |  |    |                 |   |                |                |                                |    |  |

会場図面(表記単位:メートル)



- ・床に持込カーペットを敷いて舞台を設営。体育館のステージは緞帳を下ろし、衣裳部屋兼移動通路となります。ステージ上と袖は通り抜けができるように、学校の機材・ピアノがあれば動かしてください。
- ・舞台袖に音響器具を設営します。(スピーカー、ミキサーなど)また、体育館の音響機器に当方の音響機器を繋ぎこみます。
- ・舞台両脇に持ち込みの暗幕・字幕用パネル・字幕用プロジェクタ、照明器具を設営します。
- ・観覧スペースの最前列は絨毯の端から最低でも1m、可能であれば2mほど離して下さい。
- ・[観劇生徒の列の横幅]は、2台の字幕プロジェクタの幅以内に整列して頂くとお芝居が見やすいです。

|                   |   |    |      |    |
|-------------------|---|----|------|----|
| 搬入間口について          | 幅 | 1m | 高さ   | 1m |
| 搬入車両の横づけの要否       |   |    | 望ましい |    |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 |   |    | 問わない |    |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



新潮劇院

# 孫悟空 天界で大暴れ

演出：張春祥

写真：木村武司

子供たちと中国伝統芸能「京劇」を上演!



ぶんかちょう  
文化庁



派手なメイク・豪華な衣装でお芝居をし、アクロバットや立ち回りなど見所満載な「京劇」ユネスコ無形文化遺産にも登録されている中国伝統芸能を子どもたちと共演で上演します。演目は子どもから大人まで知っている「西遊記」の主人公「孫悟空」の物語。

**ワークショップ** 出演の子どもたちにプロが段取り指導。出演しない子どもたちには歴史・様式の説明、立ち回り体験など。



**本公演** 子どもたちが京劇俳優によるメイク、本物の舞台衣装で登場。上演前には鑑賞方レクチャーもあり見所がたくさん。



**【孫悟空役 石山雄太】**

東京浅草生まれ。小学生のときテレビで上演していた京劇「孫悟空 天界で大暴れ」を見て以来、孫悟空に魅了され、高校卒業後、中国最高の京劇教育機関である「中国戯曲学院」に留学。卒業後中国トップの京劇団「中国国家京劇院」に入団。現在に至るまで唯一の外国人(日本人)京劇俳優となっている。現在は日本に戻り京劇普及活動と孫悟空役の研鑽に務めている。正に「子どもの頃の夢を叶えた」人物。

## 京劇について



様々な中国の地方劇の要素を取り入れた中国伝統芸能「京劇」は「国劇」とも呼ばれ、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。派手なメイク・豪華な衣装・アクロバット・立ち回りと見所は満載ですが、舞台装置は簡素で、通常は机一卓と椅子二脚程度しかありません。京劇俳優は基礎となる四技能唱(歌)、念(セリフ)、做(しぐさ)、打(立ち回り)を駆使して、自分の手で様々な場面設定を舞台上に創り上げます。「伝統芸能」ということで、堅苦しいイメージがありますが元々は庶民の娯楽として親しまれてきたもので、俳優が見得を切った時には拍手や「好(ハオ!)」という掛け声をかけて演者を応援します。演者はそれに応じてさらに熱演を繰り広げます。

## よくあるご質問

**Q.子どもたちが舞台上で失敗してしまったら上演に影響があるのでは?と心配です。**

A.段取りは憶えやすい内容で、かつ指導時に様子を見ながら臨機応変に調整して、無理なくできる内容にしています。出演中も常に役者がサポートし、もしど忘れなどがあっても問題なく本来の進行に戻れる構成にしております。どうぞご安心ください。

**Q.上演は中国語でしょうか? 話についていけない子がいるのではないのでしょうか。**

A.孫悟空は中国語ですが、日本語で演じる役もあります。舞台袖には低学年でも読める内容・分量で日本語字幕が表示されます。が、全体的にセリフは少なく、孫悟空は表情豊かでリアクションも大きいので字幕を読まなくても物語は理解できます。

**Q.外国の伝統芸能だと難しそうですが、低学年の子でも最後まで飽きずに鑑賞できますか?**

A.京劇はもともと茶館で上演し、気楽に隣の人とおしゃべりをしたり、笑ったり、拍手や掛け声で応援ができる伝統芸能です。上演前レクチャーではそういった説明や「好(ハオ!)」の掛け声を練習し、子どもたちはリラックスした状態で長時間の鑑賞を楽しむことができます。ストーリーはシンプルですが、派手な衣装やメイク、独特な発声、猿の面白い動き、派手な立ち回りなど見所が満載で最後まで飽きることはありません。



## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 【音 楽】  | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇          |
| 【演 劇】  | 児童劇, 演劇, <u>ミュージカル</u>    |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊                 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要




|                       |  |   |              |
|-----------------------|--|---|--------------|
| ふりがな<br>制作団体名         | かぶしきがいしゃ とうきょうえんげきしゅうだん かぜ<br>株式会社 東京演劇集団 風                                |   |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 浅野佳成   |   |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒164-0003 東京都中野区東中野 1-2-4<br>(JR 総武線 東中野駅 / 地下鉄 中野坂上駅)                     |   |              |
| 電 話 番 号               | 03-3363-3261   | F A X 番 号   | 03-3363-3265 |
| ふりがな<br>公演団体名         | とうきょうえんげきしゅうだん かぜ<br>東京演劇集団 風  |   |              |
| 代表者職・氏名               | 劇団代表 辻由美子 / 芸術監督 浅野佳成  |   |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒<br>同上  |   |              |
| 制 作 団 体<br>設 立 年 月    | 1987年11月   |   |              |
| 制 作 団 体<br>組 織        | 役 職 員<br>代表取締役(芸術監督): 浅野佳成<br>取締役: 柳瀬太一 / 佐藤春江<br>緒方一則 / 西垣耕造<br>監査役: 柴崎美納 | 団体構成員及び加入条件等<br>■劇団員 32名(俳優 26名 / スタッフ 6名)<br>■実習生としての一定の養成期間を経て入団が認められ、その後 3年間の研究生期間を経て劇団員となる<br>■入団者は専属の俳優・スタッフとして契約を結ぶ |              |
| 事務体制の担当               | <u>専任</u> ・ 他の業務と兼任  | 本事業担当者名   | 江原早哉香        |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <u>有</u> ・ 無   | 経理責任者名  | 佐藤春江         |

|                |   |  |   |
|----------------|---|--|---|
| 制作団体沿革         | <p>1987年、東京演劇集団風創立。チェーホフ、ブレヒト作品を核に上演活動を行い、1999年、東京・東中野に劇団専属の劇場〈レパトリーシアターKAZE〉を建設する。</p> <p>2003年から〈ビエンナーレ KAZE 国際演劇祭〉を開催。この演劇祭を通じた海外アーティストとの国際的な交流は、国際協働作業へと発展。現代劇作家マテイ・ヴィスニユック(ルーマニア出身、フランス在住)による書き下ろし作品の上演、ワシントン〈ジョン・F・ケネディ・センター〉などで海外公演を実施。</p> <p>2017年には劇団創立30周年を迎え、記念公演としてブレヒト作『バールの賛歌』(浅野佳成 構成・演出)、マテイ・ヴィスニユック作『母が口にした「進歩」』(江原早哉香 演出)のほか、10作品を上演。</p> <p>〈言葉〉と〈動き〉の原点に迫る『詩劇』への挑戦など、現代劇の可能性を探究し続けている。</p>   |  |   |
| 学校等における公演実績    | <p>劇団創立以来、全国の小・中・高校、支援学校における公演を、劇団の主要活動のひとつとして実践している。</p> <p><b>【近年の公演実績】</b> 平成29年:146校／平成30年:166校／平成31年:190校</p> <p>『星の王子さま』(1989年から巡回公演開始／延べ1400公演)<br/>劇団創立翌年の1988年に初演。作者サン＝テグジュペリ遺族・著作権者の協力のもと上演を繰り返している。</p> <p>『ジャンヌ・ダルク』(2014年から巡回公演開始／延べ280公演)<br/>マテイ・ヴィスニユックの書き下ろしによる、日本・フランス・モルドバ3カ国共同制作。</p> <p>『肝っ玉おっ母とその子供たち』(2006年から巡回公演開始／延べ500公演)<br/>2011年には東日本大震災被災地の学校において巡回公演を行う。</p> <p>他、『ヘレン・ケラー』(延べ1500公演)『ハムレット』(延べ230公演)『Touch』(延べ1000公演)</p> <p>また、2018年から学校等における新たな公演として、子供たちひとりひとりが〈詩のことば〉を持ってアーティストとなる活動『エクリチュール・バガボンド』をフランスのスフルールと協働し展開している。</p> |  |   |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>劇団独自の巡回公演、文化庁の巡回公演事業において、1993年から全国の特別支援学校〔視覚障害、聴覚障害、肢体不自由(病弱児・者)すべてを含む〕の小学部・中学部・高等部で公演を行っている。</p> <p>宮崎県立都城さくら聴覚支援学校／社会福祉法人岩崎学園<br/>北海道教育大学附属特別支援学校／栃木県立那須特別支援学校<br/>盛岡青松支援学校(旧松園養護学校)／群馬大学教育学部附属特別支援学校<br/>児湯るびなす支援学校／柏特別支援学校流山分教室／広島中央特別支援学校／岡山盲学校<br/>下関総合支援学校／柳河特別支援学校／天草高等学校倉岳校／琴の浦特別支援学校</p> <p>特別支援学校での公演により、「演劇によるバリアフリー」研究会、近隣の福祉作業施設との交流などの活動が始まっています。</p>   |  |   |
| 参考資料の有無        | A   | <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>DVDを提出します</p> <p>ID:<br/>PW:</p> |
|                | Aの提出が困難な場合  | <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>       | <p>有 ・ 無</p> <p>ID:<br/>PW:</p>                               |

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名

東京演劇集団 風】

|                       |   |                        |                                     |
|-----------------------|---|------------------------|-------------------------------------|
| 対 象                   | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生  |                        |                                     |
| 企画名                   | 全校児童・生徒参加によるミュージカル『星の王子さま』  |                        |                                     |
| 本公演演目                 | <b>星の王子さま</b>   |                        |                                     |
| 原作／作曲<br>脚 本<br>演出／振付 | 原作：サン＝テグジュペリ 翻訳：内藤濯<br>構成・演出：浅野佳成／作曲：八幡茂  |                        | 公演時間(100分)                          |
| 著作権                   | ✓ 制作団体が<br>所有   | 制作団体以外が所有する事<br>項が含まれる | (制作団体以外が所有す<br>る事項が含まれる場合)<br>許諾の有無 |
| 演 目 概 要               |  <p>遠いほらかな星に、たったひとつの花と暮らしている小さな王子さま。彼は星から星をめぐる旅を続けて、地球にやって来ます。王子さまは地球で、飛行士や一匹のキツネと出会い、〈友だち〉とは何か、〈かけがえのないもの〉とは何かを学び、成長していきます。そして一年がたったある日、王子さまは地球や友だちに別れを告げて、大切な花のために星に帰ることを決意するのです。</p>  <p>人や物事との出会いを温かく見つめ、美しく力強く生きる少年の姿を通して、『星の王子さま』は地球の美しさと、そこに生きている私たちが失くしてはならないものを問いかけています。「大切なものは目には見えない——」と。</p>  <p>『星の王子さま』は第二次世界大戦のさなか、1943年にサン＝テグジュペリによって描かれました。以後、世界54カ国で翻訳・出版され、世界中の人々に愛され、読み継がれてきました。この作品は初演以来、全国巡回公演の中で練り上げてきた劇団の代表作です。</p> |                        |                                     |
| 演目選択理由                | 『星の王子さま』には、戦争の時代を生きたサン＝テグジュペリの〈ものごとの真実を心で見たい〉〈生きることを見つめ直してほしい〉という、あとから生まれてくる世代へのメッセージがあります。人やものごとに深い思いやりを持ちながら、出会いの中でかけがえのないものを見つけ、歩み出していく少年。その勇気と成長の物語を通して、子供たちが世界を愛し、人を思いやり、生きる力を大切にしたい。さらに彼らの成長を願い、見守る先生方と一緒に舞台に親しんでほしいと考え、この作品を選択しました。  |                        |                                     |

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

子供たちが演劇を身近に感じ、人との関わりの中で演劇をつくる楽しさを体感できるよう、参加・共演場面を用意しました。

#### 全校児童・生徒が共演する『星の王子さま』のクライマックス

王子さまが、一輪の花のために自分の星に帰っていくラストシーンに、全校児童・生徒が参加します。児童・生徒がその場に立ち上がり、王子さまとかけ合いで歌い、台詞を呼びかけ、クライマックスの場面をつくります。



子供たちが、俳優と一緒に作るクライマックスシーン

誰もが共演者となり、表現する楽しさ、人ともものをつくる喜びや達成感を共有してほしいと考えています。

#### ◆ 最上級生が舞台上で歌う「旅立ちの歌」

卒業前の思い出のひとつとなるよう、最上級生全員が舞台上に立ち、地球へ旅立つ王子と共に「旅立ちの歌」を歌います。



俳優と最上級生がつくる旅立ちの場面

#### ◆ 先生方の共演シーン

子供たちが「先生も一緒につくっている舞台だ」と喜びを感じられるために、王子がさまざまな星をめぐる場面で先生方に「呑み助」役、「地理学者」役での出演をお願いしています。



「呑み助」役を演じる先生



「地理学者」役を演じる校長先生

#### 演奏による参加

王子さまが歌う劇中の歌「光と影」では吹奏楽部や音楽クラブが、演奏で参加することも可能です。

演劇への興味・関心を育み、舞台づくりのプロセスに多面的に触れられる交流・体験プログラムをつくりました。

◇ バックステージ・ツアー(舞台裏見学)

俳優とスタッフが、体育館に設営された舞台を案内します。本番で使用する道具や衣装に自由に触れる、表からは見えない舞台づくりの仕組みと工夫を体験します。



◇ 音響・照明のオペレート体験

舞台を支えているスタッフの仕事を体験します。音響や照明の専門スタッフによる、音の出る仕組みやスポットライトの仕組みなどの説明を受け、子供たちが実際に操作してみます。



◇ 共演者・スタッフを身近に感じる様々な交流

俳優・スタッフと「将来の夢」や「職業」について話し合う座談会。終演後に俳優と触れあい、感想を伝え合うなどの機会をつくれます。



このような参加・体験を通して「みんなと、先生と、一緒に舞台をつくった！」という感動が、子供たちの心の経験、学校のかげがえのない思い出となることを願い、プログラムをつくりました。

出会いと触れあいの中で、子供たち同士、また子供たちと先生の間に新しい「発見」や「対話」が生まれることを期待しています。



終演後の先生と子供たちの様子

|                      |   |             |  |
|----------------------|---|-------------|--|
| 出演者                  | 白根有子／緒方一則／工藤順子／渋谷愛<br>田中賢一／酒井宗親／栗山友彦／坂牧明／蒲原智城 |             |  |
| 公演出演予定者数<br>(1公演あたり) | 出演者: 9名<br>スタッフ: 15名<br>合計: 24名               | 機材等<br>運搬方法 | 積載量 11 t / 4 t<br>車長 11.4m / 8.4m<br>台数 2台 |

| 公演に当たっての<br>会場条件                    | 実施条件等確認書①をご確認ください。  |                |     |          |      |    |     |     |     |    |    |     |                       |                |     |          |      |
|-------------------------------------|---|----------------|-----|----------|------|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----------------------|----------------|-----|----------|------|
| 会場設営の所要<br>時間(タイムスケ<br>ジュール)の目<br>安 | <p>会場条件によって舞台設営の所要時間は異なりますが、目安として以下のようなスケジュールで公演を行っています。</p> <p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間 ([前日]~2時間/[当日]2時間半)</p> <table border="1" data-bbox="389 907 1430 1025"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時半</td> <td>8時半~12時<br/>(リハーサルを含む)</td> <td>13時~<br/>14時40分</td> <td>10分</td> <td>15時~17時半</td> <td>17時半</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>前日仕込みの内容や舞台裏見学・オペレート体験などの公演当日のプログラムは、先生方と話し合い、一校一校作成していきます。</p> |                |     |          |      | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 8時半 | 8時半~12時<br>(リハーサルを含む) | 13時~<br>14時40分 | 10分 | 15時~17時半 | 17時半 |
| 到着                                  | 仕込み   | 本公演            | 内休憩 | 撤去       | 退出   |    |     |     |     |    |    |     |                       |                |     |          |      |
| 8時半                                 | 8時半~12時<br>(リハーサルを含む)   | 13時~<br>14時40分 | 10分 | 15時~17時半 | 17時半 |    |     |     |     |    |    |     |                       |                |     |          |      |
| 児童・生徒<br>の参加可能人数                    | ワークショップ   | ~1000人         |     |          |      |    |     |     |     |    |    |     |                       |                |     |          |      |
|                                     | 本公演   | ~1000人         |     |          |      |    |     |     |     |    |    |     |                       |                |     |          |      |



|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <p>ワークショップ<br/>実施形態<br/>及び内容</p> | <p>ワークショップは共演のための練習です。全校児童・生徒を対象に行い、本番で共演する『星の王子さま』のクライマックスシーンを俳優と一緒に作ります。</p> <p><b>出演シーンの説明</b></p> <p>はじめに演出家が、『星の王子さま』のあらすじ、児童・生徒の共演シーン(王子が飛行士に別れを告げて自分の星に帰るクライマックスの場面)を説明し、実演練習に入ります。</p> <p>② <b>王子を支える〈動き〉の実演</b></p> <p>俳優たちとの実演の中で、「やってみよう」とその場に立ち、王子と別れを告げて座るまでの参加場面の一連の〈動き〉を体験します。</p> <p>まずは王子とひとりひとりが向き合い、互いに気持ちを交感することから始めていきます。</p> <p>③ <b>ソング「ぼくは行く」を俳優と練習</b></p> <p>王子を励まし歌うソング「ぼくは行く」に王子役・ヘビ役の俳優と取り組みます。</p> <p>はじめは歌詞を言葉でやり取りしながら、少しずつ王子への想いを高め、メロディーにしていきます。</p> <p>④ <b>王子と別れを告げる台詞の練習</b></p> <p>飛行士役の俳優と一緒に、「おーい、おーい、どこへ行ってしまったんだよ」という台詞を全員で呼びかけます。自分の心に感じたものを大切に、それぞれの声とタイミングで表現できるように指導していきます。</p> <p>⑤ <b>本番と同じように演じてみる通し稽古</b></p> <p>練習した〈動き〉〈歌〉〈台詞〉をもとに、全員でひとつの場面を作ります。</p>     |
| <p>ワークショップ<br/>実施形態の意図</p>       | <p>ワークショップは、子供たちが共演する俳優と身体で向き合い、全員で演じることの達成感を得ることを意図しています。</p> <p>子供は大人が思いもよらないほど、繊細かつ敏感な感覚で人や物事と向き合い、周りの環境からたくさんのものを身体で受けとめています。ワークショップでは、その子供たちひとりひとりが「心の中の想いを伝える」「他の人の気持ちを想像する」という表現の楽しさを感じながら、「見て、聞いて、感じ、自分の心に生まれたものを大切に演技する」ことを重視しています。</p> <p>この一連のワークショップを通して、子供たちが本番への期待をふくらませ、互いの違いを理解し合いながら〈全員でひとつのものをつくれるという豊かさ〉を共有して欲しいと考えています。</p>   |

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p>           | <p>基本的には他校と同様のワークショップ・本番を行い、先生方の意向を汲み、以下のよう工夫をします。</p> <p><b>先生方の意向を伺い、それらを具体化するための打合せ</b><br/>先生方も安心と期待を持てるワークショップ・公演になるよう、先生の要望や疑問点を聞いていきます。そのうえで当日のスケジュールや上演時間、舞台設営の方法など、個々の学校に対応すべくプログラムを作成・提案し、実施に臨みます。</p> <p><b>個々の子供たちに対応した、観劇・参加のための環境づくり</b><br/>舞台設営においては、子供たちが通る通路の配線や道具の設置位置など、ひとつひとつ細かい点に気を配ります。<br/>会場内の明るさや音の調整、パンフレット作成の工夫、鑑賞を補助する機材の導入、参加のためのスロープの設置など、よりよい環境で子供たちが観劇・参加できるよう工夫します。</p> <p><b>子供たちがいきいきと演劇に親しむための工夫</b><br/>子供たちが、先生方と一緒に親しみを持って共演者や舞台に触れ、「自分たちの舞台だ！」と感ぜられるよう、俳優との交流、音や光の操作体験、先生と一緒に舞台の道具や仕組みに触れる機会を多く設けます。</p> |
| <p>実施可能時期<br/>◇はB区分申請<br/>団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>   |



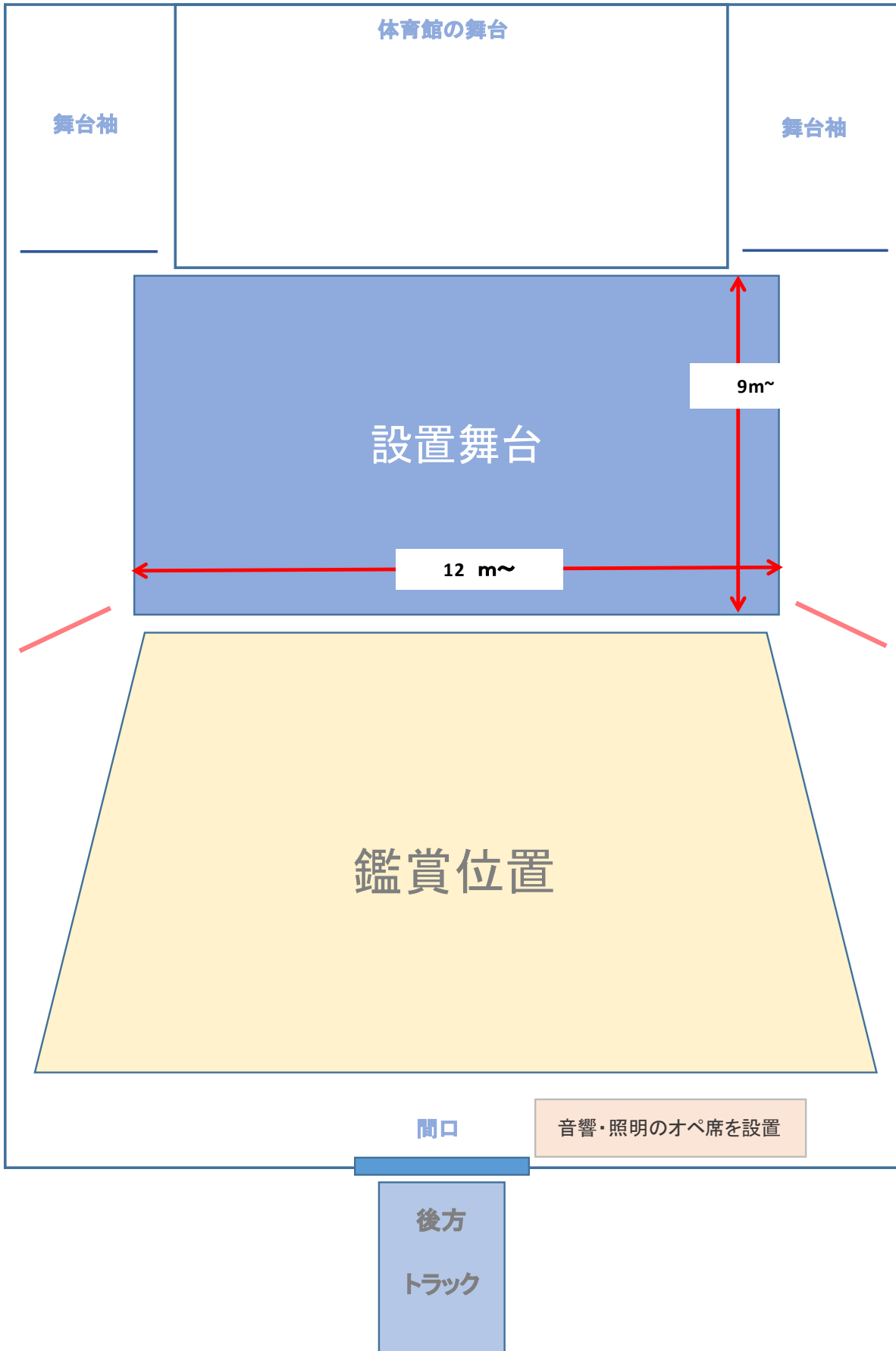
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |          |    |    |    |        |               |   |    |     |
|-------|----------|----|----|----|--------|---------------|---|----|-----|
| ID    | B22      | 分野 | 演劇 | 種目 | ミュージカル | ブロック          | B | 区分 | B区分 |
| 公演団体名 | 東京演劇集団 風 |    |    |    | 制作団体名  | 株式会社 東京演劇集団 風 |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談  | 必要条件等                  |   |                       |                                     |                        |    |       |  |
|---------|--|------------------------|---|-----------------------|-------------------------------------|------------------------|----|-------|--|
| 控室について  | 可  | 必要数 *                  | 1室  | 条件                    | 特にありません。本公演日のみ、授業であまり使用しない部屋をお借ります。 |                        |    |       |  |
| 搬入について  | 可  | 来校する車両の大きさと台数 *        |   | 中型バス 1台               |                                     | 11t/4t 各1台             |    |       |  |
|         | 可  | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ |   | 11tトラック、4tトラック        |                                     |                        |    |       |  |
|         | 可  | 搬入車両の横づけの要否 *          |   | 不要                    |                                     |                        |    |       |  |
|         | 可  | 横づけができない場合の搬入可能距離 *    |   | 問わない                  |                                     |                        |    |       |  |
|         | 可  | 搬入経路の最低条件              |   | 搬入経路条件に関係なく、搬入し設営します。 |                                     |                        |    |       |  |
|         | /  | 理由                     |   | 大道具等の搬入を行います          |                                     |                        |    |       |  |
|         | —  | 設置階の制限 *               |   | 問わない                  |                                     |                        |    |       |  |
|         | —  | 搬入間口について<br>単位:メートル    |   | 幅                     | 問いません                               |                        | 高さ | 問いません |  |
| WSIについて | 可  | 参加可能人数                 |   | 全校生徒・児童の参加をお願いしています   |                                     |                        |    |       |  |
| —       | 学年の指定の有無 *                                     |                        | なし  | 指定学年 *                |                                     | なし                     |    |       |  |
| 可       | 所要時間の目安<br>単位:分                                |                        | 90分程度                                       |                       |                                     |                        |    |       |  |
| /       | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間                         |                        | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 |                       |                                     |                        |    |       |  |
| 可       | 鑑賞可能人数   |                        | 最大1000人                                     |                       |                                     |                        |    |       |  |
| 可       | 舞台設置場所 *                                       |                        | フロア   |                       |                                     |                        |    |       |  |
| 可       | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル                          |                        | 幅   | 12m                   | 奥行                                  | 9m                     | 高さ | 指定なし  |  |
| —       |  |                        | 舞台袖スペースの確保 *                                |                       | 不要                                  |                        |    |       |  |
| —       | 体育館の舞台を使用する場合の条件                               |                        | 舞台袖スペースの条件 *                                |                       | ありません                               |                        |    |       |  |
| —       |  |                        | 緞帳 *  | 不要                    |                                     | バトン *                  | 不要 |       |  |
| —       | 遮光(暗幕等)の要否 *                                   |                        | 不要  |                       | 理由                                  | 暗幕がない場合は劇団が対応          |    |       |  |
| —       |  |                        | 指定位置へのピアノの移動 *                              |                       | 不要                                  | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 |    |       |  |
| —       | ピアノの調律・移動の要否                                   |                        | ピアノの事前調律 *                                  |                       | 不要                                  |                        |    |       |  |
| —       | フロアを使用する場合の条件                                  |                        | バスケットゴールの設置状況 *                             |                       | 問題ありません                             |                        |    |       |  |
| 可       | 公演に必要な電源容量                                     |                        | 150A  |                       | ※主幹電源の必要容量<br>(満たない場合でも公演が可能です)     |                        |    |       |  |
| その他特記事項 |  |                        |   |                       |                                     |                        |    |       |  |
| 可       | 電源容量が満たない場合でも、公演を実施できます(劇団で発電機を用意します)          |                        |   |                       |                                     |                        |    |       |  |
| —       | 本公演当日は、11tトラック、4tトラック、中型バス(必要な場合は発電機)を使用します    |                        |   |                       |                                     |                        |    |       |  |
| —       | ここに記載した条件は一例です。体育館の条件等は問わず、本格的な舞台設営を行えるよう工夫します |                        |   |                       |                                     |                        |    |       |  |

会場図面(表記単位:メートル)



|                   |   |       |       |       |
|-------------------|---|-------|-------|-------|
| 搬入間口について          | 幅 | 問いません | 高さ    | 問いません |
| 搬入車両の横づけの要否       |   |       | 不要    |       |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 |   |       | 問いません |       |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

| 実施日程           | 実施校名                                       | 地元主催者                      |
|----------------|--|----------------------------|
| 2018年11月10日(土) | 福岡市立 福岡中学校                                 | 福岡市教育委員会                   |
| 2018年11月12日(月) | あさぎり町立 岡原小学校                               | 熊本県教育委員会/あさぎり町教育委員会        |
| 2018年11月13日(火) | 八代市立 松高小学校                                 | 熊本県教育委員会/八代市教育委員会          |
| 2018年11月14日(水) | 八代市立 第三中学校                                 | 熊本市教育委員会/八代市教育委員会          |
| 2018年11月15日(木) | 熊本市立 井芹中学校                                 | 熊本市教育委員会                   |
| 2018年11月16日(金) | 阿蘇市立 阿蘇西小学校                                | 熊本県教育委員会/阿蘇市教育委員会          |
| 2018年11月19日(月) | 新上五島町立 上郷小学校                               | 長崎県教育委員会                   |
| 2018年11月20日(火) | 新上五島町立 魚目小学校                               | 長崎県教育委員会                   |
| 2018年11月22日(木) | 福岡市立 原中央中学校                                | 福岡市教育委員会                   |
| 2018年11月26日(月) | 長崎市立 伊王島中学校<br>長崎市立 伊王島小学校                 | 長崎県教育委員会/長崎市教育委員会          |
| 2018年11月27日(火) | 長崎玉成高等学校附属中<br>長崎市立 小島中学校                  | 長崎県教育委員会                   |
| 2018年11月28日(水) | 諫早市立 飯盛中学校<br>諫早市立 飯盛東小学校<br>諫早市立 飯盛西小学校   | 長崎県教育委員会                   |
| 2018年11月29日(木) | 熊本市立 花園小学校                                 | 熊本市教育委員会                   |
| 2018年11月30日(金) | 朝倉市立 十文字中学校                                | 福岡県教育委員会/朝倉市教育委員会          |
| 2018年12月1日(土)  | 佐賀市立 諸富南小学校                                | 佐賀県教育委員会/佐賀市教育委員会          |
| 2018年12月3日(月)  | 北九州市立 八幡小学校                                | 北九州市教育委員会                  |
| 2018年12月4日(火)  | 直方市立 直方北小学校                                | 福岡県教育委員会/直方市教育委員会          |
| 2018年12月5日(水)  | 小竹町立 小竹南小学校<br>小竹町立 小竹北小学校<br>小竹町立 小竹西小学校  | 福岡県教育委員会/小竹町教育委員会          |
| 2018年12月6日(木)  | 鹿島市立 浜小学校                                  | 佐賀県教育委員会/鹿島市教育委員会          |
| 2018年12月8日(土)  | 大牟田市立 天の原小学校<br>大牟田市立 玉川小学校<br>大牟田市立 上内小学校 | 福岡県教育委員会/大牟田市教育委員会<br>大牟田市 |
| 2018年12月10日(月) | 壱岐市立 瀬戸小学校                                 | 長崎県教育委員会/壱岐市教育委員会          |

♪知っていますか？ 10月1日は「国際音楽の日」です♪

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

とうきょう えんげき しゅうだん かぜ いま かたち と ゆた もと  
東京演劇集団風——未だ形を採らない豊かさを求めて



レパトリーシアター-KAZE

とうきょう えんげき しゅうだん かぜ  
東京演劇集団風は1987年に創立。この名前には“自由に風のようにものをつくる”という思いが込められています。1999年には、東京・東中野に専属の拠点劇場〈レパトリーシアター-KAZE〉を建設。

劇作家バルトルト・ブレヒトや現代劇作家マティ・ヴィスニユックなどの作品を中心に、現代劇を上演しています。2003年からは、国際演劇祭を開催し、海外アーティストとの交流や共同制作も行っています。

また、中学生・高校生を対象とした巡回公演にも力を注ぎ、ブレヒト作『肝っ玉お母とその子供たち』、ヴィスニユック作『ジャンヌ・ダルク—ジャンヌと炎』をはじめ、6作品が各地での上演活動が続いています。

特に創立以来、上演を続けている『星の王子さま』は劇団の代表作です。2017年には創立30周年を迎え、記念企画として、レパトリーシアター作品と新作の上演を2年間にわたり行いました。

拠点劇場レパトリーシアター-KAZEでの公演と、全国での巡回公演を通じた観客との具体的な実践のなかで、現代社会における演劇の力の可能性を探求し続けています。

東京演劇集団風 〒164-0003 東京都中野区東中野1-2-4  
Tel.03-3363-3261(Fax) 03-3363-3265  
…E-mail: info@kaze-net.org URL: http://www.kaze-net.org/

へいせい ねん ど ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう  
平成30年度 文化芸術による子供の育成事業——巡回公演事業——

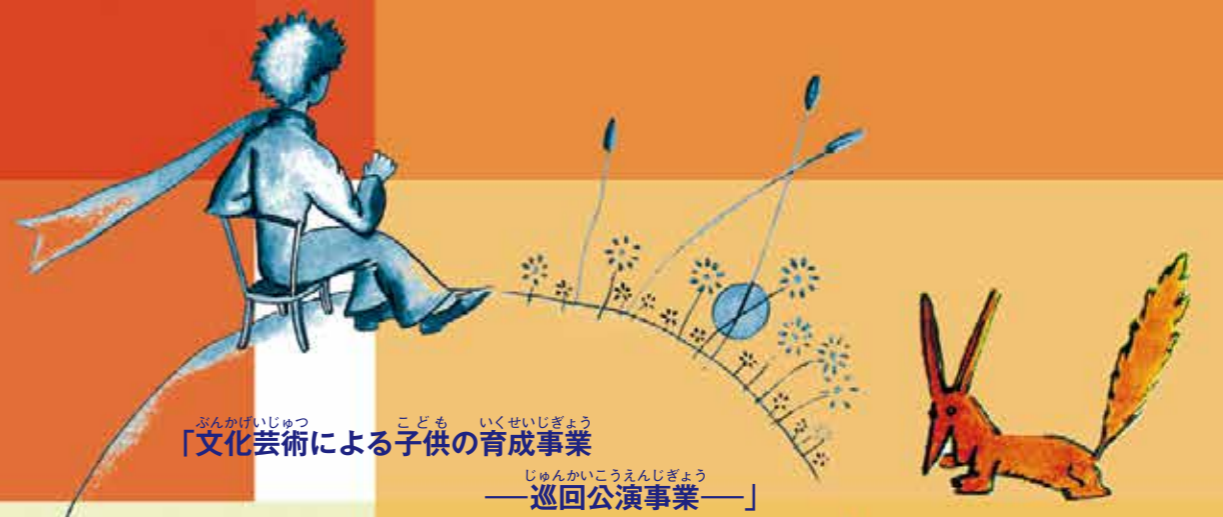
とうきょう えんげき しゅうだん かぜ  
東京演劇集団風  
Tokyo Theatre Company KAZE

ミュージカル ほしのおうじさま

Le Petit Prince  
星の王子さま

作・サン＝テグジュペリ Saint-Exupéry  
訳・内藤濯 (岩波書店刊)

構成・演出・浅野佳成



ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう  
「文化芸術による子供の育成事業

——巡回公演事業——

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁



ミュージカル

# Le Petit Prince 星の王子さま

ほしのおうじさま

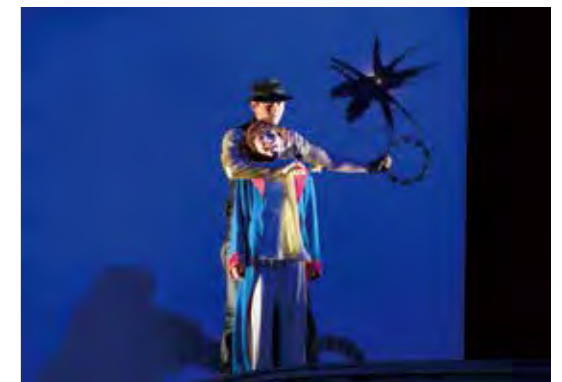
作・サン＝テグジュペリ  
Saint-Exupéry  
訳・内藤 濯 (岩波書店刊)  
構成・演出・浅野佳成

## 【キャスト】

王子 白根有子  
飛行士 緒方一則  
キツネ 工藤順子  
花 渋谷愛  
ヘビ 田中賢一  
星の住人 酒井宗親 / 栗山友彦  
バオバブ 坂牧明 / 蒲原智城

## 【スタッフ】

音楽 八幡茂  
演出助手 江原早哉香 / 西垣耕造  
舞台美術 松井るみ  
照明 坂野貢也  
音響 渡辺雄亮  
衣裳 出川淳子  
振付 郡司行雄  
舞台監督 前田浩和  
制作 佐藤春江



## ★ 東京演劇集団風の『星の王子さま』

ちっぽけな星にひとりで住んでいる王子さま。ある日、その星にきれいな一輪の花が咲きます。王子さまは喜んで、花と仲良く暮らしますが、ある時ちょっとしたことでけんかになってしまいます。そして王子さまは、自分の星を飛び出して、星を巡る旅に出かけます。王子さまは、さまざまな大人たちと出会いますが、なかなか自分が住みたいと思う星が見つかりません。最後に地球にやってきた王子さまは、砂漠で飛行士と出会い、一緒に旅を続けます。飛行士や一匹のキツネと友だちになることを通して、誰にでも“かけがえのないもの”があることを知った王子さまは、花が自分にとって大切な、守らなければならない存在だと気がつきます。そして成長した王子さまは、飛行士と地球に別れを告げて、花のために自分の星に帰ろうと決心するのです。



フランスで生まれた作者サン＝テグジュペリは、1943年、第二次世界大戦のさなかに、この小さな少年の物語『星の王子さま』を書きました。大きな戦争の時代を経験したサン＝テグジュペリは、この作品に、

“物事の奥深くにある真実を心で見たい”

“思い出や美しいものを感じる心を大切にしたい”

という想いを込めています。

懸命に生きる小さな王子さまの勇気と、美しさや、はかなさが描かれて

いるこの物語の世界を大切に、『星の王子さま』を上演しています。

## “日本のすべての子どもたちへ”

東京演劇集団風の『星の王子さま』の上演活動に共感した

サン＝テグジュペリの遺族から日本の観客に届けられたメッセージ



日本の小さな子どもたちよ、あなたがたの  
勇気は、この星ぜんたいにとってのお手本で  
す。

太陽がまた輝きだすという希望を失わないで  
ください。

あなたがたはわたしたちからはあまりに遠く離れているので、この目で  
あなたがたを見ることはできません。

でも心の目で見ることができるよう  
です。

そして言わせてください。

星の王子さまはあなたがたとともにいて、あなたがたを助けてくれます。

彼は世界のすべての子どもたちの友だちです。

彼はあなたがたの友だちなのです。

— 心からの友情を込めて

フランソワ・ダゲイ François d'Agéy

(サン＝テグジュペリ財団理事長 Succession Antoine de Saint Exupéry)

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- |        |  |
|--------|--|
| 【音 楽】  | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇   |
| 【演 劇】  | 児童劇, 演劇, ミュージカル  |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊  |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・ <input checked="" type="checkbox"/> 能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |                                       |              |
|-----------------------|--|---------------------------------------|--------------|
| ふりがな                  | かぶしがいしゃ ようごうしゃ   |                                       |              |
| 制作団体名                 | 株式会社 影向舎   |                                       |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 小池 岳士  |                                       |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒243-0005<br>神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10分)                          |                                       |              |
| 電話番号                  | 046-297-0255   | FAX番号                                 | 046-297-0256 |
| ふりがな                  | こうえきしゃだんほうじん ほうしょうかい   |                                       |              |
| 公演団体名                 | 公益社団法人 宝生会   |                                       |              |
| 代表者職・氏名               | 会長 錦織 淳  |                                       |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒113-0033<br>東京都文京区本郷 1-5-9<br>(JR水道橋駅東口より 徒歩 3分 / 地下鉄都営三田線水道橋駅A1出口より 徒歩 1分) |                                       |              |
| 制作団体<br>設立年月          | ○影向舎・昭和60年設立<br>●宝生会・明治45年設立   |                                       |              |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員<br>榊影向舎<br>小池岳士・小池将直 他   | 団体構成員及び加入条件等<br>制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名 |              |
| 事務体制の担当               | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任                             | 本事業担当者名                               | 中村真理子        |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無                                    | 経理責任者名                                | 小池弘美         |



制作団体沿革

○株式会社 影向舎 《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》

学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを33年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。

創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。特に能楽公演においては、通常の学校公演に加え、過去には東京都主催「こども能チャレンジ」の制作業務の実績・経験を基に、趣向をこらした青少年向け能楽公演を実施。

どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客さんをバックアップする体制を整えている。

現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。

●宝生会

能シテ方五流儀の中で観世流につぐ規模を有する宝生流の会派。現在の宗家は二十世・宝生和英(ほうしょう かずふさ)。32歳の若さを武器に進取的な取り組みで、これからの能の可能性を常に追求している。「体感する能」と称した、切り絵アーティストや映像クリエイターとのコラボ演出・公演は特筆に値し、今の人達に生きた能楽の魅力を発信し続けている。また弟子も若手の層が厚く、会がひとつとなってその伝統と結束力で精力的に能楽堂公演や子供向け企画などを行っている。以下は主な宝生会と宝生能楽堂の歴史。

- 明治18年 松本金太郎が神田猿樂町に能舞台を建設
- 明治26年 舞台改装を機に宝生会定期能を開催
- 明治45年 社団法人組織となる(関東大震災にて焼失)
- 昭和3年 現在の文京区本郷(旧松平邸)に豪華な能楽堂を建設(昭和20年戦火にて焼失)
- 昭和25年 同場所に水道橋能楽堂として再建
- 昭和54年 現在の宝生能楽堂が建設 現在に至る

宝生会と影向舎

本申請は、能楽界のトップランナーである宝生会と、学校公演の業界を長年牽引してきた影向舎が、その若さならではの新しい感覚と視点から企画した内容です。平成30年度の文化芸術による子供の育成事業では、22校という多くの公演希望を頂戴し、双方の総合力や演出力などの利点を十二分に発揮して、充実した公演を展開しています。

学校等における  
公演実績

- (株)影向舎 古典芸能分野では全国一の実績を誇る。
- ・東京都主催による「こども能チャレンジ」の事務局を担当。
- ・平成20年度・21年度「本物の舞台芸術体験事業」平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」平成23年度・平成24年度・平成25年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」に参加。平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」Dブロックで公演展開中。
- ・平成21年度～平成30年度「北海道巡回小劇場」に10年度連続で参加。

●(公社)宝生会

・宝生会主催による「夏休み親子教室(旧称:夏休みこども仕舞教室)」を平成18年より毎年開催(文化庁「伝統文化親子教室」事業として参加)。今年で13年目を迎える。

・山形県酒田市「庄内能楽館親子仕舞教室」を実施(平成28年～)

・公益社団法人能楽協会主催「キッズ伝統芸能体験」事業に参加

…講師(能楽師)派遣および稽古場、発表会(宝生能楽堂)の提供

・「韓国青年訪日研修団」能楽体験教室、「東京国際フランス学園」能楽教室を開催

…型の体験、装束付け実演など

・各校修学旅行プログラム「能楽体験ワークショップ」を開催

過去実績:岐阜県可児市立広陵中学校、愛知県大府市立大府中学校、岐阜県垂井町立北中学校、岐阜県垂井町立不破中学校

「桐生市能楽教室」(桐生市内の小中学校合同にて)

…能楽囃子楽器の体験、舞と謡の体験、装束付けの実演など

・学生鑑賞会

過去実績:三田国際学園(旧:戸板学園)中学校、東京農大第一高校

…能、狂言の公演

平成26年・27年

港区キスポーツ財団主催「赤坂能ワークショップ」事業受託

港区立台場保育園、港区立麻布保育園、年長児に「猩々」謡の稽古、発表会への出演

・公益財団法人日韓交流基金より対日理解促進交流プログラム(JENESYS2.0)事業を受託

平成28年

**【JENESYS2015】韓国青年訪問団(高校生)第1・2・3団**

**【JENESYS2016】韓国教員訪日団 第1・2団実施**

10月4日 開成高校能楽鑑賞会

11月18日 静岡県袋井小学校鑑賞会

12月19日 多摩高校能楽鑑賞会

平成29年

2月15日 韓国青年訪日団第10団 能楽ワークショップ

2月27日 慶応義塾横浜初等部 能楽鑑賞会(平成30年2月24日も実施)

|                           |   |   |            |
|---------------------------|---|---|------------|
| 特別支援学校における公演実績            | 平成22年12月2日(木) 埼玉県立本庄特別支援学校にて公演<br>平成23年11月30日(水) 京都市立鳴滝総合支援学校にて公演 |   |            |
| 参考資料の有無                   | A   | 申請する演目のチラシパンフレット等                           | 有 ・ 無      |
|                           |   | 申請する演目の DVD または WEB 公開資料                    | 有 ・ 無      |
|                           |   | ※公開資料有の場合 URL                               |            |
|                           |   | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード                   | ID:<br>PW: |
|                           | A の提出が困難な場合   | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 | 有 ・ 無      |
|                           |   | ※公開資料有の場合 URL                               |            |
| ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード |   | ID:<br>PW:                                  |            |

A区分・B区分・C区分共通

No.2(実演芸術)

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人 宝生会】

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 対象  | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生 |
| 企画名 | はじめまして 能`楽"            |

# はじめまして 能楽

難しいと思われがち

## 能楽を楽しんでもらう為の工夫

### 1 能楽とは？ 能と狂言・二人の兄弟が一つになって能楽です

能楽の楽しさは、能と狂言の、異なる性格と役割を知るところから始まります。

#### ワークショップ

ワークショップでは、能役者と狂言役者それぞれが、演出の違いを分かり易く実演・解説します。



#### 本公演

本公演では、大変ポピュラーな、狂言「柿山伏」・能「黒塚」を上演します。狂言のセリフ古典劇、能の優美な歌舞劇の両面から、能楽の魅力にアプローチします。

本公演演目

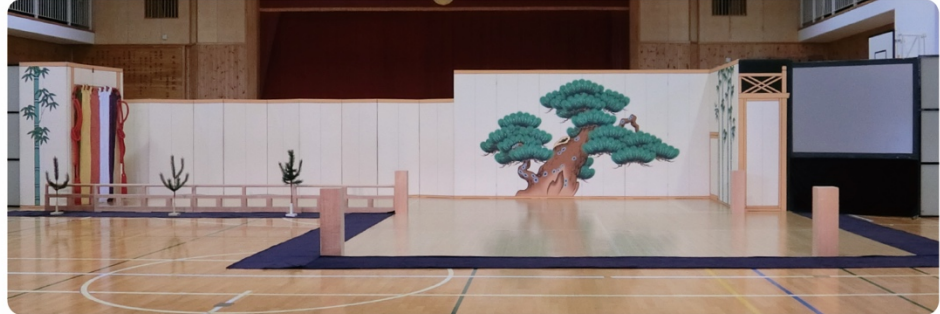
原作／作曲  
脚 本  
演出／振付





## 2 体育館に異空間が出現！こだわりの能楽堂

### 能楽を観るなら雰囲気も大切



初めて能楽を鑑賞する児童・生徒さんに、能楽の良い印象を残すには、能舞台は必須です。各校の体育館の形状に合わせて、本格的な舞台を特設します。

### 能楽堂では味わえない臨場感



役者の息遣いや、足音まで聞こえるギリギリの場所まで、座っていただけます。

### 理解を深める字幕や映像の投影



黒塚」の現代語字幕や、役割の紹介など、鑑賞する際に理解を深めるツールとして設営します。スクリーンは大型100インチ・後方からの投影型タイプにより、客席スペースに一切の制限を設けません。

### 3

## 能楽師と一緒に考えてみよう！ アフタートーク

本来の能楽公演ではみられないアフタートークをご用意しました。  
鑑賞を終えた子ども達の率直な疑問・質問を、出演者が2段階に分けてお答えします。

### 1

#### 能楽師からの質問

まず、間近で観た能「黒塚」のそれぞれの役を能楽師と一緒に振り返りながら、登場人物の心に思いをめぐらせます。



おばあさんが鬼になっちゃったけど  
どう思った？

こわかったです。  
でもかわいそうだと思いました。



### 2

#### 疑問・質問コーナー

##### 過去の感想や質問例

- どうして着物が鬼の時には、変わっていたのですか？
- 柿山伏は、柿を食べて悪い人なのに、なんで魔法が使えるの？
- 糸を巻くあの機械は何のためにあるんですか？。
- 鬼女の役なので女の人だと思っていたら、男の人でした。女性の能楽師はいるんですか？
- あの棒はなぜ鬼の時しか持たないんですか？
- なぜ箱みたいなのが、おばあさんが出てくる場所なんですか？
- 一言一言声が大きくて喉は痛くないんですか？
- 低い声はどうやって出しているんですか？
- 囃子方が叩くときに何で「オー」っていうのか疑問に思いました。
- どうしてムチが光っていたのですか？ふつうのムチなら光らないはずなのに、どうしてですか？
- 黒塚のお話しのおばあさんと鬼の時の役者さんは、同じ人なのかどうか気になります。

## 4 なぜ、能「黒塚」なのか

### 老婆はなぜ鬼女になったのか…？

#### …善悪の概念とは？

我々が心に抱く“喜怒哀楽”、それによっては善人が悪人になって罪を犯したり、とてつもない恨みの感情を抱いてしまうことがあります。普段の日常生活で善と悪を白黒つけることはよくありますが、能で演じられる喜怒哀楽に善悪をあてはめることは簡単ではありません。

何百曲とある能の演目から「黒塚」を選択した理由は、「黒塚」とまた前段となる「黒塚伝説」には、能を通した人間の業の奥深さが秘められているからです。

老婆を鬼女にしてしまうほどの感情とその壮絶な背景。それを知った鑑賞者は「鬼＝悪者」、ひいてはすべてが表向きの善悪だけで説明できるという固定観念を覆されることでしょう。

### 過去公演校からいただいた感想

- くろづかさん、ありがとう。(小学1年生)
- 鬼が来て怖かった。(小学1年生)
- 能の黒塚は、ちょっと難しかったです。家に帰って黒塚伝説を調べてみました。でもどうして鬼女になったか、わかりませんでした。(小学2年生)
- なんで鬼女は隠しているところがあるのに、うちに入れたの？(小学2年生)
- 鬼は怖かったけど、最初のおばあさんの時は、優しくでした。(小学2年生)
- 開けちゃいけないドアを開けて自分が、逃げちゃうのは、役だけちょっとひどいと思いました。(小学3年生)
- 山伏・祐慶が必死に呪文を唱えていて、ちょっと応援したくなりました。(小学3年生)
- みんな、おばあさんは最初は優しいと言っていましたけど、私は最初も怖いと思いました。(小学3年生)
- 今度は黒塚に行ってみたいです。(小学3年生)
- 見てはいけないと言われても、何が入っているのかを見たいのは分かるけど、見ちゃいけないから見なかった方がいいなと思った。(小学4年生)
- 黒塚の話は全体的に少し悲しい話でした。疑問に思ったことは、どうして寝室に人の死体をおいたのかです。(小学4年生)
- おにはばが負けた時、ちょっとほっとしました。(小学4年生)
- 鬼女が見るなと言った部屋を見られて、可哀そうだと思いました。(小学4年生)
- 鬼女がとっても怒っているときに、ママの顔を思い出して、今あらためると、ママには、いつも怒られるから、いつもがんばらなくちゃと思いました。(小学5年生)
- 能力が寝室を見なければ、こんな話にならないと思いました。(小学5年生)
- 老婆が鬼女になったのは、寝室を見られたからか、泊めて帰る前になろうとしていたのか、どちらなのか気になります。(小学5年生)
- 優しくいったおばあさんが、鬼女になったとき、開けなかつたらどうなっていたのか、気になりました。(小学5年生)
- 鬼女はどこに消えたのか、気になります。(小学6年生)
- それにしてもなぜ老婆は、鬼女になってしまったのだらうと思いました。(小学6年生)
- おばあさんが鬼女になったのは、昔に何かあって、鬼女と呼ばれるようになったのだと思います。でも祐慶達を家に泊めたのは、心のどこかに優しさがあったからなのではないかと思います。(小学6年生)



能を鑑賞した子ども達の純粋な解釈と反応には、  
私たち大人が気付かされることが沢山あります。



|     |   |             |                        |                                     |
|-----|---|-------------|------------------------|-------------------------------------|
| 著作権 | ○ | 制作団体が<br>所有 | 制作団体以外が所有する事<br>項が含まれる | (制作団体以外が所有す<br>る事項が含まれる場合)<br>許諾の有無 |
|-----|---|-------------|------------------------|-------------------------------------|



# 本公演プログラム

出演 宝生流シテ方他

時間 1時間40分

- 1、**狂言『柿山伏』**
- 2、能の役割の紹介
- 3、囃子方の実演と解説
- 4、ワークショップで覚えた、シオリと附祝言「高砂」のおさらい

～休憩～

- 5、**能『黒塚』**

## 本公演のポイント

### 1 代表的かつ分かり易い演目

狂言は、笑いがあふれ、国語教材にも引用される『柿山伏』。能は主役が、前半は老女・後半は鬼女に変わる展開と秘められた心情の深さが秀逸の『黒塚』をお楽しみいただけます。

### 2 ワorkshopで体験した謡を、演能の締め括りで全員参加

『黒塚』の終わりに、すでに児童・生徒さんがワークショップで体験している附祝言『高砂』を構成します。演能最後の見せ場で、プロの能楽師と一緒に謡い、フィナーレを創ります。

### 3 本格的な能舞台・大型スクリーン

能楽鑑賞には必須条件である能舞台を本格的なスケールで設営します。また舞台上手には、大型スクリーンを設置し、『黒塚』の現代語字幕の投影や、能の役割の説明・囃子方解説の補助映像を映します。



体育館への入場時に、ワークショップで上映した動画“バーチャル能楽堂体験”をスクリーンに投影します。ワークショップに参加できなかった児童・生徒さんや、ご来場の保護者の方にも宝生能楽堂の雰囲気をお楽しみいただけます。また体育館に設営された能舞台を比較しながら、その構造と意味がご理解いただけます。



# 1 かきやまぶし 狂言『柿山伏』

明快なストーリー、動物の鳴きまね等、大変分かり易い人気曲目。

近年では小学校の国語教材として採用されている最も認知度の高い狂言です。  
まずは笑ったっぷりの狂言を観て、能楽の楽しさに触れていただきます。

## 柿山伏のあらすじ

修行を終えた山伏が、帰り道にのどが渇いたので、畑に入り、勝手に柿を食べ始めます。夢中になって食べているところに畑主が現れます。盗み食いを見つけた畑主が怒鳴りつけると、山伏は気づかれまいと木に隠れます。畑主は少し山伏をからかってやろうと、「あれは犬だ、猿だ」と言って鳴き真似をさせます。さらに愉快になった畑主は「鶯だ」と言って、山伏を高い梢から飛ばせます。勇気を出して飛び降りた山伏は・・・



## 2 能の役割の紹介

能は、シテ方と三役と呼ばれるワキ方・狂言方・囃子方の4つの役割が一体となって演じられる芸能です。口頭だけでなく、それぞれの役割や装束の違いをスクリーンに投影して、立体的にご紹介します。

|     |      | 役割              | 能「黒塚」の場合 |
|-----|------|-----------------|----------|
| シテ方 | シテ   | 主役              | 老婆／鬼女    |
|     | 地謡   | コーラス隊・心情や情景を謡う  |          |
|     | 後見   | 舞台進行係           |          |
| ワキ方 | ワキ   | 脇役 シテの相手役       | 山伏祐慶     |
|     | ワキツレ |                 | 同行の山伏    |
| 狂言方 | アイ   |                 | 能力       |
| 囃子方 |      | 合奏隊(笛・小鼓・大鼓・太鼓) |          |



シテ方

老婆(前シテ)



シテ方

鬼女(後シテ)



ワキ方

山伏祐慶



狂言方

能力



### ③ 囃子方の実演と解説

まずは迫力のある4つの楽器（能では“お道具”と称されます）の演奏を聴いてもらいます。



#### 唱歌《しょうが》

楽器の発声音。高音の旋律は「オヒャラー」など、カタカナで表記されている



#### 焼じる《ほうじる》

大鼓の両側の皮を、胴から分解し、炭で約2時間炙って乾燥させること



#### 桴革《ぼちかわ》

太鼓の表革の中心に貼られた直径約4cmの鹿革

#### 笛



笛は、唱歌<sup>※</sup>が記された教本で旋律を覚えます。まず笛で演奏し、それを笛方が声で表現します。その後、唱歌をスクリーンに映し、児童・生徒さんがゲーム感覚で

ヒウラウラウウラウラ♪

と唄い、それに笛方が演奏を加えます。

#### 小鼓・大鼓



小鼓と大鼓は、非常に湿度や温度に敏感な楽器です。小鼓は湿気が必要とするのに対し、大鼓は皮をカラカラに乾燥させて独特な高音を奏でます。大鼓は必ず公演前に皮を焙じます<sup>※</sup>。

スクリーンに能楽堂の焙じ室を映し、実際に焙じている様子をご覧ください。また両方の楽器の音色の違いを実演し、その特異性をご説明します。

#### 太鼓



太鼓は、真ん中の小さな桴革<sup>※</sup>をねらって打ち、激しい音を出します。その構造をご説明しながら、叩くリズムを、児童・生徒さんも手拍子と一緒に練習してもらいます。

囃子方にとって「ハア～ヨー」という“掛け声”が大変重要です。



掛け声がかっかけて、演奏の強弱や調子を変え、またシテ方などの演技の合図ともなります。それを分かり易くご覧いただくために、囃子方4名が、それぞれが見えないよう四方を向いて座り、掛け声のみを合図に演奏をします。



各楽器の外観や構造を、まんべんなくご覧いただくため、スタッフがライブカメラを用いて、その場で映し、スクリーンに投影します。





## 4 ワークショップで覚えた あらすじ・シオリ・附祝言『高砂』のおさらい

休憩後の『黒塚』を鑑賞する前に、もう一度ワークショップで習ったことの内、3つのおさらいをします。

- 1 『黒塚』のあらすじと、みどころ
- 2 前半の老女が悲しさのあまり泣く時の所作“シオリ”
- 3 『黒塚』の最後に能楽師と一緒に謡う附祝言『高砂』

休憩10分

## 体験コーナー

### 唐織《からおり》

能装束の中で最も豪華絢爛な衣装。主に女性役の上着として使われる

### 肩衣《かたぎぬ》

肩の部分が張った袖なしの上着。たんぼぼやバンダなど背に描かれた図柄が斬新

### 宝生能楽堂の写真展示

客席からの目線・舞台からの目線、さらには楽屋の様子など、普段は見ることができない能楽堂の様子を多角度からご覧いただけます。

### 能の装束、狂言の装束を展示

能楽師の主役が着用する華やかな唐織※や、狂言装束の代表格である絵柄がユニークな肩衣※など、能装束と狂言装束の模様・素材の違いを、間近でご覧いただけます。

### 能と狂言の足袋を展示

能楽師と狂言師は、舞台で使う足袋が異なります。特に狂言足袋は色の秘密が隠されています。その由来のご説明文と、実際の足袋を展示します。



### 実際に体験することができる能面



能楽師がご指導をしながら、気軽に顔に掛けてもらえる体験です。ワークショップで体験できなかった児童・生徒さんや近隣の方など、開演前、休憩中、終演後にお越しください。その視界の狭さと装着感を体験してください。

## 5 能『黒塚』 【字幕(現代語訳)付き】



能舞台裏から、囃子方が奏でるお調べが聞こえてきたら、いよいよ能が始まります。

これからご鑑賞いただく『黒塚』には、ワークショップでの体験や、本公演前半の実演・解説のエッセンスが全て集約されています。気持ちをゆったりとさせ、体育館で繰り広げられる能楽の世界をたっぷりとご堪能ください。

### 黒塚のあらすじ

諸国を行脚する山伏一行、奥州安達原にさしかかった時、日が暮れてしまいます。野に灯る明かり。それを頼りに、一軒のあばら家にたどり着き、一夜の宿を請います。そこに住む老婆、やむなく山伏たちを家に招き入れます。老婆は山伏たちをもてなそうと、身の上を話したり、「糸尽くし」の歌を歌ったりしてみせます。夜はだんだんと更け寒さが増していきます。老婆は「寝屋だけは絶対に見ないように」と言い残し、暖をとる薪を集めに山に出かけて行きます。しかし、お供の能力が好奇心からこっそりと寝屋をのぞいてしまいます。するとそこには、なんと山のように積まれた人の死骸。山伏たちは、ここは鬼の棲み家で、あの老婆は鬼女だと知り、急いで家を逃げ出します。山から戻った老婆、裏切られたことを知り、怒りで本性を現し鬼女となり山伏たちを追います。【ここでシテは老婆(前シテ)から、鬼女(後シテ)となり、装束・能面を変えて登場します】そして鬼女は追いつき、山伏一行に襲い掛かりますが、最後に鬼女は、山伏の懸命な祈りによって倒され、自分の姿に恥じ入りながら悲しく消え去ります。

### スクリーン投影



現代語字幕(意訳形式)を投影



セリフがないシーンも情景がわかる説明を投影

でし、のうりよく、ゆうけい、ね  
弟子の能力が、祐慶が寝ている  
すき  
際に、おばあさんの寝室を  
のぞこうとしています。





最後は、鬼女が祐慶に祈り伏せられ、舞台から消えます。  
やがて祐慶も揚幕へと向かう中、地謡方が附祝言『高砂』を謡います。  
スクリーンに詞章（歌詞）が出ますので、児童・生徒さんもワークショップの成果の発表として、  
一緒に謡い、演能のフィナーレを飾ります。



# 6

## アフタートーク

『黒塚』についての出演者からの問いかけと、皆さんからの質問

解説役の能楽師と、さらに主演の老女と鬼女を演じた“おシテ”（主演）が役を終えて、人間にもどって再度舞台上に登場します。

狂言『柿山伏』を観て、  
いっぱい笑いましたか？

囃子方の実演は  
いかがでしたか？

そして能『黒塚』を観て、  
どのような感想を持ちましたか？

『黒塚』にはその前段になる「黒塚伝説」があります。  
その伝説をイラストなどを、交えてご紹介します。  
鑑賞を終えた高揚感に包まれている時に、さらに能の奥深さを、体に吸収します。



まずは出演者から質問を投げかけます。それに自由に答えてください。  
次に観たままの児童・生徒さんの率直な質問をお受けします。





|                           |   |
|---------------------------|---|
| <p>演目選択理由</p>             | <p><b>狂言「柿山伏」</b></p> <p>①動物の鳴きまねなどがあり、子どもにも分かりやすいため、上演希望が多い人気曲目。また近年では小学校6年生「国語」の教科書に伝統文化ジャンルの教材として採用されており、教育現場でもなじみがあります。</p> <p>②あえて山伏物の「柿山伏」を公演の最初に上演することにより、能「黒塚」の山伏との対比から、能と狂言の違いを、観て聴いて理解ができます。</p> <p>③狂言の大きな特徴である「名乗り」「道行き」「擬音の発声」が、全て網羅された入門編に最適の演目です。</p> <p>④笑いが多い狂言を番組の最初に構成することにより、能楽鑑賞は難しいという先入観を払拭します。</p> <p><b>能「黒塚」</b></p> <p>①“多角的なもの見方”を芸術鑑賞で養うために、我々の日常生活の善悪基準とは異なる視点で描かれた演目を採用しました。</p> <p>②学校公演(子供・青少年向け)の能楽公演でよく上演する演目です。</p> <p>③昔話風の展開で、教訓的要素がある物語です。</p> <p>④鬼女と山伏の争いの場面は大変迫力があり、児童・生徒さんの興味を引きます。またその場面でのお囃子は、三鬼女と呼ばれる「道成寺」「葵上」、そして「黒塚」のみでみられる迫力のある特殊なリズムで、より場面を盛り上げます。</p> <p>⑤コミカルで楽しい役回りとなっている能力(狂言方)が、こっそり寝屋を覗こうとするシーンは、演能の中で笑える部分となっており、見所の一つです。また、本事業公演では通常の演能より派手な演出となっております。</p> |
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p> | <p><b>○ご挨拶</b></p> <p>礼儀を重んじる伝統芸能。全員で正座をしてご挨拶をすることにより、演者と客席に一体感が生まれます。</p> <p><b>○能の体験</b></p> <p>能の姿勢と運歩を、能楽師と一緒にいきます。簡単そうに見えて意外に難しい能楽の基本中の基本を学びます。また能の泣く所作“シオリ”を稽古し、能『黒塚』で観る主役の悲しい心情を、感じ取ります。</p> <p><b>○狂言の体験</b></p> <p>狂言の特徴はセリフ喜劇です。「このあたりの者でござる」といったセリフ発声や、狂言の“大笑い”をして、狂言の魅力を感じます。</p> <p><b>○能・狂言クイズ</b></p> <p>能楽は、極限まで無駄を省いた芸能です。少ない小道具と所作またセリフで、様々な仕草を表現します。それらを能、狂言それぞれで演じ、何をしているところかクイズを出します。想像力を高める自由回答形式です。</p> <p><b>○動画バーチャル能楽堂</b></p> <p>宝生能楽堂を独自撮影・編集した動画を上映します。一般では絶対に見ることができない舞台から見た客席の映像や、出演者が準備をする楽屋風景も収めています。体育館にいながらにして、能楽堂の雰囲気をお楽しみいただきます。</p>   |

|                      |   |               |                              |
|----------------------|---|---------------|------------------------------|
|                      | <p>○能面・装束体験:本物の能面・装束を身に着ける</p> <p>普段、プロの能楽師が使用している能面と装束をご用意します。能面は顔に掛けると、その視界の狭さに驚き、装束は重厚感と絢爛豪華な美しさに感激します。実際に児童・生徒さんが自身の体に掛け、羽織ることにより、楽しみながら能楽師の演技の奥深さを垣間見ることが出来ます。</p> <p>○能『黒塚』の最後に附祝言「高砂」を全員で謡う</p> <p>児童・生徒参加が難しい演能ですが、能楽堂でも演じられる一日の公演を平和な気持ちで終える附祝言を、巡回事業の特別プログラムとして構成しました。ワークショップで稽古をして、本公演の第一部でおさらいし、そして本公演のフィナーレを全員で飾ります。</p> |               |                              |
| 出 演 者                | <p>シテ方=[宝生会] 10名(シテ1名・地謡6名・後見2名・働き1名)</p> <p>ワキ方=[未定] 2名(ワキ1名・ワキツレ1名)</p> <p>狂言方=[未定] 3名(シテ1名・アド2名)</p> <p>囃子方=[未定] 4名(笛・小鼓・大鼓・太鼓)</p> <p>* 詳細は別紙メンバー表をご参照ください。</p> <p>* 三役(ワキ方・狂言方・囃子方)のメンバーは、宝生会のスケジュール優先で調整するため、週別で変更の可能性有り。</p>   |               |                              |
| 公演出演予定者数<br>(1公演あたり) | <p>出 演 者： 19名</p> <p>ス タ ッ フ： 7名</p> <p>合 計： 26名</p>  | 機 材 等<br>運搬方法 | 積載量 2t<br>車 長 6.3m<br>台 数 1台 |



| 公演に当たっての<br>会場条件                | 実施条件等確認書①をご確認ください。   |   |     |                   |             |     |    |    |            |                  |                   |     |                   |             |
|---------------------------------|--|---|-----|-------------------|-------------|-----|----|----|------------|------------------|-------------------|-----|-------------------|-------------|
| 会場設営の所要<br>時間(タイムスケジ<br>ュール)の目安 | <p>前日仕込み(有・<input type="checkbox"/>無) 会場設営の所要時間(3時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="403 1285 1447 1406"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時30<br/>分頃</td> <td>9時00分<br/>～12時00分</td> <td>13時30分<br/>～15時10分</td> <td>10分</td> <td>15時20分<br/>～16時50分</td> <td>17時00<br/>分頃</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本公演開始時間は、早める(13時00分など)ことが可能です。</li> <li>・午前公演をご希望の際は、前日仕込みが必要になります。</li> <li>・体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。</li> </ul> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> |   | 到着  | 仕込み               | 本公演         | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 8時30<br>分頃 | 9時00分<br>～12時00分 | 13時30分<br>～15時10分 | 10分 | 15時20分<br>～16時50分 | 17時00<br>分頃 |
| 到着                              | 仕込み  | 本公演   | 内休憩 | 撤去                | 退出          |     |    |    |            |                  |                   |     |                   |             |
| 8時30<br>分頃                      | 9時00分<br>～12時00分   | 13時30分<br>～15時10分   | 10分 | 15時20分<br>～16時50分 | 17時00<br>分頃 |     |    |    |            |                  |                   |     |                   |             |
| 児童・生徒<br>の参加可能人数                | ワークショップ  | <p>700名まで</p> <p>○体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。</p> <p>◎能楽の所作の体験がありますので、客席は椅子を使用しません。</p>  |     |                   |             |     |    |    |            |                  |                   |     |                   |             |
|                                 | 本公演  | <p>700名まで</p> <p>○体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。</p> <p>◎250名以上のご参加の場合は、後ろの席からも観やすいように、おおよそ250名までは舞台近くで直座り、それ以上は椅子の使用をお願いします。</p> |     |                   |             |     |    |    |            |                  |                   |     |                   |             |

ワークショップ  
実施形態  
及び内容

# ワークショッププログラム

～能って?狂言って?～

講師:シテ方(3人)、狂言方(1人)  
時間:1時間30分

1. はじめまして能“楽”
2. 【実演】～能って?狂言って?～
3. 【体験】～能楽師になってみよう～
4. 能楽の成り立ち  プロジェクター
5. バーチャル能楽堂体験  オリジナル動画
6. 【体験】能楽体験ひろば
7. 【稽古】本公演にむけて～謡ってみよう～

狂言

両者がお互いの違いを  
実演することで  
目で見えて触れて、違いを実感!

能

## ワークショップのポイント

### とにかく分かりやすく・楽しいプログラム構成

能楽という芸能の魅力を、身近なものとして記憶に残してもらえよう体験・映像を効果的に構成。

### オリジナル動画で能楽を体感

一般的な紹介映像にはない、オリジナル作成のバーチャル能楽堂体験など、体育館にいながらにして、能楽堂の雰囲気を楽しめる動画を上映。

### 全員で体験

装束を羽織る、能面を掛ける、狂言の大きな笑いを響かせる・・・身に付け、発信して能楽を体感。



1

# はじめまして能“楽”

知る



このあたりの狂言師でござる。  
今日は、〇〇小・中学校のワークショップに参ろうと存ずる。  
まずは、そろりそろりと参ろう…。



## みなさん、こんにちは！！

### びっくりしましたか？

最初に扇を持って厳かに舞を披露したのは“能楽師”、

大きな声で名乗りをしていたのは“狂言師”です。

このワークショップは、能楽を構成する二本柱の能・狂言を両方楽しんで頂けるよう構成しています。「能楽」、知っているようで知らない未知の世界へご案内します。



## 2 能って？狂言って？

みる

能楽を構成する能と狂言。両者は長い歴史のなかで、表裏一体となって世界に誇る芸能へと成長しました。喜怒哀楽の表現方法など、その特徴には共通点があり、また似て非なる要素もあり、それが能楽の魅力のひとつです。その違いを分かり易く解説実演します。

能



広げた扇を胸の前で上下させて、歓喜や楽しさを表現する。能の世界では、この表現を“ユウケン”といいます。

狂言



大きな声と全身を使って「ハーッハーッハッ」と豪快に表現する。

喜び

### 能楽コラム

能の“シオリ”で手を目にあてる所作は、本来は着物の袂で涙を拭う様子を表現しています。

能ではこのように、着物の袂を実際に持つといった現実的な動きを省いて、洗練された表現をするようになりました。



手を目にあてるようにして、涙を抑える。これを“シオリ”といいます。

発見!

「能は動きを簡略化して様式美をもとめて、  
狂言はより写実的で滑稽さを強調しているんだね」

悲しみ



所作は能と同じ。それに「エッヘッ、エーン、エーン」と大声で泣く。

能楽 Quiz!

下の写真では、どんなしぐさを表現しているのかな？



能のポーズは、戦い？それともスポーツかな？  
狂言の方は、左手と右手でそれぞれ何をやっているのかな？

3

能楽師になってみよう

体験

能楽には立ち方、歩き方に決まりがあります。それをしっかりと守ることによって、能舞台での美しさが創られます。見ていると簡単そうな基本的な所作カマエとハコビを実際に児童・生徒さんがやってみると窮屈で難しいことを実感できます。

まずは能楽として共通の動きをやってみよう

背筋を伸ばして、少し腰を落とす！

足を地面にすりながら前に進む…



カマエ・ハコビ

…姿勢を保つのが難しいね！

ちょっと能楽師に近づけたかな？

次は、能と狂言の特徴的なしぐさをやってみよう。



能

シオリ (泣く)



狂言

笑う



本公演でもやるよ！  
覚えていてね！

カマエ

能楽を演じる基本姿勢

ハコビ

振り足で前に進む能楽の基本運歩



# 4

## 能楽の成り立ち

学ぶ

🎞 プロジェクター投影

能・狂言は長い日本の歴史に生まれ、先人達が工夫と努力を重ねて成立した芸能で、今現在でも成長を続けています。そのような能楽の変遷を、平安時代から現代まで、時代をイメージするスライドを上映し、また馴染み深い戦国武将と能楽の深い関りなどをご説明しながら、楽しくご理解いただきます。



私達も能をよく観ていました！





# 5

## バーチャル能楽堂体験

体験

オリジナル動画

宝生会が所有する宝生能楽堂にて、プロの映像制作会社が撮影・編集した迫力ある動画を上映します。客席から舞台を見た様子から始まり、一般の方が絶対に入ることができない能舞台上からの客席を見た目線、さらには特別な許可を得て、本舞台が上演されているシーンを楽屋、舞台方向から取めています。立体的に能楽堂を体験していただきます。

制作：㈱影向舎 協力：宝生会 制作：パワーハウス

### お客さんの目線



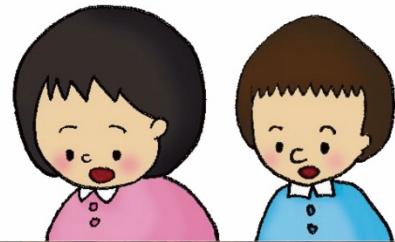
松の絵が描いてあるけど、何か意味があるのかな？



室内なのに、屋根がついてる！不思議！  
客席の向きも、なんだか変わってるよ！

裏側はこんな風になっているんだね。  
鏡の前の人は何をやっているのかな？

なんだか緊張しちゃうね…！



## 6 能楽体験ひろば **体験**

装束と能面は、能の必須アイテムです。実際に宝生会能楽師が使用する装束・能面を、児童・生徒さんに身に付けてもらい、プロと同じ感覚を体験していただきます。

### 装束

#### 装束チーム

実際に能の装束を着てみよう。その重さや動きにくさが実感できます。また着方には順番や決まり事があることがわかります。



### 面

#### 面チーム

面を掛けると視野が極端に狭くなります。掛けた状態でスリ足や運びなどの所作をもう一度やってみましょう。



## 7 本公演にむけて～謡ってみよう～ 稽古

本公演で鑑賞する能『黒塚』のあらすじと見どころを、配布教材で簡単にご紹介します。

むかしむかしの、少し悲しいお話です…



旅の山伏・祐慶一行は、陸奥の安達ヶ原までやってきました。  
あたりが暗くなってきたので、ぼつんと建つあばら家を見つけ、  
そこに住むお婆さんに一晩泊めてくれるよう頼みます。

しかし、お婆さんは何故かなかなか家に入れてくれません。  
祐慶達に懇願され、どうにか泊めてくれることになりました。  
お婆さんは彼らを招き入れ、自分の身の上話をはじめます…



能の“附祝言”をやってみよう！

能楽の世界では、その日の演能をめたく舞い納めるために、最終の演目が祝言性をテーマとしていないものだった場合、最後に附祝言を謡ってその日の演能をまとめることがあります。

本公演で観る能「黒塚」のお婆さんは、実は人々を喰らう鬼女であることが分かり、その壮絶な背景と共に鬼女となったお婆さんを、山伏祐慶達は祈り伏せて鎮めます。その幕切れは観る者に様々な感情を呼び起こすことでしょう。

そのため、本プログラムの公演でも、少しでも能「黒塚」のお婆さんの気持ちに、また能楽の奥深い世界を体感していただくために、出演者と児童・生徒さん全員で謡って本公演のフィナーレを飾ります。

ここでは、ワークショップの締め括りとして、附祝言と一緒に練習しましょう。

### 附祝言《つけしゅうげん》

能「高砂」や「狸々」  
などのめでたい曲の一節を  
抜粋して謡う

颯々の声ぞ楽しむ  
颯々の声ぞ楽しむ。

相生の松風

万歳楽には命を延ぶ

千秋楽は民を撫で

～能『高砂』の終曲部分より～



本公演でもやるよ！  
覚えていてね！



|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <p>ワークショップ<br/>実施形態の意図</p>         | <p>●<b>プラスの記憶を残す</b></p> <p>ワークショップでは、能はしっかりと鑑賞するもの！ではなくて、体験や目の前の実演を通して“思ったよりも楽しいな”という印象を持ってもらう宣伝効果が重要です。それにより児童・生徒さん達が、本公演に対して“早く観たいな”という期待に、必ずつながります。</p> <p>●<b>体験と同じく体感</b></p> <p>能の基本姿勢や狂言の発声の体験だけでなく、能装束を羽織ってそのズシッとした重量と厚みを感じ、能面を掛けて、極端に見えづらくなる視界を感じてもらいます。“能楽師の人達は、こんな重い衣装と見づらい能面を付けて演技をするんだ”とか“昔の貴族はこんな豪華な衣装を好んで着ていたんだ”とか、自由な感想が生まれます。</p> <p>●<b>能楽は伝統芸能。だけど今に生きている</b></p> <p>能楽は、日本の長い歴史の中で上流階級・武士・庶民など様々な人間が、日々繰り広げた喜怒哀楽を結晶にした壮大な舞台劇です。それは決して博物館のショーケースに展示されるものでなく、今でも各地で上演され、新しい感動を創り続けています。とかく難しいと敬遠されがちな伝統芸能ですが、観る切り口を変えることによって、楽しみ方が大きく変わります。ワークショップでは、体験・動画・体感を効果的に配して、能楽の魅力への大きな一歩を、踏み出すきっかけをご提供します。</p> |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p>           |   |
| <p>実施可能時期<br/>◇はB区分申請<br/>団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>   |



シテ方は下記より10名

宝生和英

辰巳満次郎

山内崇生

野月聡

大友順

小倉健太郎

水上優

小倉伸二郎

小林晋也

和久莊太郎

高橋憲正

澤田宏司

亀井雄二

東川尚史

佐野玄宜

藪克徳

内藤飛能

當山淳司

佐野弘宜

辰巳大二郎

金森良充

金森隆晋

川瀬隆士

田崎甫

今井基

辰巳和磨

金井賢郎

朝倉大輔

藤井秋雅

木谷哲也

上野能寛

柏山聡子

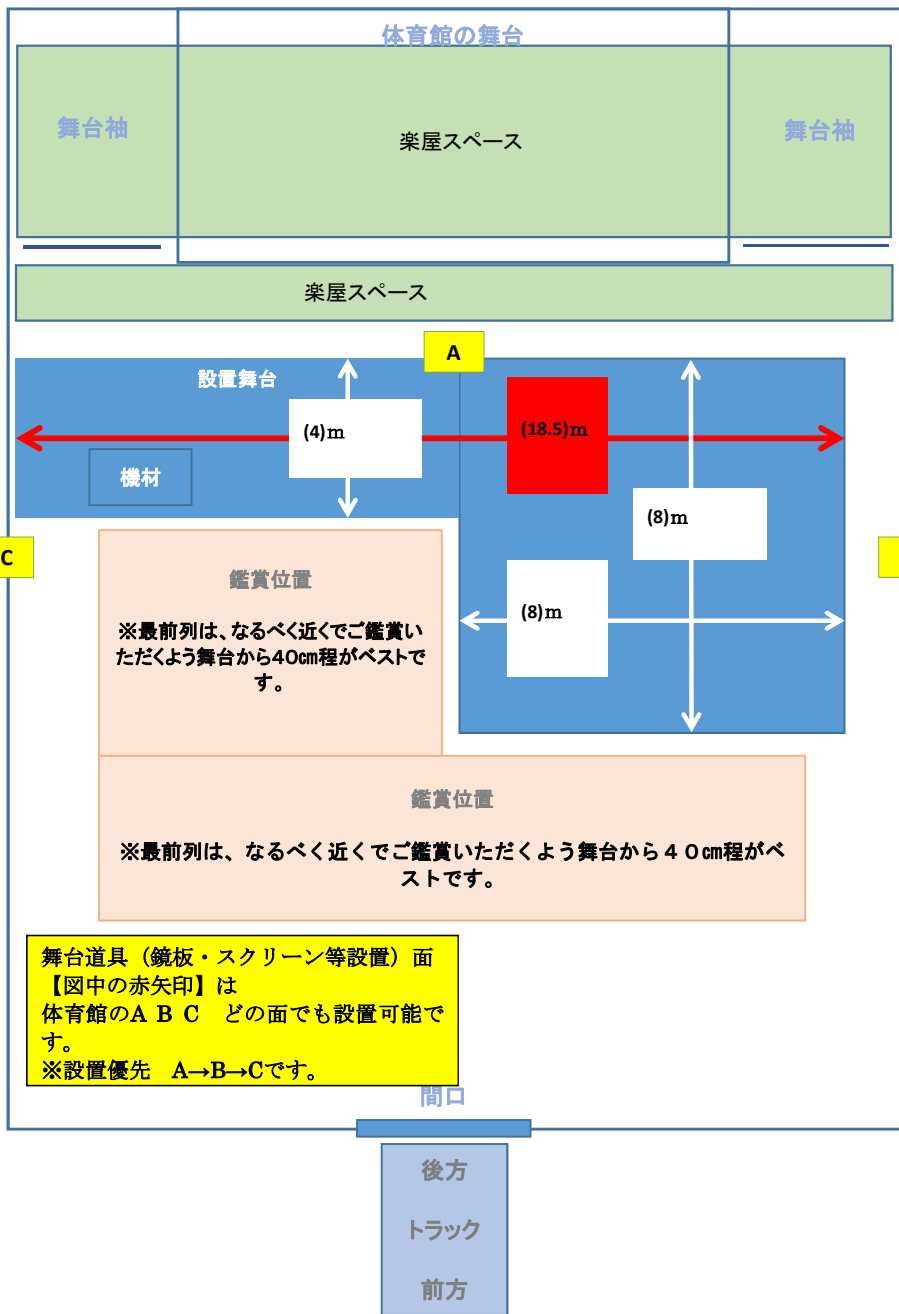
土屋周子

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |            |    |      |    |        |          |   |    |     |
|-------|------------|----|------|----|--------|----------|---|----|-----|
| ID    | B24        | 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 歌舞伎・能楽 | ブロック     | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 公益社団法人 宝生会 |    |      |    | 制作団体名  | 株式会社 影向舎 |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談     | 必要条件等                  |    |                     |  |   |  |                      |       |    |  |  |
|---------|---------|------------------------|----|---------------------|--|---|--|----------------------|-------|----|--|--|
| 控室について  | 可       | 必要数 *                  | 不要 | 条件                  | ステージを楽屋として使用しますので、原則別室は不要です。                 |   |  |                      |       |    |  |  |
| 搬入について  | 不可      | 来校する車両の大きさと台数 *        |    |                     | 2トラック  | 1台  | バン   | 1台                   |       |    |  |  |
|         | 不可      | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ |    |                     | 2トラック  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 搬入車両の横づけの要否 *          |    |                     | 可能な限り。横付けを希望します。                             |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 横づけができない場合の搬入可能距離 *    |    |                     | 30m以内  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 搬入経路の最低条件              |    |                     | 特段無。   |   |  |                      |       |    |  |  |
|         |         | 理由                     |    |                     |  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 設置階の制限 *               |    |                     | 2階まで可能。                                      |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 搬入間口について<br>単位:メートル    |    | 幅                   | 2  | 高さ  | 2  |                      |       |    |  |  |
| WSIについて | 可       | 参加可能人数                 |    |                     | 700  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 学年の指定の有無 *             |    |                     | なし   | 指定学年 *  |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 所要時間の目安<br>単位:分        |    |                     | 1時間40分 質疑応答の人数により、幾分伸びる可能性有。                 |   |  |                      |       |    |  |  |
| 本公演について |         | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 |    |                     | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。 |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 鑑賞可能人数                 |    |                     | 700  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 不可      | 舞台設置場所 *               |    |                     | フロア  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 不可      | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル  |    | 幅                   | 18.5   | 奥行  | 9.5  | 高さ                   | 4     |    |  |  |
|         | 可       | 体育館の舞台を使用する場合の条件       |    |                     | 舞台袖スペースの確保 *                                 |   |  | 要                    |       |    |  |  |
|         | 可       |                        |    |                     | 舞台袖スペースの条件 *                                 |   |  | 人が通れるスペースの確保をお願いします。 |       |    |  |  |
|         | —       |                        |    |                     | 緞帳 *   | 舞台を楽屋として使用する<br>ので、なるべく緞帳を使用<br>します。無ければそれ<br>に対応します。 |  |                      | バトン * | 不要 |  |  |
|         | —       | 遮光(暗幕等)の要否 *           |    |                     | 不要   | 理由  |  |                      |       |    |  |  |
|         | —       | ピアノの調律・移動の要<br>否       |    | 指定位置へのピアノの<br>移動 *  |  | 不要  | 基本的に無ですが、舞台道具設置<br>や出演者動線確保の関係により有<br>の可能性もあります。 |                      |       |    |  |  |
|         | —       |                        |    | ピアノの事前調律 *          |  | 不要  |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | フロアを使用する場合の<br>条件      |    | バスケットゴールの設<br>置状況 * |  | 格納されていれば可   |  |                      |       |    |  |  |
|         | 可       | 公演に必要な電源容量             |    |                     | 40A  | ※主幹電源の必要容量  |  |                      |       |    |  |  |
|         | その他特記事項 |                        |    |                     |  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         |         |                        |    |                     |  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         |         |                        |    |                     |  |   |  |                      |       |    |  |  |
|         |         |                        |    |                     |  |   |  |                      |       |    |  |  |



舞台設営例 A面【縦使い】



250名以上のご参加の場合は、後ろの席からも観えるように、おおよそ250名までは舞台近くで直座り、それ以上は椅子の使用をお願いします。

舞台設営例 B面【横使い】



楽屋スペース



|                   |   |    |       |    |
|-------------------|---|----|-------|----|
| 搬入間口について          | 幅 | 2m | 高さ    | 2m |
| 搬入車両の横づけの要否       |   |    | 可能な限り |    |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 |   |    | 30m以内 |    |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

## 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】 合唱,オーケストラ等,音楽劇  
 【演 劇】 児童劇,演劇,ミュージカル  
 【舞 踊】 バレエ,現代舞踊  
 【伝統芸能】 歌舞伎・能楽,人形浄瑠璃,邦楽,邦舞,演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・~~C区分~~

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

あり・~~なし~~

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

(1) ~~公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能~~(2) 公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |         |  |
|-----------------------|--|---------|--|
| ふりがな<br>制作団体名         | とくていひえいりかつどうほうじん にほんおんがくしゅうだん<br>-----<br>特定非営利活動法人 日本音楽集団   |         |  |
| 代表者職・氏名               | 代表理事 尾崎 太一   |         |  |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3丁目17番1号 滝沢ビルB1F<br>(京王線笹塚駅より 徒歩8分)  |         |  |
| 電話番号                  | 03-3378-4741   | FAX番号   | 03-3376-2033   |
| ふりがな<br>公演団体名         | とくていひえいりかつどうほうじん にほんおんがくしゅうだん<br>-----<br>特定非営利活動法人 日本音楽集団   |         |  |
| 代表者職・氏名               | 代表理事 尾崎 太一   |         |  |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3丁目17番1号 滝沢ビルB1F<br>(京王線笹塚駅より 徒歩8分)  |         |  |
| 制作団体<br>設立年月          | 1964年 4月   |         |  |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員  |         | 団体構成員及び加入条件等   |
|                       | 代表 - 尾崎太一、副代表 - 米澤浩<br>運営委員長 - 元永拓<br>運営委員 - 田野村聡・原郷隆・久保田晶子・久本桂子・福嶋頼秀・山崎千鶴子<br>事務局 - 中山美穂子<br>監事 - 宮田耕八朗・三田村典昭 |         | 団体構成員 / 正会員60名、協力会員56名、<br>賛助会員 法人5、個人15人 (以上、計131名、5法人)<br>主な構成員 / 指揮: 田村拓男、尺八: 米澤浩、箏: 熊沢栄利子、<br>三味線: 杵家七三、琵琶: 田原順子、打楽器: 尾崎太一<br>加入条件 / 本団の趣旨に賛同し、プロとしての音楽活動を行う事。または、本団の趣旨に賛同し協力・支援する事。 |
| 事務体制の担当               | <u>専任</u> ・ <del>他の業務と兼任</del>   | 本事業担当者名 | 米澤 浩   |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <u>有</u> ・ 無   | 経理責任者名  | 中山 美穂子   |



|                        |  |   |            |
|------------------------|--|---|------------|
| 制作団体沿革                 | 1964年に、演奏家と作曲家の14名で設立され、同年11月に第1回定期演奏会を開催した。1999年特定非営利活動法人に認定された。年3回の定期の他、全国各地の鑑賞団体や文化施設、小・中・高等学校での鑑賞会、CD、放送、映画、演劇の音楽担当などの演奏活動を行う。1981年には、ライブ・チック・ゲリアントハウス・オーケストラ命名200年記念委嘱作品「急の曲」(三木稔作曲)を音楽監督クルト・マズア氏指揮により初演。海外の音楽祭にも多数参加し、2001年には邦楽アンサンブルとしては初めて「ブラハの春」に招聘された(第25次海外公演)。2008年ブラジル移住100周年記念事業「ブラジル日本移民百周年記念音楽祭」(第28次海外公演)、2009年カナダ(第29次海外公演)、2010年ユーラシア音楽祭を含むロシア、モンゴル公演(第30次海外公演)を実施した。定期演奏会は、2018年7月までに224回を数える。 |   |            |
| 学校等における公演実績            | 平成10年度以前(任意団体) / 723公演以上(但し、昭和57年以前の創立から13年間のデータは不明)<br>平成11年度以降(NPO法人) / 350公演以上(文化庁巡回公演「ごんぎつね」88公演を含む)   |   |            |
| 特別支援学校における公演実績         | 平成26年度 / 愛知県立豊橋特別支援学校<br>平成27年度 / 滋賀県立三雲養護学校・大阪市立平野特別支援学校<br>平成28年度 / 福岡県立福岡聴覚特別支援学校・長崎県立盲学校<br>平成30年度 / 青森県立八戸聾学校・盲学校(平成30年11月8日日本公演実施予定)   |   |            |
| 参考資料の有無                | A  | 申請する演目のチラシパンフレット等                       | 有 ・ 無      |
|                        |  | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料                    | 有 ・ 無      |
|                        |  | 公開資料有の場合 URL                            | DVDを提出します  |
|                        |  | 閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード                  | ID:<br>PW: |
|                        | Aの提出が困難な場合   | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 | 有 ・ 無      |
|                        |  | 公開資料有の場合 URL                            |            |
| 閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード |  | ID:<br>PW:                              |            |

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 日本音楽集団】

|                               |  |                      |                                  |
|-------------------------------|--|----------------------|----------------------------------|
| 対象                            | 小学生(低学年・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u> )・中学生<br>附記/本公演鑑賞対象:全学年。共演・ワークショップ対象学年:4～6年生  |                      |                                  |
| 企画名                           | 『 <u>ごんぎつね</u> 』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～  |                      |                                  |
| 本公演演目<br>原作/作曲<br>脚本<br>演出/振付 | (1)『宮崎駿アニメ・メドレー』(秋岸寛久編曲)<br>(2)～(6)『日本の楽器たち』(古典作品)/六段の調、鹿の遠音、春の海、那須の与一、幕間三重・獅子狂い五段<br>(7)『子どものための組曲』(篠田大介作曲)<br>～休憩～<br>(8)『 <u>ごんぎつね</u> 』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～ <b>児童生徒代表と共演</b><br>(作:新美南吉、音楽:川崎絵都夫、作詞:佐藤万里)<br>公演時間(100分)   |                      |                                  |
| 著作権                           | 制作団体が所有  | ○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる | 許諾済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要                          | 第1部では、色々な日本の楽器について司会者(協力俳優)と演奏者とのお話しで紹介しながらそれぞれの古典作品と現代の合奏曲を聴いて頂きます。<br>第2部では、児童生徒代表の皆さんと『 <u>ごんぎつね</u> 』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～で共演します。<br>『 <u>ごんぎつね</u> 』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～は、NHK 東京児童合唱団をゲストに迎えて2013年第210回定期演奏会においても再演されている作品で、 <b>教科書に掲載されている原文のままで7種類の日本の楽器と共演できる作品</b> です。<br>国語の授業で『ごんぎつね』を学習した中、高学年の児童生徒の中から、学校側で代表の学年を選出して頂き、日本音楽集団の演奏者と共演して頂きます。   |                      |                                  |
| 演目選択理由                        | 小学校では4年生の国語の授業で新美南吉の『ごんぎつね』を学習しますが、この身近な物語をメイン・プログラムにおいた公演を鑑賞することで、日本の楽器をより身近に感じてもらおうように意図・構成しています。<br>『ごんぎつね』で児童生徒の代表と演奏者が一緒に音楽朗読劇を作り上げる <b>《共演体験》</b> を持つこと、本公演での発表を通じて児童生徒の代表が演奏者と <b>《達成感を共有》</b> すること、そして児童生徒代表と日本音楽集団との共演を全校で鑑賞することにより、全校児童生徒の皆さんで <b>《間接的体験》</b> を共有することも意図しています。<br>又、上記の演目内容にある『日本の楽器たち』では、それぞれの古典作品を紹介することはもちろんのこと、それぞれの演奏家が現在に至る演奏家としての「個人史」にも触れて <b>《キャリア教育的要素》</b> を盛り込むことも意図しています。<br>併せて、共演する児童生徒代表がワークショップにおいて <b>《自らが体験した日本の楽器(箏)と共演》</b> する体験や、日本音楽集団の演奏者と協働して作品を作り上げること等、 <b>《参加型体験要素》</b> も盛り込むことを強く意図して構成しています。 |                      |                                  |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態            | 児童生徒代表(4年生以上の学年)が『ごんぎつね』の(ごんの歌)で日本音楽集団と共演し、児童生徒代表の皆さんと日本音楽集団の演奏者が「 <b>音楽朗読劇を作り上げる過程</b> 」を共有し、「 <b>協働の場</b> 」を児童生徒代表と演奏者と <b>持つこと</b> を意図しています。<br>そして本公演において、児童生徒代表と演奏者が協働した成果を全校児童生徒に発表し、共に作り上げた「音楽朗読劇」を観賞体験してもらいます。<br>児童生徒代表の共演形態は学校側の要望により色々ありますので、その基本パターンは <b>巡回公演公演の実施が決まった各校に配布する【実施の手引き】に記載</b> してあります。  |                      |                                  |

|                              |  |                           |   |
|------------------------------|--|---------------------------|---|
| <p>出 演 者</p>                 | <p>笛 / 新保有生・遠藤悠紀・あかる潤、尺八 / 元永拓・原郷隆・田野村聡、三味線 / 杵家七三・山崎千鶴子、琵琶 / 久保田晶子・藤高理恵子、箏(こと) / 熊沢栄利子・桜井智永、十七絃箏 / 城ヶ崎美保・久本桂子、打楽器 / 臼杵美智代・盧慶順、他<br/> 7名7種(笛・尺八・三味線・琵琶・箏・十七絃箏・打楽器)の日本音楽集団団員<br/> 司会と朗読 / 飛山真利子・竹井沙紀・宝本夢子<br/> (7名の奏者と語り手1名、計8名を派遣)</p> |                           |   |
| <p>公演出演予定者数<br/>(1公演あたり)</p> | <p>出 演 者: 8名<br/> <u>ス タ ッ フ: 1名</u><br/> 合 計: 9名</p>  | <p>機 材 等<br/> 運 搬 方 法</p> | <p>積 載 量 / 1.25t<br/> 車 長 / 4.69m<br/> 台 数 / 1台</p> |

| <p>公演に当たっての<br/>会場条件</p>                      | <p>実施条件等確認書 をご確認ください。</p>   |  |     |             |       |  |    |           |     |     |    |    |      |                        |             |     |             |       |
|---|---|--|-----|-------------|-------|--|----|-----------|-----|-----|----|----|------|------------------------|-------------|-----|-------------|-------|
| <p>会場設営の所要<br/>時間(タイムスケ<br/>ジュール)の目<br/>安</p> | <p>前日仕込み(有・<b>無</b>) 会場設営の所要時間( 1 時間程度 )</p> <table border="1" data-bbox="391 573 1433 651"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:40</td> <td>9:40 10:25/10:50-12:25</td> <td>13:45～15:25</td> <td>10分</td> <td>15:30～16:00</td> <td>16:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p><b>注記/</b><br/>基本的に「前日仕込み」は不要ですが、これまで学校側のご希望でワークショップを1時間目から実施しなければならなかった場合に「前日仕込み」が発生しましたが、これには前公演地と宿泊地が関係します。<br/>日本音楽集団では「給食交流」を推奨しています。</p> |  |     |             |       |  | 到着 | 仕込み/リハーサル | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 9:40 | 9:40 10:25/10:50-12:25 | 13:45～15:25 | 10分 | 15:30～16:00 | 16:00 |
| 到着  | 仕込み/リハーサル   | 本公演  | 内休憩 | 撤去          | 退出    |  |    |           |     |     |    |    |      |                        |             |     |             |       |
| 9:40  | 9:40 10:25/10:50-12:25  | 13:45～15:25  | 10分 | 15:30～16:00 | 16:00 |  |    |           |     |     |    |    |      |                        |             |     |             |       |
| <p>児童・生徒<br/>の参加可能人数</p>                      | <p>ワークショップ</p>  | <p>最大160名(1コマ45分でクラス単位で実施し、最大4クラスまで。)<br/><b>例</b> - 1校時目 : 搬入と体験楽器(箏)の準備<br/>2～5校時目 : クラス単位で箏体験(4クラス)<br/>6校時目 : 合唱での共演練習</p> |     |             |       |  |    |           |     |     |    |    |      |                        |             |     |             |       |
|   | <p>本公演</p>  | <p>50名～300名</p>  |     |             |       |  |    |           |     |     |    |    |      |                        |             |     |             |       |
| <p>ワークショップ<br/>実施形態<br/>及び内容</p>              | <p><b>《お箏体験》と《合唱共演》のリハーサル</b><br/><b>箏体験プログラム『さくらリレー』(1コマ45分、<u>クラス単位で実施</u>)</b></p> <p><b>【ワークショップ会場設営の様子】</b></p>  <p>公演の1ヶ月程度前に日本音楽集団の演奏者(尺八・三味線・二十絃箏・十七絃箏・打楽器の5名)と協力俳優が実施校に伺いワークショップを実施します。<br/>最初に『ごんの歌』で共演する児童生徒代表の皆さんを対象に箏体験プログラム『さくらリレー』を実施します。</p> <p><b>【箏の弾き方の説明】</b></p>   |  |     |             |       |  |    |           |     |     |    |    |      |                        |             |     |             |       |





箏の弾き方は、日本音楽集団がビデオカメラ（モニターカメラ）やカメラの三脚、接続コード類を持ち込み、写真のように判りやすく演奏者が解説します。（モニターには、学校の電子黒板かテレビモニターを使用します。）

《合唱共演》のリハーサル（45分、クラス・学年合同で実施）

【歌の練習の伴奏】



お箏を体験した後に『ごんぎつね』で朗読を担当する協力俳優の指導で『ごんの歌』での共演リハーサルを行います。**歌のリハーサルは共演する児童生徒代表の皆さん全員の合同で行い、所要時間は45分です。**

ワークショップ  
実施形態の意図

ワークショップにおいて実施する箏体験プログラム『さくらリレー』は、単純にお箏を弾いて見ると言うプログラムではありません。2人1組になったペア同士が協力して「さくら」を演奏し、かつクラス全体でリレーして行く内容で、ペア同士だけでなくクラス全体が協力してはじめて「さくら」が演奏できるプログラムです。

皆で協力して演奏する協力要素も盛り込んだ「参加型体験学習」として『さくらリレー』を実施しています。

そして「ごんぎつね」での共演リハーサルでは、自分達で体験した日本の楽器（箏）と共演することによって「邦楽器をより身近」に感じ、**《音楽作品を演奏家と一緒に作り上げる経験》**を持つことで、演奏家と協働体験も共有することを意図しています。

尚、箏体験プログラム『さくらリレー』は体験の密度を維持するため、1校時分の時間（45分）を掛けてクラス単位（最大40名）で実施するワークショップ体験プログラムです。

|                          |   |
|--------------------------|---|
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p> | <p>特別支援学校での本事業の実施にあたっては、これまでご担当の先生との事前打ち合わせを丁寧に行い、学校毎に実施内容を調整して行って来ました。</p> <p>平成26年度実施の愛知県の豊橋特別支援学校、平成27年度実施の滋賀県立三雲養護学校・大阪市立平野特別支援学校の2校、平成28年度実施の福岡県立福岡聴覚特別支援学校・長崎県立盲学校の2校での実施経験では、各校ごとに「どのような形でワークショップや本公演を実施(児童生徒の参加方法)するのが望ましいか？」が異なり、各支援学校の児童生徒さん方の個性に合わせ、ご担当の先生方の協力を仰ぎつつ実施プログラムを修正しながら対応して参りました。(平成30年度には、青森県立八戸聾学校・盲学校で本事業の実施を予定しています。)</p> <p>又、楽器の体験においては、体育館で正座できない児童生徒にも対応できるようパイプ椅子を使ったお箏の設置や、車椅子・ベッド等の児童生徒にも対応できる補助方法などを学校側と協力して工夫し、実施して来ています。</p> <p><b>【パイプ椅子を利用した箏の設置】</b>                      <b>【車椅子・ベッド等の児童生徒の補助】</b></p>  |
| <p>実施可能時期はB区分申請団体のみ</p>  | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>   |

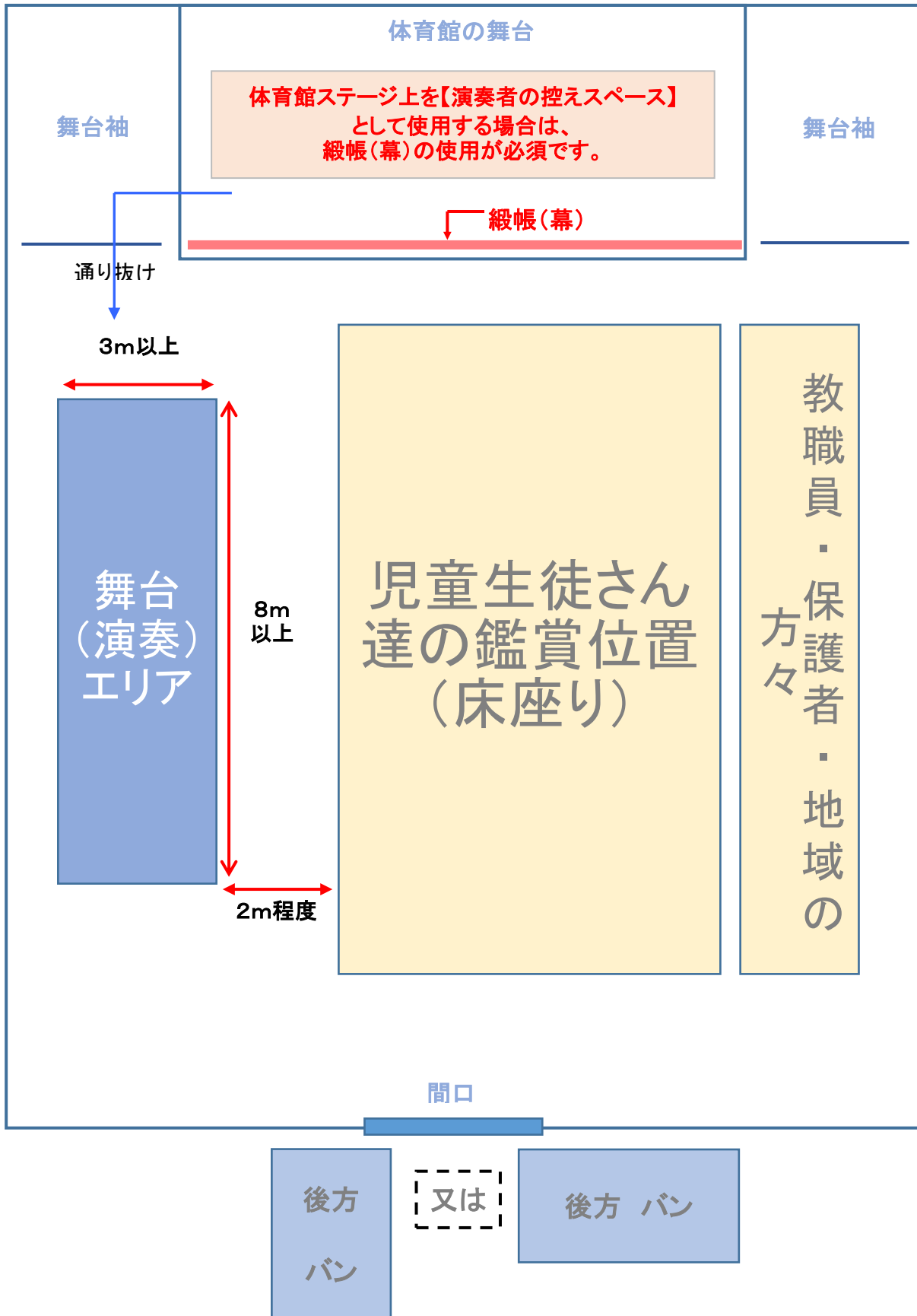
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |           |    |        |    |       |                  |   |    |     |
|-------|-----------|----|--------|----|-------|------------------|---|----|-----|
| ID    | B25       | 分野 | 伝統芸能   | 種目 | 邦楽    | ブロック             | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 特定非営利活動法人 |    | 日本音楽集団 |    | 制作団体名 | 特定非営利活動法人 日本音楽集団 |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談     | 必要条件等                                  |    |                |   |            |                                   |          |      |  |
|---------|---------|--|----|----------------|---|------------|-----------------------------------|----------|------|--|
| 控室について  | 可       | 必要数*                                   | 1室 | 条件             | ワークショップ時は演奏者の荷物を置き、本公演時は荷物置きその他、男女の着替え(交代で使用)にも使用します。   |            |                                   |          |      |  |
| 搬入について  | 不可      | 来校する車両の大きさと台数*                         |    |                | バン 1台   |            |                                   |          |      |  |
|         | 不可      | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ                 |    |                | バン (ハイエースが1台)   |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | 搬入車両の横づけの要否*                           |    |                | 要(必須)   |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | 横づけができない場合の搬入可能距離*                     |    |                | 10m以内(屋根が必須)  |            |                                   |          |      |  |
|         | 不可      | 搬入経路の最低条件                              |    |                | 体育館にハイエースが横付けできない場合、渡り廊下等の『屋根のある通路』からの搬入に限り可とします。   |            |                                   |          |      |  |
|         |         | 理由                                     |    |                | 楽器類が濡れることは不可のため。(当日の天候状況を勘案)  |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | 設置階の制限*                                |    |                | 2階以上の場合、要応談。(搬入楽器の量が多いため)   |            |                                   |          |      |  |
| WSIについて | 不可      | 搬入間口について<br>単位:メートル                    |    | 幅              | 2m  |            | 高さ                                | 2m       |      |  |
|         | 可       | 参加可能人数                                 |    |                | 楽器体験をクラス単位で実施するため、最大4クラスの児童生徒まで(6校時までである場合)   |            |                                   |          |      |  |
|         | 不可      | 学年の指定の有無*                              |    |                | あり  | 指定学年*      |                                   | 小学校4年生以上 |      |  |
| 本公演について | 不可      | 所要時間の目安<br>単位:分                        |    |                | 箏体験(クラス単位で実施)は、1コマが45分で4コマ(4校時分)まで実施可能なため最大180分です。(注記:実施日が6校時の場合)<br>共演リハーサルは、箏体験を行ったクラスの合同で実施するので、1コマ(1校時分/45分)です。 |            |                                   |          |      |  |
|         |         | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間                 |    |                | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。   |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | 鑑賞可能人数                                 |    |                | 「フロア」で公演を行う前提で300名程度まで  |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | 舞台設置場所*                                |    |                | 「フロア」での公演を原則としています。   |            |                                   |          |      |  |
|         | 不可      | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル                  |    | 幅              | 8m以上  | 奥行         | 3m以上                              | 高さ       | 指定なし |  |
|         | 可       | 体育館の舞台を使用する場合の条件                       |    |                | 舞台袖スペースの確保*   |            | 要相談 (演奏者の控えスペースとして体育館ステージを利用する場合) |          |      |  |
|         | 可       |  |    |                | 舞台袖スペースの条件*   |            | 要相談 (演奏者の控えスペースとして体育館ステージを利用する場合) |          |      |  |
|         | 不可      |  |    | 緞帳*            | 要 (演奏者の控えスペースとして体育館ステージを利用する場合は必須)  |            | バトン*                              | 不要       |      |  |
|         | —       | 遮光(暗幕等)の要否*                            |    |                | 不要  | 理由         |                                   |          |      |  |
|         | —       | ピアノの調律・移動の要否                           |    | 指定位置へのピアノの移動*  |   | 不要         | ※指定位置は会場設置図面に御確認ください。             |          |      |  |
|         | —       |  |    | ピアノの事前調律*      |   | 不要         |                                   |          |      |  |
|         | 可       | フロアを使用する場合の条件                          |    | バスケットゴールの設置状況* |   | 格納されていれば可  |                                   |          |      |  |
|         | —       | 公演に必要な電源容量                             |    |                | 不要  | ※主幹電源の必要容量 |                                   |          |      |  |
|         | その他特記事項 |  |    |                |   |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | ワークショップ・本公演時共に、マイク等の音響設備(学校備品)をお借りします。 |    |                |   |            |                                   |          |      |  |
|         | 可       | ワークショップ時に、TVモニター、もしくは電子黒板をお借りします。      |    |                |   |            |                                   |          |      |  |

会場図面(表記単位:メートル)



|                   |   |              |    |    |
|-------------------|---|--------------|----|----|
| 搬入間口について          | 幅 | 2m           | 高さ | 2m |
| 搬入車両の横づけの可否       |   | 要(必須)        |    |    |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 |   | 10m以内(屋根が必須) |    |    |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



へいせい ねんど  
平成30年度  
ぶん かげいじゆつ こども いくせいじぎょう  
文化芸術による子供の育成事業  
じゆんかいこうえんじぎょう  
—巡回公演事業—

とくていひ えいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人

にほんおんがくしゅうだん  
日本音楽集団

# 『ごんぎつね』

かた がっしょう ほうがっき つく おんがくろうどくげき  
～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～



ほうがっき にほん がっき  
～ 邦楽器（日本の楽器）～

ひだり にじゅうげんごと じゅうしちげんごと びわ だがっき しゃみせん ぶえ しゃくはち  
左から／二十絃箏、十七絃箏、琵琶、打楽器、三味線、笛、尺八

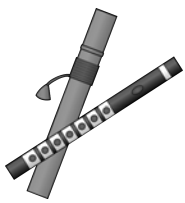
## 「文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゅう ぶん かげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん  
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演  
し、こども すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え  
子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、  
こども はっそうりよく のうりよく いくせい しょうらい げいじゆつか  
子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家  
いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじょう もくてき  
の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としてい  
ます。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな  
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行  
います。また、じつえん できるだけ こども さんか  
実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

♪♪♪♪ **今日のコンサートに登場する楽器** ♪♪♪♪

●ふえの仲間●



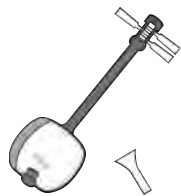
**篠笛** - 「祭囃子」(お祭りの音楽)でも活躍しますが、「歌舞伎」という日本のお芝居でも大活躍するふえです。篠竹という竹で作られているので「篠笛」と呼ばれます。



**能管** - 「能」という芸能で活躍するふえです。世界中のふえの中でもとても珍しい特徴を持っています。どんな特徴なのでしょう？

**尺八** - 篠笛は楽器を横にして吹きますが、尺八は縦にして吹きます。真竹という竹で作られていて、昔はお坊さんが吹いていました。どんな音楽を演奏していたのでしょうか？

●しゃみせん ●



**三味線**は、織田信長という人が日本で活躍していた頃に、中国から琉球(今の沖縄県)を通して日本に渡ってきました。それを琵琶法師(琵琶を演奏していた人達)が改良して今の形になったと言われています。

胴体には猫の皮が張ってあり、3本の弦を象牙(象のキバ)で作ったバチという道具ではじいて演奏します。民謡や、歌舞伎というお芝居、そして浄瑠璃という人形劇の音楽など色々な音楽で活躍している楽器です。

●ひわ ●



皆さんは「耳なし芳一」というお話を知っていますか？ このお話は、琵琶という楽器がとても上手だった芳一という若者が主人公のお話です。

昔、琵琶法師と呼ばれていた人が、琵琶を弾きながら物語をたくさんの人達に聴かせていました。その中でも、とても有名で人気があったのが「平家物語」という物語です。今日は、その「平家物語」を聴いてみましょう。

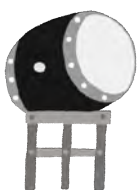
●こと ●



**箏**と呼ばれる楽器には、大きく分けて2つの種類があります。箏柱と呼ばれる白い「人」という字の形をしたコマを立てて演奏する楽器と、箏柱を使わずに演奏する楽器です。

今日のコンサートに登場するのは箏柱を使う「箏」という楽器で、昔から伝わって来ている「箏」の他に、「二十絃箏」、「十七絃箏」と3種類の箏が登場します。どうして3種類もあるのでしょうか？

●たがっき ●



今日のコンサートに登場する楽器の中で、叩いて音を出す日本の打楽器にはとても色々な種類があります。

動物の皮を張っている太鼓の仲間には、「鼓」、「締め太鼓」、「桶胴」、「大太鼓」などがあり、木をくり抜いて作ってあるものには「木魚」や「木鉦」、金属で出来ているものには「妙人」や「キン」などがあります。

それぞれどんな音がするのでしょうか？

♪♪♪♪ **コンサートの曲目** ♪♪♪♪

しかい ろうどく ○○○○○○○○ はいゆう  
司会と朗読：○○○○（俳優）

- (1) 「**宮崎駿アニメ・メドレー**」（編曲：秋岸寛久）／演奏：日本音楽集団

～7種類の邦楽器で合奏～

みな し かげ たに てんくう しろ ひめ  
皆さんが知っている「風の谷のナウシカ」、「天空の城ラピエタ」、「もののけ姫」、  
「千と千尋の神隠し」の音楽を邦楽器（日本の楽器）の演奏で聴いてみましょ  
う。どんな音が聴こえてくるでしょう？

～日本の楽器たち～

- (2) 箏独奏「**六段の調**」（作曲：八橋検校）／演奏：○○○○○○○○

- (3) 尺八独奏「**鹿の遠音**」（尺八本曲）／演奏：○○○○○○○○

- (4) 尺八と箏の合奏「**春の海**」（作曲：宮城道雄）  
／演奏：尺八—○○○○、箏—○○○○

- (5) 琵琶弾き語り「**平家物語**」／演奏：○○○○○○○○

- (6) 三味線・笛・打楽器の歌舞伎の音楽「**幕間三重・獅子狂い五段**」  
／演奏：三味線—○○○○、笛—○○○○、締め太鼓—○○○○

- (7) 「**子どものための組曲**」（作曲：篠田大介）／演奏：日本音楽集団  
7種類の邦楽器（日本の楽器）のための新しい合奏曲で、3つの楽章  
（音楽）に分かれている作品です。どんな音色が聴こえてくるでしょう？

～休憩（休み時間）～（10分）

- (8) 「**ごんぎつね**」～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～  
（作：新美南吉、音楽：川崎絵都夫、作詞：佐藤万里）

むら なまえ す  
村のはずれに《ごん》という名前の子ぎつねが住んでいました。  
この物語は、《ごん》とその村に住む《兵十》という青年との物語です。  
○○○しりつ○○○○しょうがっこう ねんせい みな にほんおんがくしゅうだん えんそうしゃ  
○○市立○○小学校4・5・6年生の皆さんと日本音楽集団の演奏者  
が共演して音楽朗読劇を発表します。

がっしょう ○○○○しりつ○○○○しょうがっこう ねんせい みな  
合唱／○○市立○○小学校4・5・6年生の皆さん  
ろうどく ○○○○○○○○ えんそう にほんおんがくしゅうだん  
朗読／○○○○ 演奏／日本音楽集団

## 日本音楽集団って、ナ～ニ？

日本で初めてオリンピックが開かれた1964年に「日本の楽器で新しい音楽を作って行こう！」と音楽を作る人（作曲家）や楽器を演奏する人（演奏家）が集まって生まれた団体です。

日本全国の小学校や中学校そして高等学校に通う皆さんのためにコンサートを開いたり、東京で定期演奏会というコンサートを開いたりして活動しています。又、今までに200回以上の定期演奏会を開いていて、日本の楽器がオーケストラのように集まってみんなで合奏する団体では、日本で一番長い歴史をもっています。外国にも行き、ドイツのライプチヒ・ゲヴァントハウス・オーケストラというオーケストラや、ニューヨーク・フィルというオーケストラといっしょに演奏したりして、色々な国でも日本の音楽や楽器を紹介しています。

このように、日本や世界の国々で「日本の楽器の歴史や音楽」そして「日本の楽器で演奏する新しい音楽」を、少しでもたくさんの人に紹介して知ってもらおうと努力している「演奏家（楽器を演奏する人）」や「作曲家（音楽を作る人）」などの音楽家が60人以上も集まっている団体が日本音楽集団です。

日本音楽集団は、1999年に特定非営利活動法人という団体になり、「日本の楽器の歴史と音楽」や「日本の楽器で演奏する新しい音楽」を、さらに広く紹介することに努力しています。

実施日程 / 平成30年11月30日（金曜日）

地元主催者 / ○○○○けんきょういくいんかい ○○○○しきょういくいんかい  
○○県教育委員会・○○市教育委員会

実施校名 / ○○○しりつ○○○○しょうがっこう  
○○市立○○小学校

## 知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 【音 楽】  | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇                 |
| 【演 劇】  | 児童劇, 演劇, ミュージカル                  |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊                        |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, <b>演芸</b> |

申請する区分に, ○を付してください。

A**区分のみ**・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)


あり・**なし**

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要



|                       |   |                  |              |
|-----------------------|---|------------------|--------------|
| ふりがな<br>制作団体名         | わんぱくきかくゆうげんがいしゃ<br>-----<br>わんぱく企画有限会社                |                  |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役社長 橋本絵美  |                  |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒249-0005<br>神奈川県逗子市桜山 8-10-13-202                    |                  |              |
| 電話番号                  | 045-324-5885  | F A X 番号         | 046-872-5159 |
| ふりがな<br>公演団体名         | わんぱくよせ がっこうよせ<br>-----<br>わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合) |                  |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役社長 橋本絵美  |                  |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒249-0005<br>神奈川県逗子市桜山 8-10-13-202                    |                  |              |
| 制作団体<br>設立年月          | 平成 4 年 5 月  |                  |              |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員   | 団体構成員及び加入条件等     |              |
|                       | 代表取締役 橋本絵美<br>中村俊男                                    | 舞台スタッフ<br>制作スタッフ |              |
| 事務体制の担当               | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任      | 本事業担当者名          | 橋本絵美         |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <input type="checkbox"/> 有 ・ 無                        | 経理責任者名           | 大木昭男         |

|                    |   |  |
|--------------------|---|--|
| <p>制作団体沿革</p>      | <p>昭和 43 年 7 月静岡県河津の中学校で本邦初の「学校寄席」を開始。<br/>       (構成メンバーは桂小南、入船亭扇橋、桂南喬、二代目林家正楽、森トシ)<br/>       頭の柔らかいこどもの時期から伝統芸能に触れることで 20 年、30 年先の観客をつくること、また文化の継承を目的として、全国の中学・高校生を対象に、落語の芸術鑑賞教室を始める。<br/>       昭和 50 年 学校帰りの小学生が学校寄席を熱心に聞いているのを見て、<br/>       小学生にも落語のおもしろさが伝わることを確信し、小学生対象に「わんぱく寄席」の上演を展開。<br/>       各地域の教育委員会合同芸術鑑賞教室、子ども劇場、おやこ劇場。上演学校数も 1 万校を超える。<br/>       平成 4 年、わんぱく企画有限会社設立。<br/>       平成17年厚労省社会保障審議会推薦児童福祉文化財<br/>       平成25年厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財<br/>       平成25年「長年にわたって、日本の伝統芸能を子どもたちに普及し、児童の健全育成に貢献してきた活動について」<br/>       厚労省特別部門児童福祉文化賞受賞</p> <p>全国の小中高で上演を続け、今年で 45 年。<br/>       当初、落語は「くだらないもの」というイメージがあり、鑑賞行事として学校上演するまでに苦労を重ねて参りました。<br/>       ようやく、学校での公演が認められるようになり、ロコミでひろがるようになりました。</p> |  |
| <p>学校等における公演実績</p> | <p>全国北海道から沖縄に至るまで多岐にわたる小・中学校年間約 150 校<br/>       日本児童・青少年演劇劇団協同組合主催<br/>       「夏休み児童・青少年演劇フェスティバル」参加<br/>       文化庁 平成22年度「本物の舞台芸術体験事業」<br/>           平成23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」<br/>           平成25年度「次代を担う子供の文化芸術体験事業」<br/>           平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」<br/>           平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」</p>  |  |

|                |             |   |            |
|----------------|-------------|---|------------|
| 特別支援学校における公演実績 | 友部特別支援学校    |   |            |
| 参考資料の有無        | A           | 申請する演目のチラシパンフレット等                           | 有          |
|                |             | 申請する演目の DVD または WEB 公開資料                    | 有 (DVD)    |
|                |             | ※公開資料有の場合 URL                               |            |
|                |             | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード                   | ID:<br>PW: |
|                | A の提出が困難な場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 | 有 ・ 無      |
|                |             | ※公開資料有の場合 URL                               |            |
|                |             | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード                   | ID:<br>PW: |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 わんぱく企画有限公司】

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 対象  | ○小学生(○低学年・○中学年・○高学年) ・ ○中学生   |  |  |
| 企画名   | わんぱく寄席 学校寄席   |  |  |
| <p>本公演演目</p> <p>原作／作曲<br/>脚 本<br/>演出／振付</p> | <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="width: 15%;"> <p>追の出し太鼓</p> <p>一、落語</p> <p>代表児童・生徒のみなさん</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>一、色物</p> <p>林泉 正徳</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>一、発表</p> <p>代表児童・生徒のみなさん</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>お仲入り</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>一、落語</p> <p>入野亭 扇好</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>一、上方落語</p> <p>笑福亭 呂好</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>一番太鼓</p> <p>代表児童・生徒のみなさん</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>わんぱく寄席<br/>学校寄席 番組例</p> </div> |  |  |
| 著作権   | <p style="text-align: right;">公演時間(100分)</p> <p><input type="radio"/> 制作団体が所有</p> <p><input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる</p> <p><input type="checkbox"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無</p>   |  |  |
| 演目概要  | <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>舞台情景</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>🌸 会場に、赤く派手な「わんぱく寄席」のノボリを立てて寄席の雰囲気をつつりと！</li> <li>🌸 児童・生徒代表の子どもたちが入口で一番太鼓を打ち鳴らし、会場には寄席ばやし流れ、にぎやかに子どもたちを迎えます。会場内では、落語家が使う小道具、色紙、洒落たデザインの手拭いなど寄席の小道具を展示する博物館。(会場条件により)</li> <li>🌸 舞台は正面に金屏風、赤い毛氈でくまられた高座、紫の座布団、両袖には寄席囲い、わんぱく寄席と書いた赤い提灯に灯りがともり、これからはじまる寄席のにぎやかで、楽しい雰囲気をお楽しみいただきます</li> </ul>   |  |  |



演目概要

わんぱく寄席 学校寄席



展示ミニ博物館

わんぱく寄席・学校寄席  
はじまりはじまり！

**一番太鼓 児童・生徒代表** 「どんどんとこーい」 開場とともに賑やかにみなさんをお出迎えいたします。

事前ワークショップで落語の解説を聞いてない場合は最初に解説が入ります

1

大阪の笑の  
上方落語家

落語



笑福亭呂好 など

落語には東京の江戸落語と大阪の上方落語があります。東京の落語家さんと話し口調がどう違うかな？聞き比べてみよう！

※プログラムの編成により、トリの師匠が上方落語になる場合もあります。

2

中トリをつとめる  
実力派の師匠

落語



入船亭扇好 など

わんぱく寄席、学校寄席に数多く出演していただいている子どもたち目線で話のできる実力派の師匠。どんな話がとびだすか乞うご期待！

お仲入り（休憩 10 分）

演目概要

わんぱく寄席 学校寄席

3

代表児童・生徒による  
落語発表会



事前ワークショップで練習した内容を  
代表児童・生徒6名が発表します。  
小学校1~4年「寿限無（じゅげむ）」など  
小学校5、6年「平林（ひらばやし）」など  
中学生 小唄または仕草など

4

ベテラン演者による  
珠玉の芸



林家正楽 など

芸を極めたベテラン演者の  
珠玉の芸をお楽しみいただけます。  
紙切り芸はお客様のご要望に  
応えて紙にはさみをいれて  
形作っていきます。  
ほかに奇術、漫才、太神楽曲芸  
江戸曲独楽など。



紙切り  
かみきり



奇術  
マジック



太神楽  
たみくら  
きょくたい



漫才  
まんざい



江戸曲独楽  
えどきょくこま

演目概要

5  
持ってました！  
大トリ真打！

らくご  
落語



入船亭扇遊 など  
わんぱく寄席・学校寄席のトリをかざるのは、前座の時代から現在まで学校公演を重ねてきた経験豊富な出演者。  
巧みな話術で子どもたちを落語の楽しい世界へ誘います。

追い出し太鼓 児童・生徒代表

「でてけててけ」楽しかった寄席もお開きの時間。  
ありがとうございましたという気持ちを込めて。

いままで演じられた  
ネタの一部

この中から当日  
児童・生徒の雰囲気を見て選びます

- たぬさの
- 牛ほめ
- 時そば
- 時うどん
- 初天神
- 子ほめ
- 転失気
- 目黒のきんま
- 桃太郎
- つる
- やかん
- 桃太郎
- 動物園
- ぞろぞろ
- 火焰太鼓
- 道具屋
- みそ豆
- 勸定板
- 犬の目
- 金明竹
- 饅頭こわい
- 元犬
- 狸の札
- お菊の皿

演目選択理由

本物の話芸にふれて、将来の良き話し手、良き文章家に



はじめて落語を見た子どもたちの落語の感想は、「『笑点』などの大喜利が落語だと思った」、「落語はおじいさんが見るものだと思った」という意見がほとんどです。  
子どもたちに本物話芸を伝え、将来のお客様を作りたいという思いから全国の小学校、中学校に「わんぱく寄席・学校寄席」を広める活動がはじまりました。  
想像力の豊かな子どものうちから、落語の興味あふれる内容を聞くことで、豊かな情操を養い、やがて良き話し手、良き文章家として将来活躍するきっかけになればいいと考えております。

落語の演目は当日の子ども達の雰囲気にあったものを

落語の演目は当日子どもたちの雰囲気を見て決めます。  
内容は子どもたちにもわかりやすい内容の演目を落語の生命は「落ち」(サゲ)にあります。  
あらかじめ、物語のあらすじを知らなくても、落ちを理解するためには一語一句も聞き漏さないように、子どもたちは真剣に話に耳を傾けます。  
このことにより「聞く力」を養うことができます。

|                              |   |                     |                                       |
|------------------------------|---|---------------------|---------------------------------------|
|                              | <p>子どもたちは感性が豊かで、わからない言葉がでてきても全体の話しの流れで理解する柔軟性を持っています。<br/>映像や効果音などない、話し言葉、ただそれだけで、子どもたちは一人一人違った想像を頭の中に作り出していきます。</p> <p><b>学校に健全な笑いを届けます</b></p> <p>「わんぱく寄席」「学校寄席」は、子どもたちの生活や学校教育の現場に、健全な「笑い」を提供します。その「笑い」は、子どもたちの日本語能力を深め、知的好奇心を刺激するだけではなく、子どもたちの心を解きほぐす力になっています。そして学校全体の雰囲気が和やかになる効果もあります。</p> <p><b>伝統文化と国語教育の一環として</b></p> <p>現場の先生から「伝統芸能を教える項目があるが、どのように教えていいかわからない」という声があります。<br/>最近、国語の教科書に落語を題材にしたものが掲載されていますが、中学校先生から落語のオチの部分を考えさせるテストでオチを勘違いしている回答があり、古典芸能の落語への関心の低さが課題だという声も聞きます。<br/>現場の先生も伝統芸能を教えることに苦戦している背景をうけ、このワークショップを国語の授業の一環としてご提供できたらと思います。</p> |                     |                                       |
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>    | <p><b>事前ワークショップ</b></p> <p>1 限目…落語ってなんだろう？落語の解説<br/>全員参加(全員参加が難しい場合は、学年、クラス単位でも可能です)</p> <p>2 限目…わくわく落語教室<br/>学年またはクラス単位参加<br/>代表児童 6 名が落語を発表<br/>一番太鼓・追い出し太鼓体験…5 名～10 名</p>  |                     |                                       |
| <p>出演者</p>                   | <p>「学校寄席」「わんぱく寄席」の出演者は、初めて落語をみる子どもたちにわかりやすくするための工夫を重ね師匠から若手へと伝えて 45 年の間に築き上げた上演経験のある出演者を主に選定しています。</p> <p>主として落語協会、落語芸術協会、上方落語協会、太神楽協会、漫才協会、日本演芸家連合所属の出演者からご出演いただいています。<br/>(出演者リストは別紙にございます)</p>   |                     |                                       |
| <p>公演出演予定者数<br/>(1公演あたり)</p> | <p>出演者: 7～8 名<br/>スタッフ: 5 名<br/>合計: 12～13 名<br/>(出演者の色物が漫才の場合 8 名)</p>  | <p>機材等<br/>運搬方法</p> | <p>積載量 1 t<br/>車長 5.5m<br/>台数 1 台</p> |



|   |   |   |     |             |       |            |           |     |     |     |    |    |      |            |             |     |             |       |
|---|---|---|-----|-------------|-------|------------|-----------|-----|-----|-----|----|----|------|------------|-------------|-----|-------------|-------|
| <p>公演に当たっての<br/>会 場 条 件</p>                   | <p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>   |   |     |             |       |            |           |     |     |     |    |    |      |            |             |     |             |       |
| <p>会場設営の所要<br/>時間(タイムスケ<br/>ジュール)の目<br/>安</p> | <p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 時間程度 )</p> <table border="1" data-bbox="389 571 1433 651"> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>本公演</td> <td>内休憩</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> </tr> <tr> <td>8:20</td> <td>8:30~11:00</td> <td>13:30~15:00</td> <td>10分</td> <td>15:10-17:00</td> <td>17:00</td> </tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>   |   |     |             |       |            | 到着        | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 8:20 | 8:30~11:00 | 13:30~15:00 | 10分 | 15:10-17:00 | 17:00 |
| 到着  | 仕込み   | 本公演   | 内休憩 | 撤去          | 退出    |            |           |     |     |     |    |    |      |            |             |     |             |       |
| 8:20  | 8:30~11:00  | 13:30~15:00   | 10分 | 15:10-17:00 | 17:00 |            |           |     |     |     |    |    |      |            |             |     |             |       |
| <p>児 童 ・ 生 徒<br/>の参加可能人数</p>                  | <p>ワークショップ</p>  | <p>1 限目 落語ってなんだろう…全員(学年、クラス単位でも可能)<br/>2 限目 わくわく落語教室…クラス・学年単位参加<br/>その中から本番で披露6名<br/>一番太鼓・追い出し太鼓体験 5名~10名</p> |     |             |       | <p>本公演</p> | <p>全員</p> |     |     |     |    |    |      |            |             |     |             |       |
| <p>ワークショップ<br/>実 施 形 態<br/>及 び 内 容</p>        | <div style="text-align: center;">  <p>落語ってなんだろう?<br/>はじめての落語<br/>事前ワークショップ</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> <b>所用時間</b></p> <p><b>1限目</b> 落語ってなんだろう?…45分~60分 <b>全員参加</b><br/> <small>全校参加が難しい場合は、学年、クラス単位での参加が可能です</small></p> <p style="text-align: center;">— — — — — 休 憩 — — — — —</p> <p><b>2限目</b> わくわく落語教室 …45分 <b>クラス単位・学年単位</b><br/> <small>~らくごでことばあそび~</small></p> </div> <p>1限目は全員参加で落語のみかた、落語にまつわるクイズなど、落語をみる前の予備知識を聞いて、最後に落語を一席聞いて頂きます。<br/>                 2限目では、1限目で聞いた落語の演題についてクラス単位、学年単位にしぼって深く掘り下げていきます。<br/>                 (演目は選択制。2限目に参加する学年にあわせて演目を変えます)</p> </div> |   |     |             |       |            |           |     |     |     |    |    |      |            |             |     |             |       |

# わんぱく寄席 学校寄席

ワークショップ 実施形態

## 1限目 落語ってなんだろう？…45分～60分 全員参加



**1 落語のみかた**  
たのしい解説で落語の世界をご紹介します

落語が生まれたのはいつ？  
落語家って何人くらいいるの？  
芸名はどのようにつけられるか？  
寄席文字の意味、座布団にかくされたひみつなどなど落語の特徴などをご説明いたします。  
そのあと、簡単な小噺をいたします。  
その時どのお話しているかじっくりと観察してみてください。



**2 上下の使い方**  
一人で表現する落語その表現の方法ってどんなもの？

落語は一人で何役も演じます。右を向いて一人の人物を演じ、左をむいて別の人物を演じ分けます。  
客席からみて舞台の右を上手（かみて）、左を下手（しもて）と呼びます。  
そのことから、この方法を「上下（かみしも）をつける」といいます。  
また、舞台などでは、年齢や身分が高い人が上手側へ座り、年齢が下の方は下手側へ座ります。

かみしも  
上下をつけて親子の会話を表現

（向かって左側）

下手（しもて）



（向かって右側）  
上手（かみて）



**3 しぐさってなあに？**  
てぬぐいと扇子はどうやってつかうの？

落語でつかう道具はてぬぐいと扇子だけ。その二つの道具をつかって、いろいろなしぐさをご紹介します。聴いている人の想像力をふくらませます。

てぬぐいを  
つかって…



手紙を読む

扇子を  
つかって…



電話をかける

刀の長さを  
目線の動きで  
表現



# わんぱく寄席 学校寄席



**6 着物着付け教室**  
落語家さんは着物を着て登場  
します。

一番太鼓をたたく代表者や、落語を発表する代表者には着物を着て登場してもらいます。その前に、みなさんに着物を着るところを実演して、最後に着物のたたみ方をお教えします。実際に浴衣を着る機会に活用していただけます。



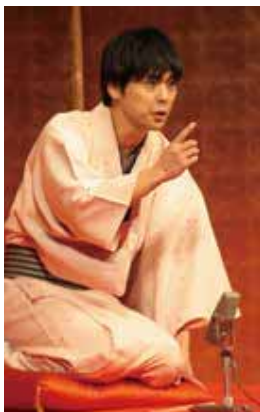
男女数名  
舞台の上で着付けを  
します



※プロジェクターを使ってたたみ方をお教えします



**7 落語を楽しもう！**  
落語の解説で聞いたことを  
踏まえて落語を楽しもう！



2限目の『わくわくらくご教室』の題材となる演目を話します。参加学年以外の子どもたちは落語を楽しみ、2限目に参加する学年は仕草などを注意深く観察しながらご覧下さい。

## 2限目の『わくわくらくご教室』に参加する学年の演目



参加するのが  
**1年～4年生の場合**

**寿限無 (じゅげむ)**

あらすじ  
あるお家に男の子が生まれ、長生きする立派な名前をつけてもらおうと、お寺に行って和尚さんに相談すると「寿限無」「ごころのすり切れ」「海砂利水魚」などなど縁起の良い名前を出してもらい、父親はその名前をすべてつなげてしまったからさあ大変。



参加するのが  
**5.6年生の場合**

**平林 (ひらばやし)**

※演目を寿限無に  
することも可能です

あらすじ  
丁稚の定吉がお医者様の「平林」さんへ手紙を届けるために、教えてもらった読み方を忘れないようにつぶやきながら歩いて行くが途中で忘れてしまいます。そこで通りがかった人に「平林」の読み方を訪ねますが、「たいらばやし」「ひらりん」「一八十の木木(いちちじゅうのもくもく)」「一つと八つで十木木(ひとつとやっつでとっきき)

と平林のさまざまな読み方を教えてもらい、そのよみかたをつなげて言っていくという内容の落語です。



中学生の場合

**当日のお楽しみ**

演目はその日の生徒さんの雰囲気のみで決めます。オチの意味や仕草や役柄の演じ分けなどに注目して2限目に自分で演じ分ける時の参考にご覧下さい。

# わんぱく寄席 学校寄席

らくごで  
ことばあそび

## 2限目

## わくわく落語教室

…45分

参加するのが

クラス単位・学年単位参加

小学校1～4年の場合

まるで言葉の音楽！  
声に出して楽しむ  
落語『**寿限無**』のことばの世界

参加するのが

小学校5,6年生の場合

漢字のふしぎを再発見？  
落語『**平林**』によることばあそび

中学生の場合

小噺作成に挑戦！  
めざせ明日の名人！

参加するのが

何年生かによって  
内容が変わります

小学校5,6年生が  
寿限無をすることも  
可能です。

小学校1～4年の場合

まるで言葉の音楽！  
声に出して楽しむ  
落語『**寿限無**』のことばの世界

内容

1限目で聞いた落語『**寿限無**』について、グループをつくって  
みんなで話し合ったり実際にやってみよう！

その1



実際に声に出して言ってみよう！

「**寿限無**」の簡単な文章を、  
落語家さんの後につづいて声に出して言ってみよう！

その2



おもしろいと思ったところを話し合おう！

どこの部分がおもしろかったかな？  
落語家さんがどのように演じ分けていたかななどを話し合おう！

その3



役柄を決めて演じてみよう！

グループでそれぞれ母親役、父親役、近所の子ども役  
など役割をきめて簡単なセリフを演じてみよう！

テキストを  
お渡します

ワンマンライブ

実施形態





# わんぱく寄席 学校寄席

その4



代表児童を決めて本公演に向けて練習！

## 児童による『寿限無』披露

本公演で  
共演！

代表児童 「寿限無」 発表……6名  
一番太鼓・追い出し太鼓……5名～10名

### 代表児童 「寿限無」 発表

本公演で落語家が導入の部分（父親が和尚さんに名前の相談に行くくだりなど）をお話します。こどもたちは役割ごとにセリフを言っていきます。

可能ならば「寿限無」の最後のオチを自分たちで考えて本公演で披露するのもおもしろい

### 一番太鼓・追い出し太鼓 代表児童が交代でたたいていきます

一番太鼓は、寄席が始まる前に「どんどんとこーい」というリズムで太鼓をたたいて賑やかにお客様を招き入れるようにたたきます。  
追い出し太鼓は、「でてけてけ」というリズムで太鼓をたたいて、ありがとうございましたの思いをこめてたたきましょう。  
児童生徒さんが会場に入るときに入口でたたいてお出迎えをし、教室へ戻る時に出口でたたきます。

練習用の  
DVDを  
お渡します

## 小学校5,6年生の場合

漢字のふしぎを再発見？  
落語『平林』によることばあそび

その1



自分の名字の漢字を調べてみよう！

自分の名字を紙に書き出し、漢字辞典でまずは音読み訓読みを調べます

例) 船村さんの場合

船

村

訓 音  
ふね セン  
ふね・ふな

訓 音  
むら ソン

センソン  
センむら  
ふねソン  
ふねソン  
ふねむら  
ふなむら

6通りの読み方ができました



# わんぱく寄席 学校寄席

その2



漢字を分解してみよう！

|            |                           |         |                 |         |
|------------|---------------------------|---------|-----------------|---------|
| 船          |                           |         | 村               |         |
| 舟          | 八                         | 口       | 木               | 寸       |
| ↓          | ↓                         | ↓       | ↓               | ↓       |
| 舟          | 八                         | 口       | 木               | 寸       |
| 訓<br>ふね・ふな | 音<br>シユウ<br>やっつ・やっ<br>やハチ | 訓<br>くち | 音<br>モク・ボク<br>こ | 訓<br>スン |

分解した漢字も音読みと訓読みを調べてみよう！

その3



調べた読み方を読んでみよう！

「平林」にでてきたように、リズムカルになるように自分の名前を読んでみよう！

- 「センソンなのかふねソンか」
- 「ふながやっつでくちもくすん」
- 「ふねはちぐちのぼくすん」

時間があれば誰の名字なのかクイズを行う

その4



代表児童を決めて本公演に向けて練習！

## 児童による『平林』披露

本公演で共演！

|   |
|---|
| 代表児童 「平林」 発表……6名<br>一番太鼓・追い出し太鼓……5名～10名 |
|---|

### 代表児童 「平林」 発表

本公演で落語家が手紙を頼む主人役になり、話の導入部まで話します。こどもたちは役割ごとにセリフを言っていきます。可能ならば「平林」を先生の名字に変えてパロディをつくるのもおもしろい。

### 一番太鼓・追い出し太鼓 代表児童が交代でたたいていきます

一番太鼓は、寄席が始まる前に「どんどんとこーい」というリズムで太鼓をたたいて賑やかにお客様を招き入れるようにたたきます。追い出し太鼓は、「でてけでてけ」というリズムで太鼓をたたいて、ありがとうございましたの思いをこめてたたきましょう。児童生徒さんが会場に入るときに入口でたたいてお出迎えをし、教室へ戻る時に出口でたたきます。

練習用のDVDをお渡しします



# わんぱく寄席 学校寄席

中学生の場合

小噺作成に挑戦！  
めざせ明日の名人！

その1

## 落語『ん廻し』の言葉遊びに挑戦！

落語「ん廻し」の中で、「運」＝「ん」がたくさん入っていることを言うと田楽がもらえるという落語にちなんで「ん」の入っている言葉をたくさんみつけて、文章をつくろう！

例) 来年の今月今夜のこの月を見たら今生の別れのごんぎつねがコンコンなく  
(らいねんのこんげつこんやのこのつきをみたらこんじょうのわかれのごんぎつねがこんこんなく)

その2

## 小噺を覚えよう！

まずは簡単な小噺を覚えてやってみよう。  
その時に身振り手振りや間の取り方など落語家がお教えます。

その3

## 小噺をつくってみよう！

小噺をつくってみよう。  
まずは、身近なものから連想して言葉をひろいだしそこから同音異義語をみつけて先にオチとなる部分を考えます。

その4

## 代表児童を決めて本公演に向けて練習！

### 生徒による小噺披露

代表生徒小噺発表……6名  
一番太鼓・追い出し太鼓……5名～10名

本公演で  
共演！

### 代表生徒小噺発表

ワークショップで教わった小噺または、自分で作った小噺を作成して発表しよう！

### 一番太鼓・追い出し太鼓 代表児童が交代でたたいていきます

一番太鼓は、寄席が始まる前に「どんどんどとこーい」というリズムで太鼓をたたいて賑やかにお客様を招き入れるようにたたきます。  
追い出し太鼓は、「でてけでてけ」というリズムで太鼓をたたいて、ありがとうございましたの思いをこめてたたきましょう。  
児童生徒さんが会場に入るときに入口でたたいてお出迎えをし、教室へ戻る時に出口でたたきます。

練習用の  
DVDを  
お渡します

# わんぱく寄席 学校寄席

本公演で共演する落語披露と  
一番太鼓・追い出し太鼓披露の代表児童が

本番までに  
用意するものなど



亭号と名前をかんがえてオリジナルめくりを作成

本番で発表するときまでに「○○亭花丸」などの  
自分の落語家としての名前を考えて、オリジナルのめくりを作成します。  
(作り方などの資料をお渡しいたします、ワークショップの時にご説明いたします)



ワークショップ  
実施形態

ワークショップ  
実施形態の意図

## 話し方のコツをつかみ、聞き手へ伝える表現力が身に付く

落語には、「小噺」「ことばあそび」「しゃれ」など日本語のことばを学べる要素が  
ふんだんに盛り込まれています。  
「間」の取り方、上下(かみしも)をつける話し方、しぐさなど、聞き手にわかる  
ようにする「伝える力」「表現する力」、言葉にリズムをつけて話す「音楽性」などの  
技術がつまっています。  
楽しみながら日本語を学べるというメリットがあります。

そして、落語には学習指導要領にある「話すこと」「聞くこと」「読むこと」  
「伝統的言語文化と国語の特質に関する事項」が含まれています。

聞く人に豊かな情景を思い描いてもらうための表現力も重要になります。  
落語家の高度な話し方の技術を学び、「話す力」「表現する力」を育ててもらい、  
スピーチをするときに役立てたり、他者へ気持ちをうまく伝えて  
コミュニケーションをとることに応用してもらいたい。  
この技術は、先生が子どもたちに物事を伝える時の参考にもなります。



## 日本語のことばを楽しみながら学べる

落語『寿限無』では、小学校の国語の教科書に取り入れられるようになり、親しみやすい内容という他に、「寿限無寿限無ごこうのすりきれ……」ということばの歯切れの良いリズムが子どもたちにうけ、自然と覚えようとしてします。

落語『平林』では、漢字の読み仮名や漢字を分解することで漢字の持つ意味や成り立ちを遊びながら自然と覚えることができ、漢字辞典を活用するための練習になります。

落語『ん廻し』も、リズムカルなことばのおもしろさ、「ん」のついたことばをつなげて文章を構成していくという言葉遊びの面白みがあります。

物語にオチをつける小噺を考えることでも、文章構成の力が身につきます。

言葉を知ろうと調べると、物事を深く考えることができ、それだけ世界が広がります。

落語の中には、同音異義語をつかった言葉遊びや、話の最後に「オチ」をつけて楽しむ技術がふんだんに盛り込まれています。

「普段なにげなく使っている日本語は、少し考えるとこんなにおもしろいんだ」と日本語のことばの面白さを再発見してもらおうことがねらいです。

## 国語の授業をそのまま伝統芸能を教える場に

わんぱく寄席を学校で行ったときに先生によく言われるのは、「伝統芸能を子どもたちに教えることが学習指導要領に入っているが、自分たちも伝統芸能を知らないし、どのように教えていいかわからない」という声をききます。最近では国語の教科書に落語を題材としたものが増えているが、実際はCD音源を活用しているのが現状です。

そこで、今回のワークショップでは、1限目で国語の授業の一環として生の落語を聞いてもらい、2限目でそれについて子どもたちが話し合ったり、ゲーム感覚であそびながら国語の勉強と伝統的言語文化と国語の特質に関する事項を学ぶ場にしてとして活用してもらいたい。

## 日本人の感覚を研ぎすます

手ぬぐい、着物、浴衣、羽織、足袋など、今はなかなか触れる機会が減った日本の伝統的な「和」に触れる。

わんぱく寄席・学校寄席で、てぬぐいをみせてこれは何でしょうと質問すると必ず出てくる答えが「タオル」という答えです。

普段身近ではなくなっている手ぬぐいですが、手ぬぐいの柄には様々な意味があり、その模様には縁起を担ぐもの、駄洒落を模様にしたものとデザイン的にユーモアで粋なものがたくさんあります。

江戸時代からある日本の柄のデザインの面白さ、美しさを改めて学んで頂き、訪日外国人旅行者や東京オリンピックに訪れる海外の方々へ東京オリンピックのエンブレムで使われている「市松模様」は「途切れることなく続いていく」ことから縁起の良い模様ですなど、日本の伝統的なデザインの面白さを通してコミュニケーションをとるきっかけになればと思います。

また、和服を着る機会が少ない子どもたちに、浴衣のたたみ方や、足袋のはき方を覚えてもらい、実際に浴衣を着る機会があったときに、浴衣をたためるようになってもらいたい。

### 落語のなかの人間味を感じる

落語の中にでてくる登場人物は、憎めない愛すべきキャラクターがたくさん出てきます。泥棒が家の人ととっくみあいの喧嘩になって家の人が「おっかあ水をくれ」といったら、泥棒が「おかみさん私にも」ってというような話があるように、落語の中の人物には、クスッと笑える人間味のあるおおらかさがあるのです。そのクスッと笑えるおおらかさを子どもたちにも感じてもらえたらと思います。

そして、落語を通して想像することの楽しさを知ること、落語の本を読んだり、おはなしの本を読むなど、自然と読書をする機会が増えるように促すことの手助けになればと思います。

### 本公演共演ワークショップの意図

本来落語は一人で演じるものですが、今回の共演ワークショップでは、児童生徒に登場人物の役柄を振り分け、それぞれが役柄を演じてもらうことで、あらためて一人で何役も演じ分けることのできる落語のすごさを感じてもらうものです。

寿限無寿限無……を全児童で合唱することは、普段の落語の概念をこえておりますが、このわんぱく寄席ならではの出来る事柄として捉えていただきたい。概念をくつがえすことで子どもたちに親しみやすくそれが将来のお客様に受け入れられる要素になると思います。

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 特別支援学校での実施における工夫点         | 先生と相談しながら、児童・生徒さんにあったものを行います。ワークショップの内容もあわせることは可能です。 |
| 実施可能時期<br>◇はB区分申請<br>団体のみ | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。                               |

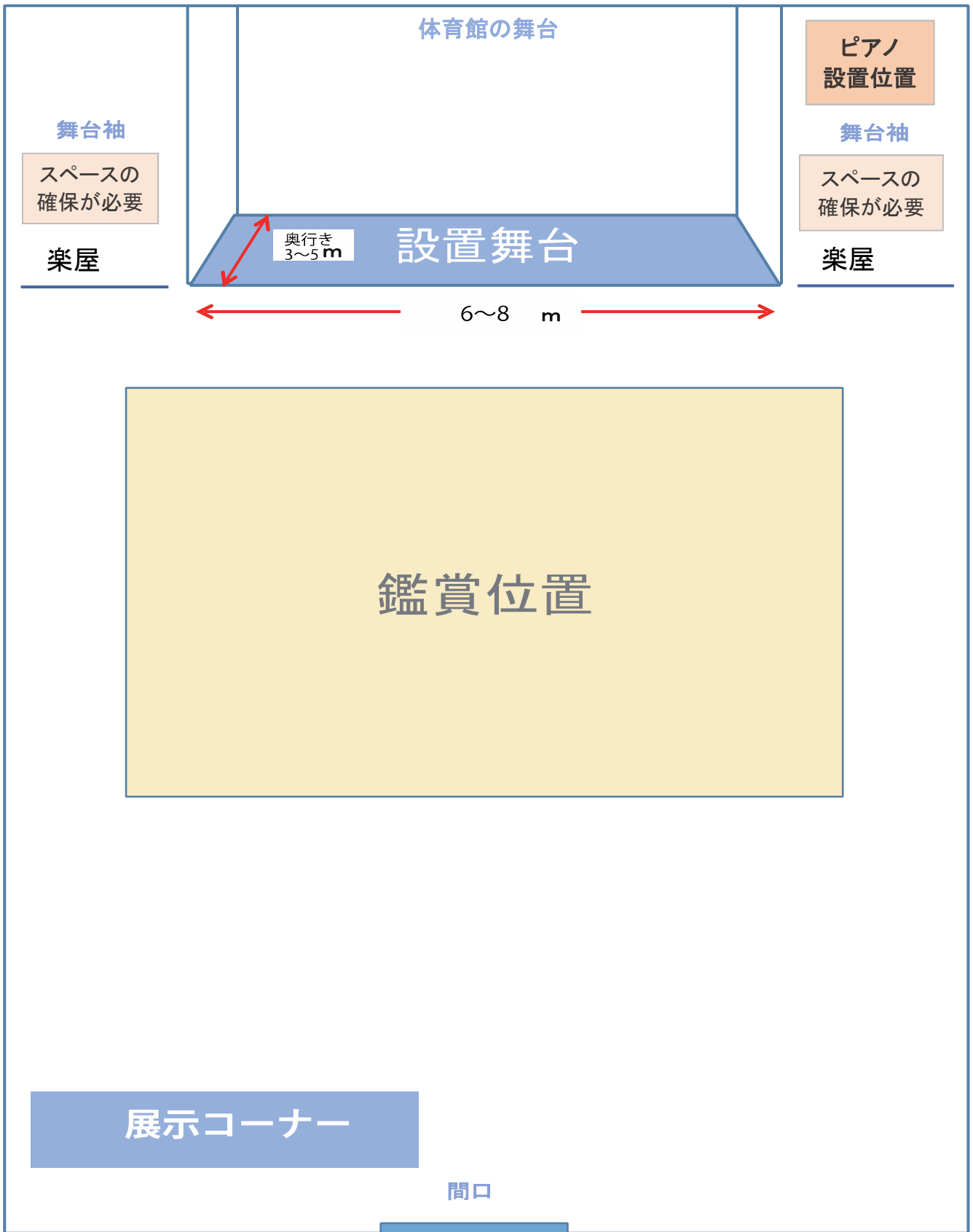
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |                             |    |      |       |            |      |   |    |     |
|-------|-----------------------------|----|------|-------|------------|------|---|----|-----|
| ID    | B27                         | 分野 | 伝統芸能 | 種目    | 演芸         | ブロック | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合) |    |      | 制作団体名 | わんぱく企画有限会社 |      |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談 | 必要条件等                  |    |                |  |                        |            |        |      |  |
|---------|-----|------------------------|----|----------------|--|------------------------|------------|--------|------|--|
| 控室について  | 可   | 必要数*                   | 1室 | 条件             | お昼を食べる部屋を1部屋、あとは体育館舞台袖を楽屋代わりにします。  |                        |            |        |      |  |
| 搬入について  | 不可  | 来校する車両の大きさと台数*         |    |                | バン   | 1台                     | 小型バス       | 1台     |      |  |
|         | 可   | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ |    |                | バン   |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 搬入車両の横づけの要否*           |    |                | 要  |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 横づけができない場合の搬入可能距離*     |    |                | 100m以内   |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 搬入経路の最低条件              |    |                | ・できる限り階段のない経路。・できれば屋根のある経路   |                        |            |        |      |  |
|         |     | 理由                     |    |                | 寄席囲いなどの大きな舞台道具を搬入するため  |                        |            |        |      |  |
|         |     | 設置階の制限*                |    |                | 問わない   |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 搬入間口について<br>単位:メートル    |    | 幅              | 1.5-2m   |                        | 高さ         | 1.5-2m |      |  |
| WSIについて | 可   | 参加可能人数                 |    |                | 1限目 落語ってなんだろう…全員(学年、クラス単位でも可)<br>2限目 わくわく落語教室…クラス・学年単位参加<br>その中から本番で披露6名<br>一番太鼓・追い出し太鼓体験 5名～10名 |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 学年の指定の有無*              |    |                | なし   | 指定学年*                  |            | なし     |      |  |
|         | 可   | 所要時間の目安<br>単位:分        |    |                | 90分～105分   |                        |            |        |      |  |
| 本公演について |     | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 |    |                | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。  |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 鑑賞可能人数                 |    |                | 800名くらいまで  |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 舞台設置場所*                |    |                | 体育館のステージ上  |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル  |    | 幅              | 8m   | 奥行                     | 5m         | 高さ     | 指定無し |  |
|         | 可   |                        |    |                | 舞台袖スペースの確保*  |                        | 要          |        |      |  |
|         | 可   | 体育館の舞台を使用する場合の条件       |    |                | 舞台袖スペースの条件*  |                        | 両袖に荷物が無い状態 |        |      |  |
|         | 可   |                        |    |                | 緞帳*  | 要                      |            | バトン*   | 要    |  |
|         | —   | 遮光(暗幕等)の要否*            |    |                | 不要   | 理由                     |            |        |      |  |
|         | 可   | ピアノの調律・移動の要否           |    | 指定位置へのピアノの移動*  | 要  | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 |            |        |      |  |
|         | —   |                        |    | ピアノの事前調律*      | 不要   |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | フロアを使用する場合の条件          |    | バスケットゴールの設置状況* | 格納されていれば可  |                        |            |        |      |  |
|         | 可   | 公演に必要な電源容量             |    |                | 30A  |                        | ※主幹電源の必要容量 |        |      |  |
| その他特記事項 |     |                        |    |                |  |                        |            |        |      |  |

会場図面(表記単位:メートル)



|                   |   |        |    |        |
|-------------------|---|--------|----|--------|
| 搬入間口について          | 幅 | 1.5-2m | 高さ | 1.5-2m |
| 搬入車両の横づけの要否       |   | 要      |    |        |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 |   | 100m以内 |    |        |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



# 笑 ばんばく 寄席

“わんぱく寄席でわっはっは！”  
 “おなかのそこから大笑い！”  
 “こわいおぼけのお話からゆかいでたのしいお話まで  
 あたまの中で想像をふくらませてつくる世界。”



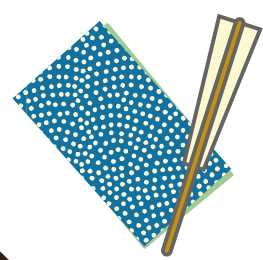
漫才



落語



手品



太神楽  
曲芸



紙切



# 落語の解説

落語を聞くときの決まり事や、寄席にまつわることなどをわかりやすく解説いたします



礼に始まり、礼に終わる……  
まずはおじぎから！



落語家が登場してから、まずはお客様におじぎをします。最初におじぎの仕方をお教えいたします。手で三角をつかってその中に鼻を入れるようにして……

## 体験ワークショップ

### しぐさ

落語では、てぬぐいと扇子だけでさまざまなもの表現します。実際にやってみよう！



### 小断

短い文章でオチがつくかんたんな小断を教わって披露します

### お手本



### 体験しよう！



おまんじゅうを食べるしぐさをしてみよう

# わんぱく寄席

## 落語はこれだけ役に立つ！

### ポイント1

正しくきれいな発音！

落語は師匠から口伝で伝えられてきた口承文字です。

文字には表せられない声の抑揚など、話す言葉のテンポや、話し方の間の取り方で人々を話の世界へと誘います。

低学年の児童にはわかりにくいと心配の先生も、子どもたちが大笑いされている姿に驚かれています。

落語家の話芸を、先生が児童のみなさんにお話する時にお役立ていただければと思います。

### ポイント2

所作や姿勢は礼儀のかがみ

落語家になるためには、厳しい修行の時期が何年間もあります。この修行の期間に字ぶのは、実は『落語』だけではありません。近年日本人がおろそかにしてしまっている

礼儀作法や所作のあり方も落語家は身につけなくてはならないのです。『粋』や『いなせ』と呼ばれる落語家の風情は、実は厳しい修行の賜なのです。

### ポイント3

想像する力が伸びる！

落語とは、よく『想像の芸術だ』と言われる。扇子や手ぬぐいだけで刀やお箸、手紙や本を表現するのです。想像するのはお客さんですから、落語家はお客さんの『想像のナビゲーター』です。

落語家の表現するものが犬だった場合、お客さんの頭の中にはそれぞれ思い思いの犬が登場することでしょう。犬が森に行ったら、またそれぞれの森が想像されます。落語家のナビゲートの中、皆さんの想像力は無限に広がっていくことでしょう。

### ポイント4

笑いは心の健康法！

『笑うことが体にいい』と医学的にも検証されていますが、これは体に限ったことではありません。カラダにもココロにもいいのが『笑い』です。

感想文に『生まれて初めて笑った』という声をいただきます。最近の忙しい子どもたちにとって笑いの時間は、カラダとココロのケアになります。純粋な『笑い』が子どもたちのココロを癒やすことができれば幸いです。



## Ⅷ 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(メディア芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|          |               |
|----------|---------------|
| 【メディア芸術】 | 映像, ○メディアアート等 |
|----------|---------------|

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 申請する区分に, ○を付してください。 | ○A区分 ・ C 区分 |
|---------------------|-------------|

|                           |          |
|---------------------------|----------|
| 複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) | あり ・ ○なし |
|---------------------------|----------|

## 芸術文化団体の概要

|                       |   |              |              |
|-----------------------|---|--------------|--------------|
| ふりがな<br>制作団体名         | わうかぶしがいしゃ<br>ワウ株式会社   |              |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 高橋裕士  |              |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒150-0041<br>東京都渋谷区神南1-14-3   |              |              |
| 電話番号                  | 03-5459-1100  | F A X 番号     | 03-5459-1101 |
| ふりがな<br>公演団体名         | わう<br>WOW   |              |              |
| 代表者職・氏名               | 取締役 工藤薫   |              |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒150-0041<br>東京都渋谷区神南 1-14-3  |              |              |
| 制作団体<br>設立年月          | 1997年 7月  | 団体構成員及び加入条件等 |              |
| 制作団体<br>組織            | 役員<br>代表取締役 高橋裕士<br>取締役 高橋秀明<br>取締役 於保浩介<br>取締役 森脇大輔<br>取締役 工藤薫<br>取締役 中路琢磨 |              |              |
| 事務体制の担当               | 専任 ・ ○他の業務と兼任   | 本事業担当者名      | 稲垣拓也         |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | ① ・ 無   | 経理責任者名       | 星靖浩          |



|                |   |                                 |   |
|----------------|---|---------------------------------|---|
| 制作団体沿革         | <p>1997年4月 株式会社デジタルメディアプロダクツ(代表取締役 高橋秀明)を仙台に設立<br/>Webのシステム&amp;コンテンツの開発事業を行う</p> <p>1999年4月 名称をワウ株式会社に変更。CMを中心とした映像制作およびプロダクション業務を展開</p> <p>2000年4月 ワウ東京ブランチを開設</p> <p>2002年4月 本社を仙台から東京に変更</p> <p>2004年7月 東京本社を銀座から青山に移転</p> <p>2005年4月 代表取締役に高橋裕士が就任</p> <p>2007年10月 東京本社を青山から渋谷に移転</p> <p>2010年9月 仙台支店を現住所に移転</p>   |                                 |   |
| メディア教育における活動実績 | <p><b>BAKERU (WOWによるデジタルアート作品):</b></p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内で展示</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内でBAKERU関連ワークショップ「ペーパークラフトでお面をつくろう」を開催</p> <p>2018年4月 東京鹿踊(岩手郷土芸能)とのコラボレーションによるコンセプト映像を公開</p> <p>2018年4月 青山スパイラル「WOW Visual Design Studio -WOWが動かす世界-」内で展示</p> <p><b>縦系横系合同会社(本プログラム共同実施団体):</b></p> <p>2014年9月 舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点座・高円寺「みんなの作業場」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年2月 日韓芸能交流を目的とした公演「マツリクロッシング」企画にて、国内外の観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年8月 子ども向けの体験型イベント「こどもの夢ひろば”ボレロ”～つながる・集まる・羽ばたく～」企画にて、子ども向けの神楽ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議時に仙台市が市民向けに企画した東北トレジャーズカフェ「るるるる郷土芸能」にて子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 東京豊島区のとしま未来文化財団主催の「日本の民俗舞踊～踊り手が語るその魅力・祈り～」企画にて観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2017年2月 宮城県主催事業「文化芸術の力による心の復興フォーラム」企画にて地域の郷土芸能体験ワークショップを企画</p> <p>2017年5月 岩手県主催事業「訪日外国人向け伝統文化鑑賞・体験プログラム開発事業」にて、外国人向けの各地域プログラムを企画、ワークショップを開催</p> <p>2017年8月 八戸市主催事業「八戸ポータルミュージアムはっちプロジェクトDASHIJIIN」にて教育プログラムを企画、子ども向けのお祭り参加ワークショップを開催</p> <p>2017年12月 和太鼓や神輿の製作を行う宮本卯之助商店との共同企画で「訪日外国人向けの祭り・郷土芸能体験プログラム」にて外国人向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2018年1月 郷土芸能の衣装や道具を支える人の創出、育成を目的とした「カグラツクル」を自主企画、ワークショップを開催</p> <p>2018年3月 日本自然保護協会主催の「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> |                                 |   |
| 特別支援学校における活動実績 | 特になし  |                                 |   |
| 参考資料の有無        | ①   | 申請する企画のチラシパンフレット等               | ① ・ 無   |
|                |   | 申請する企画のDVDまたはWEB公開資料            | ① ・ 無   |
|                |   | ※WEB公開資料有の場合 URL                | <a href="http://bakeru.jp/">http://bakeru.jp/</a> |
|                |   | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード         | ID: 不要 PW: 不要                                     |
|                | Aの提出が困難な場合  | 今回申請する企画に近い活動を記録したDVDまたはWEB公開資料 | 有 ・ 無   |
|                |   | ※WEB公開資料有の場合 URL                |   |
|                |   | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード         |   |

メインプログラム・ワークショップの内容 【公演団体名 WOW】

|              |   |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
|--------------|---|--|--|----------------------|--|----------------------|--|------------------------------|--|----------------------|---|----------------------|
| 対象           | 小学生(低学年・中学年・○高学年) ・ 中学生   |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
| 企画名          | BAKERUー デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界ー  |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
| プログラム全体の流れ   | <p>【プログラムの構成】</p> <table border="1" data-bbox="389 562 1431 819"> <tr> <td></td> <td>ワークショップ1回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ2回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メインプログラム → ワークショップ2回</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>メインプログラム → ワークショップ1回</td> </tr> </table><br><div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>1回目 郷土芸能の鑑賞、レクチャー、および作品体験用のお面の作りワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イントロダクション (10分)<br/>「BAKERU」の映像を上映し、今回参加者が体験する作品のイメージを説明。デジタルアートとは何か、について分かりやすく紹介します。</li> <li>・郷土芸能レクチャー (10分)<br/>お面制作とメインプログラムにつながる、郷土芸能と「変身する」こととのつながりについて芸能の演者でもある公演団体がレクチャーします。</li> <li>・郷土芸能 実演・体験 (20分)<br/>郷土芸能の一例として、岩手県「行山流舞川鹿子踊」の演舞を実演。「変身する」ことをテーマにかぶりものや衣装について解説し、若干名に着付け体験をします。</li> <li>・体験用お面制作ワークショップ (40分)<br/>レクチャーを参考に、「自分が変身するとしたら」をテーマにオリジナルのお面を制作。班などに分かれて制作し、他の参加者に自分のアイデアを共有します。</li> <li>・1回目のまとめ (10分)</li> </ul> </div> <div style="flex: 1;">    </div> </div><br><div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>2回目 「BAKERU」の体験、およびデジタルアート制作の裏側体験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「BAKERU」体験<br/>ワークショップで制作した体験用のお面を使って、デジタルアート作品「BAKERU」を体験。4つの伝統行事をモチーフとした4つのシーンを体験します。</li> <li>・他の参加者の制作したお面の鑑賞 (BAKERU体験時間以外)<br/>他の参加者がどのようなコンセプトで自身のお面をデザインしたかを見て考えます。</li> <li>・デジタルアート制作の裏側体験 (BAKERU体験時間以外)<br/>人の動きや人がお面をつけたことを感知する(センシング)様子を見学。それを通してどのように作品が作られているのかを知ります。</li> </ul> </div> <div style="flex: 1;">   </div> </div> |  |  | ワークショップ1回 → メインプログラム |  | ワークショップ2回 → メインプログラム |  | ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ |  | メインプログラム → ワークショップ2回 | ○ | メインプログラム → ワークショップ1回 |
|              | ワークショップ1回 → メインプログラム  |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
|              | ワークショップ2回 → メインプログラム  |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
|              | ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ  |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
|              | メインプログラム → ワークショップ2回  |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
| ○            | メインプログラム → ワークショップ1回  |  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
| 児童・生徒の参加上限人数 | メインプログラム(1回目)   | 制限なし(ただし、体験お面づくりワークショップについては2日目を体験しきれない合計人数(最大80名程度)、郷土芸能の実演鑑賞については制限なし) |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |
|              | ワークショップ(2回目)  | 80名程度(オーバーする場合は要相談)  |  |                      |  |                      |  |                              |  |                      |   |                      |



|                            |  |                     |                      |
|----------------------------|--|---------------------|----------------------|
| <p>メインプログラムの主たる指導者</p>     | <p>工藤薫(ディレクター),<br/>佐藤宏樹(テクニカルディレクター) アシスタント(エンジニア、デザイナー)2名,<br/>稲垣拓也(プロデューサー),<br/>山田雅也(ワークショップコーディネーター) アシスタント4名(演舞演者を兼ねる)</p>   |                     |                      |
| <p>スタッフ人数<br/>(1公演あたり)</p> | <p>計10名</p>  | <p>機材等<br/>運搬方法</p> | <p>バン3台程度による機材搬入</p> |
| <p>企画のねらい</p>              | <p style="text-align: center;"><b>身近に存在する郷土芸能の豊かな世界観に、デジタルアートを通じて気づく</b></p> <p>長い時間を受け継がれてきた郷土芸能には、自然、人の生き方、願いなど、大変豊かな世界観が内包されています。しかし今日を生きる子供たちにとってそれらの行事の認識は多く「夏や冬にやっているよくわからないもの」といったものにとどまっています。デジタルアート作品『BAKERU』は東北の4つの郷土芸能を、様々なリサーチを通してデジタルアートに昇華させた作品です。お面をつけ、体を動かすインタラクションでそれぞれの芸能の世界観を体験することができます。2日間の本公演はデジタルアートという、普段とは大きく違った体験を通して身近に存在する伝統に触れることで体験者の中に気づきを生み、それが同時に独自性のある創造力の糧を子供たちに提供する効果をねらっています。</p> <p>▶ デジタルアート作品 『BAKERU』 について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※添付資料と下記URLの作品アーカイブ映像をご覧ください。<br/><a href="https://vimeo.com/219637092">https://vimeo.com/219637092</a></p> </div> <p>BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能(なまはげ、早乙女、鹿踊、加勢鳥)をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って顔にお面をつけると自分の姿が別の何者かへと変化します。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を楽しみながら体験する試みです。東北の風土が生んだ伝統文化を現代的な視点で見つめ直し、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いが作品に込められています。</p> <p>▶ 1回目のねらい</p> <p>1回目には、①郷土芸能のレクチャーと実演、②体験用のお面制作 があります。</p> <p>①では、郷土芸能について、有史以前から続くお面を使って「<b>変身する</b>」という行為をテーマにレクチャーをした後、東京を拠点とした「東京鹿踊」による<b>演舞をその例として鑑賞</b>します。この演舞は、実施場所に特有の芸能団体が存在する場合はその団体と入れ替えることができます。</p> <p>②では、「自分が変身するとしたら」をテーマにBAKERU体験用のお面を参加者がカスタマイズします。参加者が主体的に「願い」と「それに対応するデザイン」を制作することで、<b>芸能において衣装が果たす役割を深く学ぶ</b>ことができます。</p> <p>▶ 2回目のねらい</p> <p>2日目には、①BAKERU体験、②デジタルアート制作の裏側体験 があります。</p> <p>①では、体育館に設置した<b>横幅9mの大スクリーンを利用してBAKERUを体験</b>します(スクリーンに2画面を投影)。ここでは1回目に制作した参加者のオリジナル面を利用します。作品には<b>実施地域に特徴的な芸能がある場合、それをモチーフにしたシーンが追加</b>され、より身近な芸能を意識する機会となります。</p> <p>②では、BAKERUの裏側の<b>コンピュータプログラムの動きをやさしくレクチャーし、そのはたらきを体験</b>します。人の動きやお面をつけたことを感知する(センシング)技術を見ることで、このデジタルアートの現代的な側面も学ぶことができます。</p> <p>①と②は平行して行うことで、一度にメインプログラムを体験する人数を増やすことができます。</p> <p>▶ まとめレクチャーについて</p> <p>メインプログラム体験後に本プログラムのまとめを行います。<b>実施場所付近の郷土芸能が存在し、それが撮影可能であれば事前に公演団体でフィールドワークを行ってその内容を把握し、撮影編集したものをここで上映</b>します。このまとめを通して、参加者は身近にある伝統を強く意識できる機会を提供します。</p> |                     |                      |



BAKERU



公演団体による過去のワークショップの様子



作品のメイキング画面

【公演団体名 WOW】

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等</p>             | <p>【メインプログラム】(1回目)</p> <p>▶ <b>会場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館相当の空間 …… 1室<br/>(幅10m x 15m x 高さ6m 以上)<br/>郷土芸能レクチャーと演舞鑑賞に利用</li> <li>・教室 …… 参加クラス分<br/>お面制作WSに利用</li> </ul> <p>▶ <b>準備物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画材 …… 参加人数分<br/>通常図工等で使用しているはさみや<br/>絵の具に加え、マジック、色紙など</li> </ul>   | <p>【ワークショップ】(2回目)</p> <p>▶ <b>会場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館相当の空間 …… 1室<br/>(幅10m x 15m x 高さ6m 以上)<br/>BAKERUの体験に利用</li> <li>・多目的室相当の空間 …… 1室<br/>(幅6m x 8m x 高さ3m 以上)<br/>メイキング体験に利用</li> <li>・設置時間 …… 前日夕方から</li> </ul> <p>▶ <b>準備物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的大きなディスプレイ<br/>もしくはテレビやプロジェクター<br/>メイキング紹介に利用</li> </ul> |
| <p>当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安</p>                 | <p>【メインプログラム】(1回目)</p> <p>前日までに機材搬入、また当日もしくは事前にワークショップの打ち合わせを行います。</p> <p>開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <p>1時限目 (45分想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イントロダクション (10分)</li> <li>郷土芸能レクチャー (10分)</li> <li>郷土芸能実演・体験 (20分)</li> <li>ワークショップのイントロダクション (5分)</li> </ul> <p>休み時間</p> <p>休憩</p> <p>2時限目 (45分想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験用お面制作(40分)</li> <li>1回目のまとめ(5分)</li> </ul> | <p>【ワークショップ】(2回目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入を行います。</p> <p>開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <p>1時限目 (45分想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BAKERU体験 (20分)</li> <li>参加者の制作お面鑑賞 (10分)</li> <li>本企画のまとめ (15分)</li> </ul> <p>休み時間</p> <p>休憩</p> <p>2時限目 (45分想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BAKERUメイキング紹介</li> </ul> <p>クラス数により入れ替え</p>                               |
| <p>※採択決定後、採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。</p> |  |  |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p>                     |  |  |

提出書類④

申請する公演演目のWEB情報

# BAKERU

**BAKERU ポータルサイト**

BAKERUのコンセプトや展示歴などをまとめたウェブサイト

<http://bakeru.jp/>

**BAKERU**

<https://vimeo.com/219637092>

**BAKERU Concept Movie**

「東京鹿踊」とのコラボレーションによるコンセプト映像

<https://vimeo.com/263846520>

**ハレとケ展**

BAKERUを初公開したオリジナル企画展。ペーパークラフトのお面を制作するワークショップを開催。

<https://vimeo.com/219636641>

**【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】**

|       |     |    |        |       |          |      |   |    |     |
|-------|-----|----|--------|-------|----------|------|---|----|-----|
| ID    | B28 | 分野 | メディア芸術 | 種目    | メディアアート等 | ブロック | B | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | WOW |    |        | 制作団体名 | ワウ株式会社   |      |   |    |     |

**① 会場条件等についての確認**

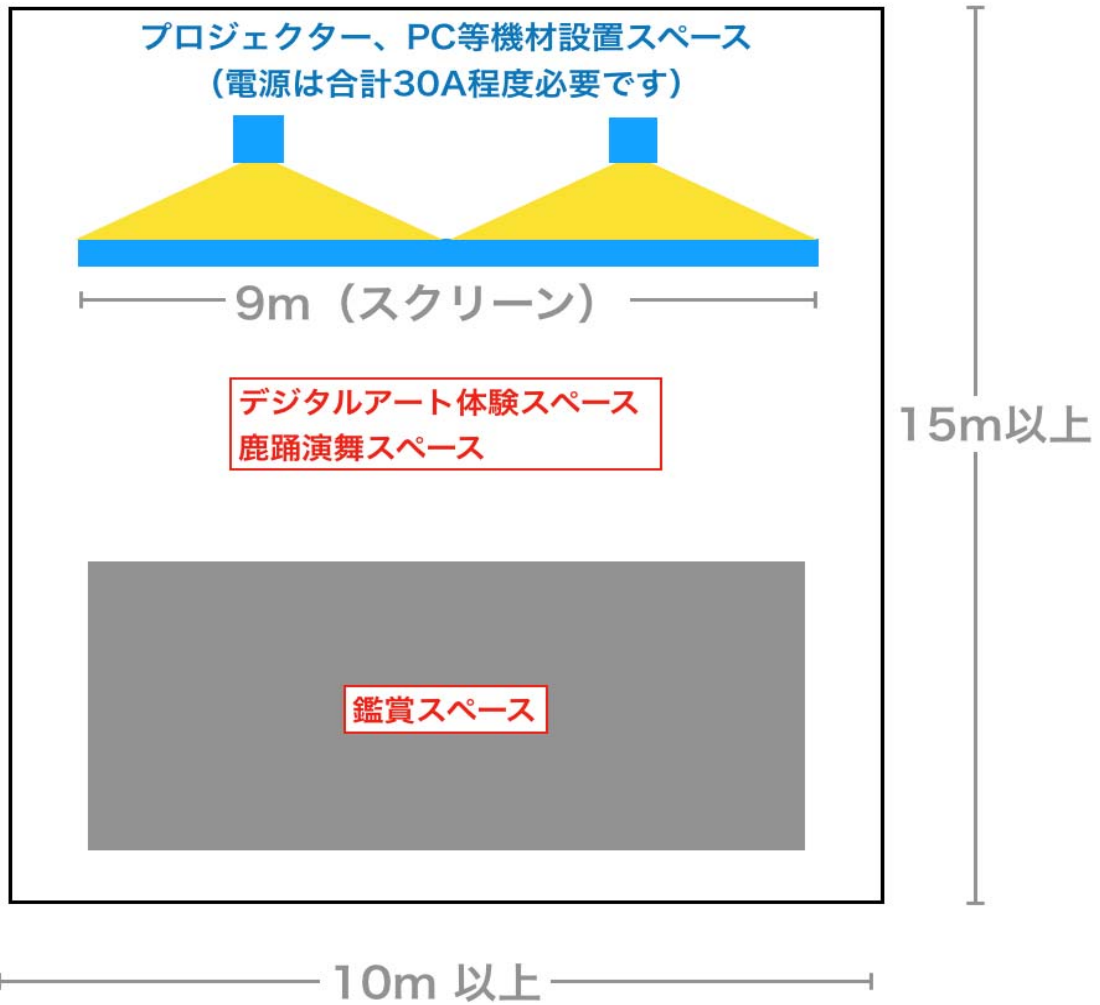
| 項目           | 応相談 | 必要条件等                          |    |       |   |            |                               |      |  |
|--------------|-----|--------------------------------|----|-------|---|------------|-------------------------------|------|--|
| 控室について       | 可   | 必要数 *                          | 2室 | 条件    | 機材置き鍵部屋1室と、控え室1室として。  |            |                               |      |  |
| 機材の搬入について    | 可   | 来校する車両の大きさと台数 *                |    |       | バン  | 3台         |                               |      |  |
|              | 可   | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ         |    |       | ハイエース   |            |                               |      |  |
|              | 可   | 搬入車両の横づけの要否 *                  |    |       | 不要  |            |                               |      |  |
|              | 可   | 横づけができない場合の搬入可能距離 *            |    |       | 問わない  |            |                               |      |  |
|              | 可   | 搬入経路の最低条件                      |    |       | 雨に濡れない経路を希望します。   |            |                               |      |  |
|              | 理由  | コンピュータ類が多いため                   |    |       |   |            |                               |      |  |
|              | 可   | 設置階の制限 *                       |    |       | 問わない  |            |                               |      |  |
|              | 可   | 搬入間口について<br>単位:メートル            | 幅  | 1.8m  | 高さ  | 2m         |                               |      |  |
| メインプログラムについて | 可   | 参加可能人数                         |    |       | 制限なし(ただし、体験お面づくりワークショップについては2日目を体験しきれる合計人数(最大80名程度)、郷土芸能の実演鑑賞については制限なし) |            |                               |      |  |
|              | 可   | 学年の指定の有無 *                     |    |       | あり  | 指定学年 *     | 高学年                           |      |  |
|              | 可   | 実施場所                           |    |       | 体育館   |            |                               |      |  |
|              | 可   | 実施に必要な広さ<br>単位:メートル            | 幅  | 10m以上 | 奥行  | 15m以上      | 高さ                            | 6m以上 |  |
|              | 可   | (体育館等を使用する場合)遮光(暗幕等)の要否 *      |    |       | 要   | 理由         | スクリーンへ映像投影をするため               |      |  |
|              | 可   | (体育館等を使用する場合)ピアノの格納            |    |       | スクリーンの設置に当たり、よけてあれば可  |            |                               |      |  |
|              | 可   | (体育館フロアを使用する場合)バスケットゴールの設置状況 * |    |       | 格納されていれば可   |            |                               |      |  |
|              | 不可  | 公演に必要な電源容量                     |    |       | 15A   | ※主幹電源の必要容量 |                               |      |  |
|              | 理由  | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間         |    |       | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。                            |            |                               |      |  |
|              | 可   | 学校側に用意していただきたい準備物              |    |       | お面制作のワークショップで、はさみやマジックなど、通常図工で使うような文具類を協力していただきたいです。詳細は決定後、打ち合わせます。     |            |                               |      |  |
| WSIについて      | 可   | 参加可能人数                         |    |       | 80名程度   |            |                               |      |  |
|              | 可   | 学年の指定の有無 *                     |    |       | あり  | 指定学年 *     | 高学年                           |      |  |
|              | 可   | 実施場所(条件)                       |    |       | 体育館   |            |                               |      |  |
|              | 可   | 実施に必要な広さ<br>単位:メートル            | 幅  | 10m以上 | 奥行  | 15m以上      | 高さ                            | 6m以上 |  |
|              | 可   | (体育館等を使用する場合)遮光(暗幕等)の要否 *      |    |       | 要   | 理由         | スクリーンへ映像投影をするため。遮光程度については相談可能 |      |  |
|              | 可   | (体育館等を使用する場合)ピアノの格納            |    |       | スクリーンの設置に当たり、よけてあれば可  |            |                               |      |  |
|              | 可   | (体育館フロアを使用する場合)バスケットゴールの設置状況 * |    |       | 格納されていれば可   |            |                               |      |  |
|              | 不可  | 公演に必要な電源容量                     |    |       | 30A   | ※主幹電源の必要容量 |                               |      |  |
|              | 不可  | 所要時間の目安                        |    |       | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。                            |            |                               |      |  |
|              | 可   | 学校側に用意していただきたい準備物              |    |       | 電源は、500W程度のプロジェクターとPCを合計4台+スピーカーなどを使うため、30A程度必要です。(電源系統が別れることは可能)       |            |                               |      |  |



| その他特記事項 |  |
|---------|--|
| —       | メインプログラムが1日目で、郷土芸能団体による演舞と、スクリーンでのレクチャーお面作りです。 |
| —       | メインプログラムは前半は体育館、後半のお面作りは各教室でおこないたいです。          |
|         | WSが2日目で、BAKERUのメディア芸術作品の体験で、大型スクリーンに映像を投影します。  |

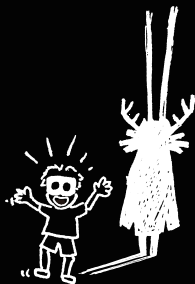
会場図面

天井高さ 5m以上 (スクリーン高さ5m)



# BAKERU ばける

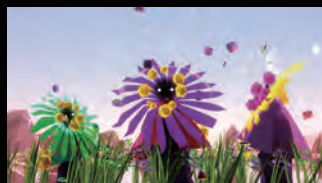
その不思議な力を、私たちは忘れかけていた。  
お面を着けて、自分以外の存在へと“化ける”  
神の使いとなって、人々に恵みを分け与える。  
自然への畏怖が生んだ、“ハレとケ”の文化  
私たちは今何を感じ、未来を紡いでいくのだろうか。



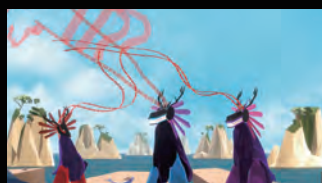
なまはげ Namahage



早乙女 Saotome



鹿踊 Shishiodori



東北に古くから伝わる祭りや伝統行事をモチーフにした体験型の映像インスタレーション作品。スクリーンの前にお面を顔につけると、自分の姿がいつしか自分ではない何者かに変化します。現実から空想の世界へと入り込み、その姿で様々な体験をすることができます。作品の対象となる東北の伝統行事の中で特にユニークなのが、1年の決まった時期になると各地に現れる“神の使い”たちの姿。三陸地方に伝わる「鹿踊(ししおどり)」や、簀(みの)をかぶった若者に水をかける「加勢鳥(かせどり)」など、人々はお面や衣装を身に着けることで、豊作や無病息災をもたらす存在へと変身するのです。

この作品では「なまはげ」「鹿踊」「加勢鳥」「早乙女」の4種類の伝統行事をモチーフにし、WOWの解釈を加えてビジュアルライズしました。スクリーンの前でお面を付けると、自分のシルエットがそれぞれの姿に変化して、その行事が人々にもたらす恵みがアニメーションで映し出されます。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を、楽しみながら体験する試み。東北の風土が生んだ伝統文化に、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いを込めた作品です。



加勢鳥 Kasedori

**WOW** <http://www.w0w.co.jp/> <http://wowlab.net/>

東京、仙台、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CM やコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。

実際の作品や鹿踊の様子はこちらで動画でご覧いただけます。<http://bakeru.jp>

# BAKERU

## デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界

### 1日目 郷土芸能の学びと作品体験のためのお面作り

#### ▶ 郷土芸能 実演・体験

”東京鹿踊”による演舞を鑑賞。  
お祭りの意味や衣装について解説し、着付け体験をします。



#### ▶ 体験用お面制作ワークショップ

「自分が変身するとしたら」をテーマに、デジタルアート作品  
体験のためのお面を自分でデザインします。



### 2日目 技術の裏側の勉強と『BAKERU』の体験

#### ▶ デジタルアート技術の裏側の紹介

BAKERUではどうやって人を認識して、お面をつけて変身する演出を  
実現しているのか？社会での使用例と関連づけながらやさしくお話しします。



#### ▶ BAKERU の体験

ワークショップで作った体験用のお面を使って、デジタルアート作品  
BAKERUを体験します。



## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 【音 楽】  | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇          |
| 【演 劇】  | 児童劇, 演劇, ミュージカル           |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊                 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |   |              |
|-----------------------|--|---|--------------|
| ふりがな                  | ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこ  |   |              |
| 制作団体名                 | 有限会社 劇団風の子   |   |              |
| 代表者職・氏名               | 代表取締役 大潤弘幸   |   |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒192-0152<br>東京都八王子市美山町 1320-1<br>(最寄り駅:高尾、バス亭:縄切)                                   |   |              |
| 電話番号                  | 042-652-1001   | F A X 番号  | 042-652-1013 |
| ふりがな                  | げきだんかぜのこ   |   |              |
| 公演団体名                 | 劇団風の子  |   |              |
| 代表者職・氏名               | 代表 大潤弘幸  |   |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒192-0152<br>東京都八王子市美山町 1320-1<br>(最寄り駅:高尾、バス亭:縄切)                                   |   |              |
| 制作団体<br>設立年月          | 1950年7月  |   |              |
| 制作団体<br>組織            | 役 職 員  | 団体構成員及び加入条件等  |              |
|                       | 代表取締役 大潤弘幸<br>事務局長 高垣信子<br>創造部長 浅野井優子<br>制作部長 鴛渕貴士<br>風の子中四国事務所長 嶋田卓二<br>風の子東北代表 澤田修 | 俳優 21名、制作 11名、文芸・演出 4名<br>加入条件<br>・劇団風の子国際児童演劇研究所卒業および一定の経験者<br>・18才以上の健康な方 |              |



|                   |   |         |       |
|-------------------|---|---------|-------|
| 事務体制の担当           | <input checked="" type="radio"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 高垣信子  |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無        | 経理責任者名  | 西川恵美子 |

|                    |  |   |  |
|--------------------|--|---|--|
| 制作団体沿革             | <p>1950年7月、子どもの為の専門劇団として創立。以来『こどものいるとどこへでも』を合言葉に、全国を巡演。</p> <p>1983年より7つの地域劇団風の子を発足させる。劇団風の子北海道、東北、中部、関西、九州がそれぞれ法人独立し、現在劇団風の子、風の子中四国事務所が有限会社劇団風の子として活動している。</p>  |   |  |
| 学校等における<br>公演実績    | <p>2017年度公演実績</p> <p>小学校公演:4作品 301公演<br/>「スクラム☆ガッシン」66公演、「風の子パズール」19公演、「陽気なハンス」173公演、「くまの子ウーフ」29公演他</p> <p>幼稚園・保育園・子ども劇場その他の公演:8作品 734公演<br/>「風の一座」100公演、「なんかよーかい」45公演、「小さい劇場 A」60公演、「小さい劇場 B」44公演、「小さい劇場 C」211公演、「おはなしちんどん」49公演、「黄金の実」97公演、「おまつりぴーひゃらどん」10公演他</p> |   |  |
| 特別支援学校に<br>おける公演実績 | <p>都立南大沢学園、岡山県新見市健康の森学園、宮崎県日南市くろしお支援学校、福島県会津若松市特別支援学校、広島県庄原市特別支援学校、埼玉県日高市特別支援学校、静岡県伊豆の国市東部特別支援学校</p>   |   |  |
| 参考資料の<br>有無        | A  | 申請する演目のチラシパンフレット等                           | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
|                    |  | 申請する演目の DVD または WEB 公開資料                    | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
|                    |  | ※公開資料有の場合 URL                               |  |
|                    | Aの<br>提出が<br>困難な<br>場合   | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード                   | ID:<br>PW:                             |
|                    |  | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 | 有 ・ 無                                  |
|                    |  | ※公開資料有の場合 URL                               |  |
|                    | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード  | ID:<br>PW:                                  |  |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子】

|        |  |  |                                |
|--------|--|--|--------------------------------|
| 対象     | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生   |  |                                |
| 企画名    | 「風の子バザール」を通して、世界の人たちの文化と生活を楽しもう  |  |                                |
| 本公演演目  | 「風の子バザール」<br>構成演出:藤井郁夫<br>振付:吉岡陽子<br>舞台美術デザイン:有賀二郎<br>音楽:岸功・菊池大成<br>衣裳:小峯三奈<br>制作:浅野井優子  |  |                                |
|        | 公演時間( 70 分)  |  |                                |
| 著作権    | 制作団体が所有  | <input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる | 有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要   | <みどころ><br>この作品は、とある国の街角の市場で繰り広げられる物語です。さまざまな物が売られ、即興詩人や手品師、辻音楽師などがおり、そこでは、いろいろな国の民話が披露されます。私たちはこの企画を通して子どもたちに、世界各国、各民族の生活と風土の香り高いお話や、歌、踊りなどに触れることで、どこの国の人も、どの民族も、自分たちと同じような大切な文化と生活を持っていることを伝えたいと思っています。<br><あらすじ><br>舞台はとある国のバザール(市場)。3 人の売り子たちが、いろいろな国の民話を披露しあう。<br>Ⅰ イタリアの民話から「ギヤッコと豆」:少年ギヤッコは「豆をたべたねこをたべた犬をたべた豚をたべた馬」を手に入れる。言葉あそびとマイムと笑いのおおらかな作品。<br>Ⅱ ミャンマーの民話から「ヒヨコと大ネコ」:大ネコにつかまったヒヨコは、「たすけておくれよ、おかしをあげるから」と約束をしますが、おかしを一人で全部たべてしまいました。さあたいへん。市場に売られているいろいろなものを使って演じます。<br>Ⅲ ロシアの民話から「ふえふきイワーヌシカ」:イワーヌシカは笛が好き。彼が楽しい曲を吹くと、町じゅうの人が踊りだし、悲しい曲を吹くと誰もが泣かずにはいられません。イワーヌシカの奏でる笛の音が、欲張りな羊飼いの夫婦をこらしめるお話。次から次へ大小たくさんの笛が出てきます。 |  |                                |
| 演目選択理由 | 内包する 3 つの話の舞台は、バザール(市場)で売られている道具や布、帽子などを使って繰り広げられます。なんでもない布などが目の前で衣装に早変わりしたり、俳優のパントマイムでいろいろなものが見えてきたり、子どもたちは空想力を発揮して楽しめます。<br>小規模作品ならではの舞台と客席の近さで、俳優は子どもたちがバザールに買い物に来たお客さんという設定で、声をかけながら進行します。そこには楽しいコミュニケーションが生まれます。<br>世界の民話に触れることで、子どもたちが自分と異なる文化を持つ人たちを知り、理解する能力を養う一助になればと思います。国際社会への興味と理解が深まり、やがて世界に羽ばたく人間になることを望みます。   |  |                                |

|                              |  |                     |   |
|------------------------------|--|---------------------|---|
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>    | <p>①公演の中で、お話とお話の間に外国の民族衣装を紹介する場面があります。インドのサリー、アフリカのカンガを複数の子どもたちに身に着けていただき、民族舞踊を踊ります。<br/>         ②公演の最後に、「歩いていたら」という歌があります。その中に「まーるい地球を歩いていたら前からだれかがやってきた。おはようって言ったら、〇〇〇〇だってさ～」という歌詞が繰り返され、〇〇〇〇にはいろいろな国の挨拶や、動物の鳴き声などを入れていきます。そこを事前に子どもたちにグループやクラスで自由に考えておいていただき、役者が歌いながら側に来たら立ち上がって身体表現をまじえて挨拶をし、一緒に歌います。</p> |                     |   |
| <p>出演者</p>                   | <p>羽生田正明、金田拓、中瀬かほ</p>  |                     |   |
| <p>公演出演予定者数<br/>(1公演あたり)</p> | <p>出演者： 3名<br/>         スタッフ： 1名<br/>         合計： 4名</p>   | <p>機材等<br/>運搬方法</p> | <p>積載量 1 t<br/>         車長 4.69 m<br/>         台数 1 台</p> |

|                                      |  |                            |             |             |             |       |
|--------------------------------------|--|----------------------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 公演に当たっての会場条件                         | 実施条件等確認書①をご確認ください。   |                            |             |             |             |       |
| 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安              | 前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 2時間 45分程度 )  |                            |             |             |             |       |
|                                      | 到着   | 仕込み/リハーサル                  | 本公演         | 内休憩         | 撤去          | 退出    |
|                                      | 8:00   | 8:00～10:45/<br>11:00～12:00 | 13:30～14:40 | 0分          | 15:00～16:30 | 16:40 |
|                                      | 当日ワークショップを実施する場合   |                            |             |             |             |       |
| 到着                                   | 仕込み/ワークショップとリハーサル  | 本公演                        | 内休憩         | 撤去          | 退出          |       |
| 7:00                                 | 7:00～9:45/<br>10:00～12:00  | 13:30～14:40                | 0分          | 15:00～16:30 | 16:40       |       |
| ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 |  |                            |             |             |             |       |
| 児童・生徒の参加可能人数                         | ワークショップ  | 20人(全校生徒の人数による。少なければ全員も可能) |             |             |             |       |
|                                      | 本公演  | ①20人、②全員                   |             |             |             |       |
| ワークショップ実施形態及び内容                      | <p>事前に各学校に作品全体のわかるDVDとCDおよび楽譜、ワークショップの内容、目的、準備してもらうもの等を記したものを送ります。各学校で参加学年を決めていただきます。②のグループ分けは事前に行ってください。</p> <p>①インドと東アフリカの民族衣装の着付けと民族舞踊を練習します。</p> <p>②グループに分かれ、それぞれ相談して国や動物、言葉や鳴き声を決め、その特徴を話し合いながらいろいろ表現し、「歩いていたら」の歌を歌います。</p>  |                            |             |             |             |       |
| ワークショップ実施形態の意図                       | <p>ドラマの内容を観客も出演者も一緒にハラハラしたり応援したり、喜びを共有したりすることが、生の演劇の醍醐味だと思います。この共感をつくりつつ、自らも表現してみることが目的です。</p> <p>ワークショップでは本番を楽しみに待つ、という気持ちを盛り上げるためにも、呼吸をあわせて踊ること、表現することの楽しさを伝えたいと思います。</p> <p>自分たちで考えた挨拶、動物の鳴き声や動きを友だちと一緒に楽しんで表現し、自分たちが芝居のエンディングを盛り上げる喜びを感じていただきたいと思います。</p> <p>リズムに乗って体を動かしながら友だちのリズムを感じ、お互いを感じあいながら表現することの喜びを体験してほしいです。</p> |                            |             |             |             |       |
| 特別支援学校での実施における工夫点                    | <p>①民族衣装の場面では衣装を着ていただきます。</p> <p>②「歩いていたら」では、一緒に歌ったり、からだをゆすったり、その子、その子の可能な方法で参加することができます。リズムにのって身体を動かすのも楽しいです。みんな一緒に楽しさ、嬉しさを共有することが目的です。</p>   |                            |             |             |             |       |



|                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 実施可能時期<br>◇はB区分申請<br>団体のみ | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。 |
|---------------------------|------------------------|

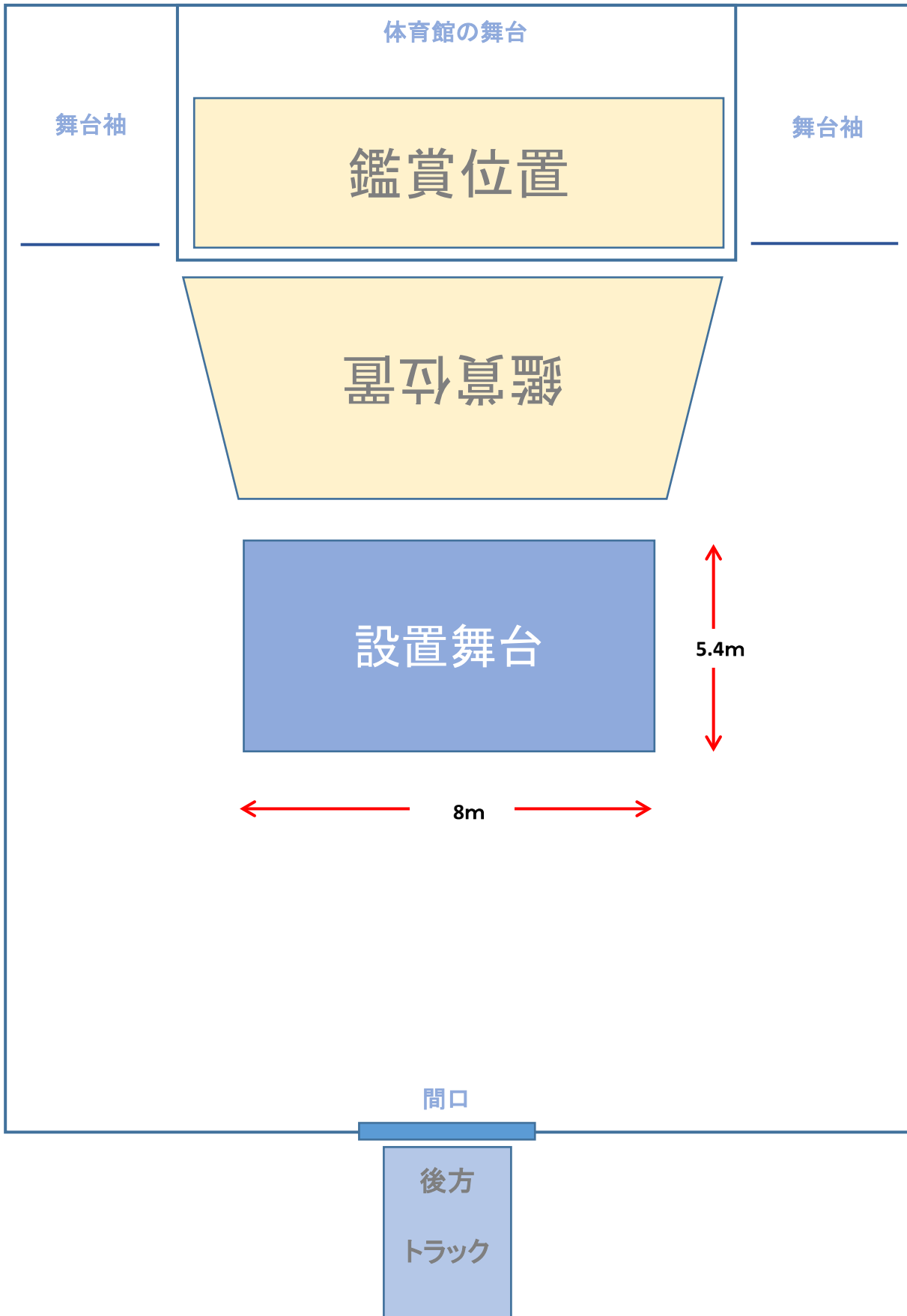
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |       |    |    |       |            |      |     |    |     |
|-------|-------|----|----|-------|------------|------|-----|----|-----|
| ID    | K120  | 分野 | 演劇 | 種目    | 児童劇        | ブロック | A・B | 区分 | C区分 |
| 公演団体名 | 劇団風の子 |    |    | 制作団体名 | 有限会社 劇団風の子 |      |     |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目      | 応相談     | 必要条件等                  |    |                 |   |                        |            |       |      |
|---------|---------|------------------------|----|-----------------|---|------------------------|------------|-------|------|
| 控室について  | 可       | 必要数 *                  | 1室 | 条件              | 子どもが通る場所の場合、カーテンがある部屋が希望です。                 |                        |            |       |      |
| 搬入について  | 不可      | 来校する車両の大きさと台数 *        |    |                 | バン  | 1台                     |            |       |      |
|         | 不可      | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ |    |                 | バン  |                        |            |       |      |
|         | 可       | 搬入車両の横づけの要否 *          |    |                 | 要   |                        |            |       |      |
|         | 可       | 横づけができない場合の搬入可能距離 *    |    |                 | 10m以内                                       |                        |            |       |      |
|         | 可       | 搬入経路の最低条件              |    |                 | ・入り口、経路、階段とも、幅1.8m以上が望ましい<br>・屋根のある経路が望ましい  |                        |            |       |      |
|         |         | 理由                     |    |                 | 舞台大道具の搬入をするため                               |                        |            |       |      |
|         | 可       | 設置階の制限 *               |    |                 | エレベーターの設置等があれば3階以上も可                        |                        |            |       |      |
|         | 可       | 搬入間口について<br>単位:メートル    |    | 幅               | 1.8m  | 高さ                     | 2.2m       |       |      |
| WSについて  | 可       | 参加可能人数                 |    |                 | 20人   |                        |            |       |      |
|         | 可       | 学年の指定の有無 *             |    |                 | なし  | 指定学年 *                 | なし         |       |      |
|         | 可       | 所要時間の目安<br>単位:分        |    |                 | 70分   |                        |            |       |      |
| 本公演について |         | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 |    |                 | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 |                        |            |       |      |
|         | 可       | 鑑賞可能人数                 |    |                 | 200人  |                        |            |       |      |
|         | 可       | 舞台設置場所 *               |    |                 | フロア   |                        |            |       |      |
|         | 可       | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル  |    | 幅               | 8m  | 奥行                     | 5.4m       | 高さ    | 指定なし |
|         | —       | 体育館の舞台を使用する場合の条件       |    |                 | 舞台袖スペースの確保 *                                |                        |            | 不要    |      |
|         | —       |                        |    |                 | 舞台袖スペースの条件 *                                |                        |            |       |      |
|         | —       |                        |    |                 | 緞帳 *  | 不要                     |            | バトン * | 不要   |
|         | —       | 遮光(暗幕等)の要否 *           |    |                 | 不要  | 理由                     |            |       |      |
|         | —       | ピアノの調律・移動の要否           |    | 指定位置へのピアノの移動 *  | 不要  | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 |            |       |      |
|         | —       |                        |    | ピアノの事前調律 *      |   | 不要                     |            |       |      |
|         | —       | フロアを使用する場合の条件          |    | バスケットゴールの設置状況 * |   | 格納されていれば可              |            |       |      |
|         | 可       | 公演に必要な電源容量             |    |                 | 20A   |                        | ※主幹電源の必要容量 |       |      |
|         | その他特記事項 |                        |    |                 |   |                        |            |       |      |
|         |         |                        |    |                 |   |                        |            |       |      |
|         |         |                        |    |                 |   |                        |            |       |      |
|         |         |                        |    |                 |   |                        |            |       |      |

会場図面(表記単位:メートル)



|                   |   |      |    |      |
|-------------------|---|------|----|------|
| 搬入間口について          | 幅 | 1.8m | 高さ | 2.2m |
| 搬入車両の横づけの要否       |   | 要    |    |      |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 |   | 10m  |    |      |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。





劇団風の子

# 風の子 バザール

絵／伊藤瑞穂

構成演出／藤井郁夫 美術／有賀二郎 衣裳／小峯三奈  
音楽／岸功・菊池大成 振付／吉岡陽子 制作／浅野井優子





**風の子バザール**  
 世界のお話でござい！  
 珍しい話 不思議な話 恐ろしい話 愉快な話

●バザールって？

バザールとは、日本語で「市場」という意味で、野菜や果物や魚や肉や衣類やおもちゃが売られていたり、即興詩人や手品師、ヘビ使いや辻音楽師などがいたりします。

世界中、人間生活のあるところ、かならず市場があり、そこにはその国々の人たちの生活がいきづいています。民衆の喜び、悲しみ、楽しさ、苦しさ、いろんな思いがまじりあいながら、活気にあふれています。そこは世界を知り、さまざまな国や民族の生活や文化を知り合う、かけがえのない貴重な場でもあるのです。

じいっと耳をすますと、雑踏の中から、世界の珍しい話、ふしぎな話、恐ろしい話、愉快な話が聞こえてきます。

さて、「風の子バザール」からは、どんなお話が聞こえてくるのでしょうか……。



●見てくれた方からの声

《子どもからの声》

▼豆を食べたネコを食べたイヌを食べたブタを食べたウマ、がおもしろかったです。

▼地球上に192の国があることを初めて知りました。

▼いろんな国の話がでてきて、音楽も入って、その楽器がその国のすばらしいもので、すごいなあと思いました。

▼とってもおもしろい話もあったし、ふしぎに思う話もありました。世界にはいろんな話があったらいいなあ。

《大人からの声》

▼シンプルな舞台装置、生の声と身の回りにあるもので、こんなに気持ちが伝わってくるなんて。私の回りのみんなにも見せたいな。

▼ヒヨコと親鳥のやりとりのおもしろかったこと。子ども以上に大笑いしてしまいました。

▼とってもすてきな旅をしたみたいです。子どもの反応もよく一緒に見られてとてもよかった。

▼いろんな国の民話をじっくり楽しめました。民族色豊かな小道具や楽器、そして3人の息のあったユーモラスな演技にも魅せられました。

●おもな内容

- イタリアの民話 《ギアッコと豆》 「世界の民話」(実業之日本社刊)
- ミャンマーの民話 《ヒヨコと大ネコ》 「世界の民話」(実業之日本社刊)
- ロシアの民話 《笛ふきイワーヌシカ》 (ミハエル・プラトフ作、偕成社刊)





## Ⅷ 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(メディア芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

|          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 【メディア芸術】 | 映像, <input type="checkbox"/> メディアアート等 |
|----------|---------------------------------------|

|                     |   |
|---------------------|---|
| 申請する区分に, ○を付してください。 | A区分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> C区分 |
|---------------------|---|

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) | あり ・ <input checked="" type="checkbox"/> なし |
|---------------------------|---|

|   |  |
|---|--|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。) |  |
| (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能               |  |
| (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能             |  |
| (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能                       |  |
| (4) その他( )                                  |  |

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |              |              |
|-----------------------|--|--------------|--------------|
| ふりがな<br>制作団体名         | こうりつだいがくほうじん かなざわびじゅつこうげいだいがく<br>公立大学法人 金沢美術工芸大学 |              |              |
| 代表者職・氏名               | 理事長 山崎 剛   |              |              |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒920-8656<br>石川県金沢市小立野5-11-1 (最寄りバス停:小立野)        |              |              |
| 電話番号                  | 076-262-3531                                     | F A X 番号     | 076-262-6594 |
| ふりがな<br>公演団体名         | だいちのせいざ ふろじえくと<br>「だいちの星座」プロジェクト                 |              |              |
| 代表者職・氏名               | 美術科油画専攻 准教授 鈴木浩之                                 |              |              |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒920-8656<br>石川県金沢市小立野5-11-1 (最寄りバス停:小立野)        |              |              |
| 制作団体<br>設立年月          | 1946年11月   | 団体構成員及び加入条件等 |              |
| 制作団体<br>組織            | 役員<br>理事長 山崎 剛<br>理事 石田 陽介<br>理事 山村 慎哉           |              |              |
| 事務体制の担当               | 専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任 | 本事業担当者名      | 加藤 謙一        |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無     | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無        | 経理責任者名       | 桶田光一         |

|                |  |                                 |   |
|----------------|--|---------------------------------|---|
| 制作団体沿革         | 1946年 金沢市本多町3丁目に金沢美術工芸専門学校として設立<br>1950年 金沢美術工芸短期大学を設立<br>1955年 金沢美術工芸大学を設立<br>1972年 美術工芸研究所を設立<br>1979年 大学院修士課程を設立<br>1997年 大学院博士課程を設立  |                                 |   |
| メディア教育における活動実績 | <b>だいちの星座プロジェクト(2013～)</b><br>種子島宇宙芸術祭イベント／アーティストインレジデンス(鹿児島大学教育学部)<br>種子島宇宙芸術祭イベント／こども宇宙芸術教室(南種子町全小学校8校)<br>アーカスプロジェクト(守谷市)／地域交流プログラム(筑波大学)地域の児童生徒多数参加<br>KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭(茨城大学)地域の児童生徒多数参加<br>四日市市立博物館／四日市こども科学セミナー(四日市大学)地域の児童生徒多数参加<br>宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター特別公開／レクチャー<br>高萩市／平成29年度「小学生を対象とした現代アートワークショップ」(高萩市全4小学校)<br>ICAF(インターカレッジアニメーションフェスティバル／学生アニメーション選抜作品上映)<br>金沢上映実行委員長(2011年～)<br><b>まるびいシネマパラダイス</b> (学生による35mmフィルム映画上映を金沢21世紀美術館で実施)<br>実行委員長(2014年～) |                                 |   |
| 特別支援学校における活動実績 | 特に無し   |                                 |   |
| 参考資料の有無        | A  | 申請する企画のチラシパンフレット等               | 有 ・ <input type="checkbox"/> 無                                      |
|                |  | 申請する企画のDVDまたはWEB公開資料            | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無                           |
|                |  | ※WEB公開資料有の場合 URL                | <a href="https://daichinoseiza.info">https://daichinoseiza.info</a> |
|                |  | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード         | ID:<br>PW:  |
|                | Aの提出が困難な場合   | 今回申請する企画に近い活動を記録したDVDまたはWEB公開資料 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無                           |
|                |  | ※WEB公開資料有の場合 URL                | <a href="https://daichinoseiza.info">https://daichinoseiza.info</a> |
|                |  | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード         | ID:<br>PW:  |

## メインプログラム・ワークショップの内容

## 【公演団体名「だいちの星座」プロジェクト】

|                      |  |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
|----------------------|--|--|---|---|--|----------------------|--|------------------------------|--|----------------------|--|----------------------|
| 対 象                  | 小学生(低学年・ <span style="border: 1px solid black;">中学年・高学年</span> )・ <span style="border: 1px solid black;">中学生</span>  |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
| 企 画 名                | だいちの星座 ー人工衛星と手作りの電波反射器を利用した地上絵の制作  |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
| プログラム全体の流れ           | <p>【プログラムの構成】</p> <table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>ワークショップ1回 → メインプログラム *WSは参加校別、メインは合同で1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ2回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メインプログラム → ワークショップ2回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メインプログラム → ワークショップ1回</td> </tr> </table> <p>【全体の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回地域の1つのエリア内で近隣の3校程度が同時にプログラムに参加</li> <li>・レクチャーを実施して電波の特性を教えるとともに、児童らはワークショップの際に手作りの電波反射器を製作する。</li> <li>・児童は全小学校が一斉に決められた日時にそれぞれの校庭に出て、アルミ箔を貼った段ボール紙と普段教室で使用するイスを組み合わせた簡易電波反射器を配置し、地上で電波を反射させる。</li> <li>・人工衛星画像はこれらを宇宙から撮影する。</li> <li>・人工衛星から撮影した画像上に電波を反射させた痕跡が記録され、その画像をもとに「だいちの星座」としてデジタルイメージを制作し、制作工程のドキュメントと共にインターネット上に公開する。</li> </ul> <p>&lt;本企画の実施にあたり関係者が共有すべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工衛星の解像度を考慮すると合同開催の応募をする場合は5～10km四方の範囲に参加校が全て含まれる配置が望ましい。</li> <li>・メインプログラムは同地区で全参加校同時に実施となるため、各校を支援するスタッフ数との兼ね合いから、1プログラムの合同開催を希望する場合の参加可能小学校は3校まで。</li> <li>・宇宙から参加校を撮影する予定日は人工衛星の運用日程に従う必要あり</li> <li>・複数の参加校の連携が必要となるため、事前に市(町・村)担当者、教育委員会を通じ学校長連絡会議、もしくは、教務主事連絡会議への説明会実施が望ましい。</li> <li>・同じプログラムに複数校が同時にメインプログラムを実施する場合でも、事前のワークショップは学校ごとに別の日時で実施(少人数校同士は同日可)</li> <li>・各学校の教諭担当を決め、鈴木と人工衛星撮影当日までの内容を確認</li> <li>・メインプログラム(撮影)の児童拘束時間は準備も含めて2時限程度</li> <li>・人工衛星による撮影は災害の発生などの理由で実施されないことがある。</li> </ul> |  | ○ | ワークショップ1回 → メインプログラム *WSは参加校別、メインは合同で1回 |  | ワークショップ2回 → メインプログラム |  | ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ |  | メインプログラム → ワークショップ2回 |  | メインプログラム → ワークショップ1回 |
| ○                    | ワークショップ1回 → メインプログラム *WSは参加校別、メインは合同で1回  |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
|                      | ワークショップ2回 → メインプログラム   |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
|                      | ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ   |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
|                      | メインプログラム → ワークショップ2回   |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
|                      | メインプログラム → ワークショップ1回   |  |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |
| 児 童 ・ 生 徒<br>の参加上限人数 | ワークショップ  | 1クラス30名 最大90名程度まで<br>※、30名を超える場合はそれに応じて学校側の御協力をお願いします。また、全員が作業できるスペースの確保と進行に遅延が生じないことを条件とします。並びにWSを午前と午後の2回に分けて実施する場合も、スケジュール(準備時間等は)午前と同様に確保できることを条件とします。 |   |   |  |                      |  |                              |  |                      |  |                      |

|                 |  |   |                                   |
|-----------------|--|---|-----------------------------------|
| 児童・生徒の参加上限人数    | メインプログラム   | 3メートルの間隔をあけて参加生徒全員が校庭又は希望する3会場(野外)に収まる人数まで(目安として1会場30名程度) |                                   |
| メインプログラムの主たる指導者 | 鈴木浩之(金沢美術工芸大学 准教授) 美術指導<br>大木真人(宇宙航空研究開発機構 研究開発員) 科学指導<br>石井瑞穂(アークスプロジェクト実行委員会 コーディネーター) 工程管理者アシスタント 3名<br>加藤甫(加藤甫写真事務所 カメラマン) ドキュメントスチル撮影   |   |                                   |
| スタッフ人数(1公演あたり)  | メインプログラム<br>上記指導者を含め 7名<br><br>ワークショップ<br>主指導者 1名 + 補助 2名 = 3名   | 機材等<br>運搬方法   | 事前に宅配便などを利用して送付<br>精密機器などは手荷物にて運搬 |
| 企画のねらい          | <p>地球外の視点は人類に広い視野を与えてきた。バックミンスター・フラーが提唱した「宇宙船地球号」という概念はアポロ11号のクルーが撮影した人類初の地球の全球をとらえた写真によって視覚化され、食料やエネルギー資源、環境問題を考察する上で重要となる思想を育ててきた。実際に宇宙に行くことのない人々が、この貴重な「視点」から諸問題の解決に向けて発想する機会を提供することがこの企画のねらいである。従来とは異なったテクノロジーの角度から芸術と科学の関係をとらえ直すことにより、芸術が科学教育の導入として機能するとともに科学が芸術と一体となるプログラムが実施される。</p> <p>地球外から地球を見る為に、人工衛星を利用したリモートセンシングと呼ばれる観測が行われている。Google Earth 等で利用されている光学衛星は、可視光によって地表を高精細な分解能で撮影するが、上空に雲がかかる天候ではその下に配置したものを撮影できない。また、地球観測衛星の赤外センサーでの撮像は夜間の観測が可能となる一方で光学センサーに比べて分解能が低く、地上にもものを配置してそれを撮像することが難しい。</p> <p>我々(鈴木、大木)は、天候や時間帯に撮像の成否を左右され難い電波による観測を行う地球観測衛星に注目し、これらを地上絵制作等の芸術表現に利用する活動を実施してきた。2014年運用を開始した日本の陸域観測技術衛星「だいち2号」は、可視光や近赤外、赤外などの光学センサーとは異なる(電波による観測を行なう)合成開口レーダー(SAR)を搭載し、芸術表現の利用に適した特性を備えている。SARは人工衛星から電波を放射し地表で反射した電波を再び人工衛星で受信することで地上の土地被覆を観測する能動型センサーで、雲を透過して撮像する性能を持つ。「だいち2号」搭載 SARは高い解像能を持ち、JAXAの画像解析の技術も高い。リモートセンシング技術を芸術表現に応用する基礎的な環境は整っている。</p> <p>SAR搭載の人工衛星を利用した芸術表現は、(JAXA運用の宇宙機を利用するものとしては)本企画が唯一であり、独創的である。本企画は、芸術分野において宇宙科学技術と連携している点に特色がある。2014年の打ち上げ以来安定した運用を続けるALOS-2を利用することで、最先端の宇宙科学技術を応用した芸術表現が可能となる。本企画は、宇宙航空研究開発機構の研究開発員を科学指導担当者とする事で専門的な観測データを解析する体制を整えており、地球観測衛星の芸術分野への応用について科学的な教育の観点からレクチャーを行なうことが出来る。</p> <p>事業の成果は一般に入手可能な人工衛星画像と共に様々な機関が主催する宇宙芸術表現活動に応用され、地球外の視点による地球観が社会に広がると予想する。本事業は、自らの住む町をキャンパスに見立て、地域の繁栄や生活の営みを高高度の視点から可視化することを可能にする新たな芸術表現として機能する。宇宙の平和利用を体現してきた日本の宇宙科学技術が新たな芸術表現を生み、その国際化によって平和な社会に貢献する価値観が共有される。子供たちの豊かな想像力・想像力を刺激し、芸術と科学を同じフィールドで思考する将来の芸術家や観客を育成する場として機能させたい。</p> |   |                                   |



## 【公演団体名「だいちの星座」プロジェクト】

|                           | 【ワークショップ】  | 【メインプログラム】  |
|---------------------------|--|---|
| 実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等 | <p><b>会場:</b> 体育館にてスクリーンに上映される映像やスライドを見ながらレクチャーを聴く。後半は段ボール紙とアルミ箔をボンドで貼り付けて電波反射器をつくる作業を行なう。電波反射器にはビニール紐などを取り付け、メインプログラム(人工衛星からの撮影)当日に校庭に出して使用するイスに取り付ける準備を済ませておく。</p> <p><b>準備物:</b> プロジェクター、マイク2本、体育館の床を汚さないように1人の作業スペース毎に新聞紙数枚を重ねて敷く。</p> | <p><b>会場:</b> 校庭にて実施する。</p> <p><b>準備物:</b> 校庭でワイヤレスマイクを使用する。そのマイクは、校庭での指導者や教員の指示を児童らに伝える目的の他に、公演団体が用意する小型無線受信機のスピーカーから出力される音声を校庭にいる児童らに大きな音で聞かせるために使用。無線受信機は人工衛星からの電波をとらえることが出来るため、参加者全員が人工衛星の撮影が行われたかどうかを知ることが出来る。</p> |
| 当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安     | <p><b>【ワークショップ】</b></p> <p>8:00 学校到着<br/>担当の先生と打合せ</p> <p>8:20 ワークショップ開始<br/>前半 レクチャー</p> <p>9:00 休憩</p> <p>9:10 後半 電波反射器の製作</p> <p>10:50 ワークショップ終了</p> <p>ワークショップ終了後に担当の先生とメインプログラムに関する打合せを行います。</p>                                      | <p><b>【メインプログラム】</b></p> <p>8:00 学校到着後、担当の先生と打合せ</p> <p>10:20 児童が校庭に向けて移動開始<br/>教室から運んだイスを陸上トラック内に配置したら、一旦教室に戻って待機する</p> <p>11:10 児童が校庭に戻り<br/>配置したイスの背に電波反射器を取付け、電波反射器を人工衛星の通過する方角に合わせる。</p> <p>12:00 メインプログラム終了</p>   |
|                           | ※採択決定後、採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。  |   |
| 特別支援学校での実施における工夫点         | <p>レクチャー時の内容について事前に学校と相談する。</p> <p>校庭にイスを配置する際に必要であれば補助・代行する。</p>  |   |
| 実施可能時期                    | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。   |   |

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |                |    |        |    |          |                 |     |    |     |
|-------|----------------|----|--------|----|----------|-----------------|-----|----|-----|
| ID    | K125           | 分野 | メディア芸術 | 種目 | メディアアート等 | ブロック            | A・B | 区分 | C区分 |
| 公演団体名 | 「だいちの星座」プロジェクト |    |        |    | 制作団体名    | 公立大学法人 金沢美術工芸大学 |     |    |     |

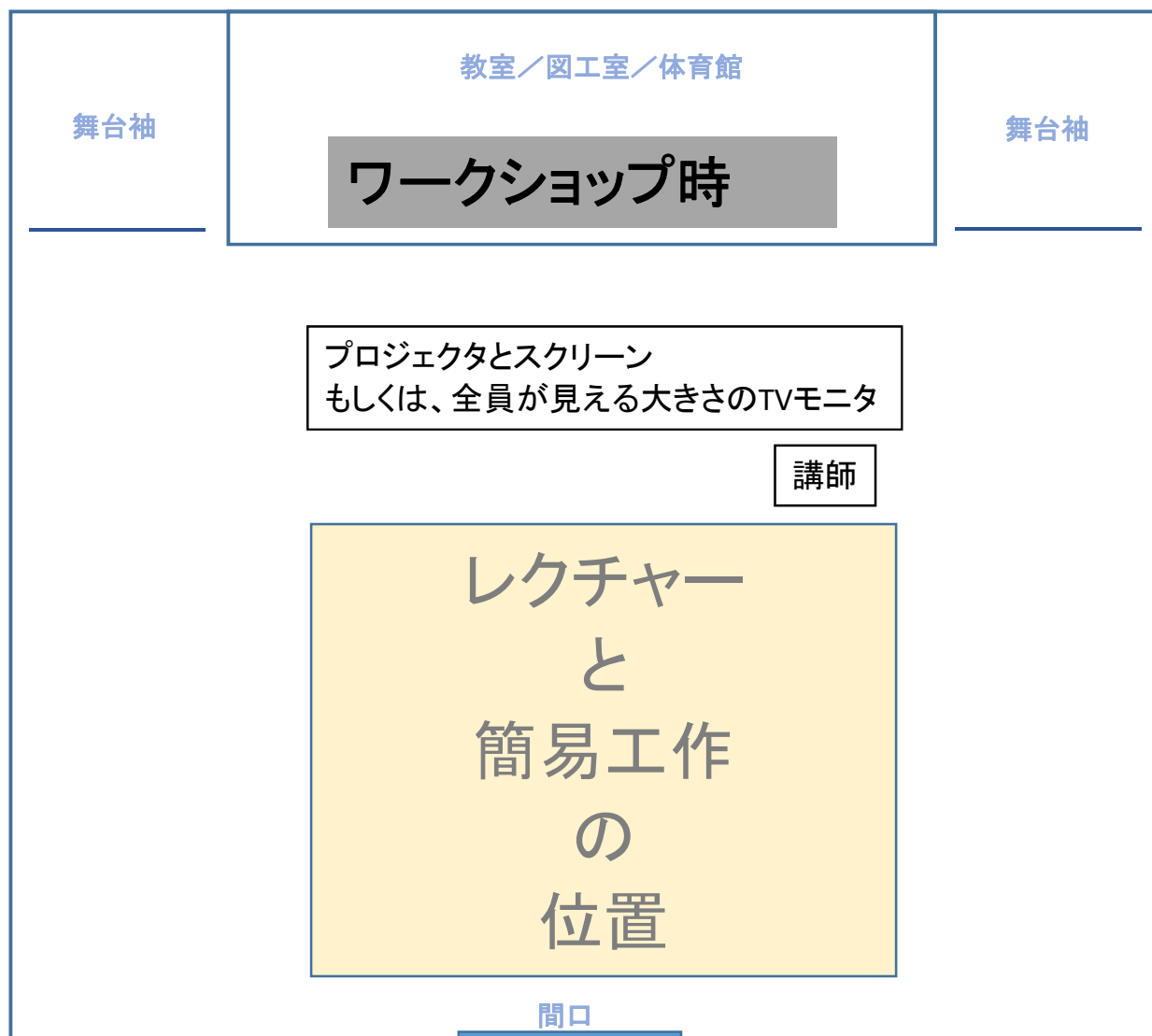
① 会場条件等についての確認

| 項目           | 応相談                 | 必要条件等                         |    |   |  |       |               |     |      |  |
|--------------|---------------------|-------------------------------|----|---|--|-------|---------------|-----|------|--|
|              |                     | 必要数*                          | 不要 | 条件  |  |       |               |     |      |  |
| 控室について       | －                   | 必要数*                          | 不要 | 条件  |  |       | －             |     |      |  |
| 機材の搬入について    | 可                   | 来校する車両の大きさと台数*                |    |   | 乗用車  | 1台    |               |     |      |  |
|              | －                   | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ        |    |   | －  |       |               |     |      |  |
|              | －                   | 搬入車両の横づけの要否*                  |    |   | 不要   |       |               |     |      |  |
|              | －                   | 横づけができない場合の搬入可能距離*            |    |   | 問わない   |       |               |     |      |  |
|              | －                   | 搬入経路の最低条件                     |    |   | 特になし   |       |               |     |      |  |
|              | 理由                  | －                             |    |   |  |       |               |     |      |  |
|              | －                   | 設置階の制限*                       |    |   | 問わない   |       |               |     |      |  |
| －            | 搬入間口について<br>単位:メートル |                               | 幅  | －   |  | 高さ    | －             |     |      |  |
| WSIについて      | 可                   | 参加可能人数                        |    |   | 1クラス30名 最大90名程度まで<br>※、30名を超える場合はそれに応じて学校側の御協力をお願いします。また、全員が作業できるスペースの確保と進行に遅延が生じないことを条件とします。並びにWSを午前と午後の2回に分けて実施する場合も、スケジュール(準備時間等は)午前と同様に確保できることを条件とします。 |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | 学年の指定の有無*                     |    |   | あり   | 指定学年* |               | 中学年 |      |  |
|              | 可                   | 実施場所(条件)                      |    |   | 暗幕+プロジェクタ、もしくは、TVモニターあり / 図工室、もしくは、教室  |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | 実施に必要な広さ<br>単位:メートル           |    | 幅   | 指定なし   | 奥行    | 指定なし          | 高さ  | 指定なし |  |
|              | 可                   | (体育館等を使用する場合)遮光(暗幕等)の要否*      |    |   | 要  | 理由    | プロジェクタを使用するため |     |      |  |
|              | －                   | (体育館等を使用する場合)ピアノの格納           |    |   | 不要   |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | (体育館フロアを使用する場合)バスケットゴールの設置状況* |    |   | 格納されていれば可  |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | 公演に必要な電源容量                    |    |   | プロジェクタを使用するのみ  |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | 所要時間の目安                       |    |   | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。  |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | 学校側に用意していただきたい準備物             |    |   | 特になし   |       |               |     |      |  |
| メインプログラムについて | 可                   | 参加可能人数                        |    |   | 3メートルの間隔をあけて参加生徒全員が校庭又は希望する3会場(野外)に収まる人数まで(目安として1会場30名程度)  |       |               |     |      |  |
|              | 可                   | 学年の指定の有無*                     |    |   | あり   | 指定学年* |               | 中学年 |      |  |
|              | 可                   | 実施場所                          |    |   | 校庭(児童の安全のため雨天時は中止)等の屋外   |       |               |     |      |  |
|              | 不可                  | 実施に必要な広さ<br>単位:メートル           |    | 幅   | 校庭全面   | 奥行    | 校庭全面          | 高さ  | －    |  |
|              | －                   | (体育館等を使用する場合)遮光(暗幕等)の要否*      |    |   | －  | 理由    | －             |     |      |  |
|              | －                   | (体育館等を使用する場合)ピアノの格納           |    |   | －  |       |               |     |      |  |
|              | －                   | (体育館フロアを使用する場合)バスケットゴールの設置状況* |    |   | －  |       |               |     |      |  |
|              | －                   | 公演に必要な電源容量                    |    |   | －  |       |               |     |      |  |
|              | 理由                  | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間        |    |   | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。  |       |               |     |      |  |
| 可            | 学校側に用意していただきたい準備物   |                               |    | ・校庭で使用可能なマイクとスピーカー<br>・教室で使用する椅子30脚(脚はビニール袋と輪ゴムで防汚) |  |       |               |     |      |  |

| その他特記事項 |  |
|---------|--|
| 不可      | <u>メインプログラム実施日は人工衛星が小学校所在地を観測する予定日時に合わせる必要があるため指定できません。衛星の観測予定日決定後にお知らせします。</u>  |
| 不可      | メインプログラムは災害対応や運用上の都合によって人工衛星からの撮影が出来ない場合は中止することがあります。  |
| 不可      | メインプログラムは同じ観測エリア内の最大3か所を撮影を行います。<br>合同開催校申請をする場合は、10km圏内最大3校までを目安としてください。合同開催として応募した場合も、撮影圏内から外れてしまう場合は、撮影エリア内への移動をお願いすることがあります。 |

※災害対応等人工衛星の運用上の理由によりメインプログラム(撮影)が中止になった場合、この企画に限り平成32年1月31日まで実施振替期間を延長し、メインプログラムの日程を再調整することがあります。

※この企画では、ワークショップの実施日を調整します。応募校が作成する実施希望調書内の「実施不可日」については、ワークショップの内容や当日所要時間を勘案して記載してください。実施希望会場概要について校庭の図面の作成は不要です。



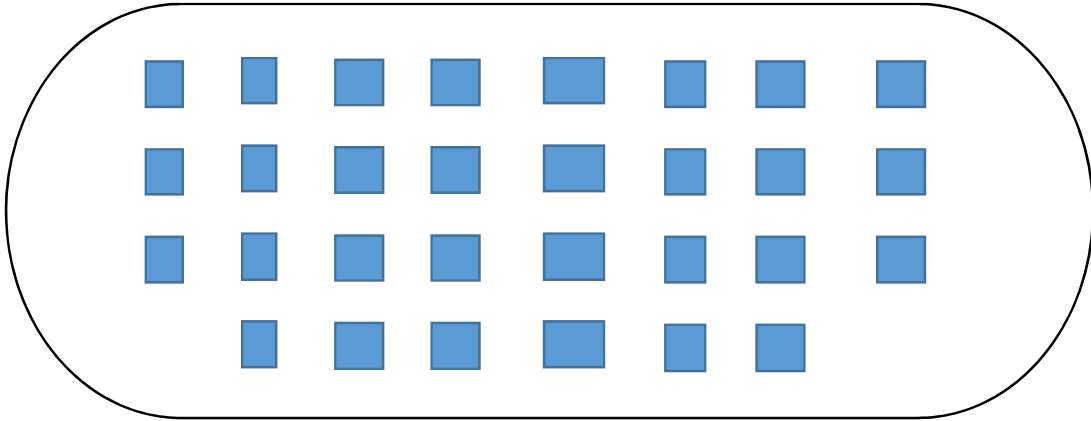


校庭

※実施のイメージは次のURLでご覧いただけます。  
<https://daichinoseiza.info>

## メインプログラム時

陸上競技トラック



= 普段は児童が教室で使用する椅子(メインプログラム当日にビニール袋と輪ゴムで防汚)